



LEICA Q2 MONOCHROM
取扱説明書

はじめに

お客様へ

このたびはライカ Q2 Monochromをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、未永くご愛用ください。本製品について詳しくは、[q2-monochrom](https://www.leica-camera.com/q2-monochrom)、[leica-camera.com](https://www.leica-camera.com)をご覧ください。

ライカカメラジャパン株式会社

付属品

カメラをご使用になる前に、下記の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- Leica Q2 Monochrom用レンズフード(出荷時、レンズに装着済)
- 充電式リチウムイオンバッテリー Leica BP-SCL4
- バッテリーチャージャー Leica BC-SCL4 (US、EU対応電源コード含む)
- レンズフードキャップ
- レンズフード装着溝保護リング
- アクセサリーシューカバー(本体に取り付け済み)
- キャリングストラップ
- クイックスタートガイド
- 検査証明書
- CEマークについての説明
- Creative Cloudについての説明書

スペアアクセサリ／アクセサリ

スペアアクセサリ、アクセサリに関して、詳しくはライカのホームページをご覧ください。

jp.leica-camera.com/フォトグラフィー/ライカQ/Accessories

本書またはライカで指定したアクセサリ以外は使用しないでください。指定された以外のアクセサリを使用すると、故障や事故の原因となります。

本製品使用時の事故や怪我、または故障を防ぎ、各種リスクを軽減するため、本製品をお使いになる前に、「著作権、商標、ライセンスについて」「注意事項」「本製品の取り扱いについて」を必ずお読みください。

法律に関する事項

著作権について

- カメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。本製品に付属するすべてのソフトウェアの著作権その他一切の権利は、正当な権限を有する第三者に帰属します。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。(i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。営利目的でのAVCビデオ提供など、その他の使用にはMPEG LA, L.L.C.から別途ライセンスを取得する必要があります。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. ホームページ(<http://www.mpegla.com>)をご覧ください。

本書について

著作権

著作権はライカカメラAGが保有しています。

本書内のすべてのテキスト・画像・グラフィックは知的財産の保護に関する著作権法およびその他の法律の対象となります。ライカカメラAGの許可なく取扱説明書の内容の一部または全部を複製、改変、商業的に使用または転載することを禁じます。

テクニカルデータ

製品およびサービスの変更が行われることがあります。ライカカメラAGは必要な場合に限り、デザイン・形状・カラー等の変更、付属品またはサービス内容の変更を行う権利を留保します。ライカカメラAGは、テキスト内容等に間違いがある場合など、その内容を変更する権利を留保します。画像には、付属品に含まれていないアクセサリや、サービス範囲外のアイテム等が含まれている場合があります。国によっては使用できない機能やサービスについて記載されている場合があります。

商標・ロゴマーク

本書で使用されている商標・ロゴマークは、登録商標です。ライカカメラAGの事前承諾なしに、これらの商標・ロゴマークを使用することを禁止します。

ライセンス

ライカカメラAGは常によりよいものを提供したいと考えています。本書はライカカメラAGの著作権、特許権、商標権等の知的財産権に基づくいかなる権利をも許諾もしくは付与するものではありません。皆様のご理解をお願いいたします。

WLAN／BLUETOOTH®の使用について

- ワイヤレスデバイスより信頼性の高いセキュリティを要求されるデバイスまたはコンピューターシステムを使用する場合、有害なアクセスに対するセキュリティや処置を万全にしてから、接続してください。
- ワイヤレスLAN機器としての用途以外でカメラを使用した場合、それによって生じたいかなる損害に対してもLeica Camera AGは一切責任を負いません。
- ワイヤレスLAN機能の使用は本製品が販売されている国での使用を想定しています。販売されていない、または販売を禁じられている国で使用した場合、本製品が当該国の電波関連規制等に違反するおそれがあります。そのような違反が発生してもLeica Camera AGは一切責任を負いません。
- 無線通信で送受信された画像は、第三者に傍受されるおそれがありますのでお気をつけください。情報セキュリティ確保のため、ワイヤレスアクセスポイントで暗号化を設定することを強くおすすめします。
- 電子レンジの近くなど、磁気、静電気、電波障害が発生する場所では使用しないでください。そのような環境下で使用した場合、カメラの無線通信が正常に行えない場合があります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話などの近くで使用すると、機器の性能が低下することがあります。
- 利用権限のないワイヤレスネットワークには接続しないでください。
- ワイヤレスLAN機能を有効にすると、カメラがワイヤレスネットワークを自動検索します。検索結果に利用権限のないネットワーク（SSID:ワイヤレスLANの表示名）が表示される場合があります。不正アクセスとみなされるおそれがあるためそのようなネットワークには接続しないでください。
- 航空機内ではワイヤレスLAN機能をオフにすることをおすすめします。
- 5150 MHz～5350 MHzのワイヤレスLAN周波数帯域は、屋外での使用は禁止されています。
- Leica FOTOSの機能について詳しくは、p.138をご確認ください。

カメラ情報について

本製品の製造日は、保証書または製品パッケージに貼付しています。
表示形式:年/月/日

本製品の認証情報は、設定メニューから確認できます。

- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
- ▶ **Regulatory Information**を選択する。

CEマーク

本製品に貼付されているCEマークは、EC指令に適合していることを示しています。

電気・電子機器の廃棄について



(EU諸国および分別廃棄を実施するその他のヨーロッパ諸国のみ)



この装置には電気・電子部品が含まれているため、一般家庭廃棄物として廃棄することはできません。お住まいの自治体のリサイクル協力店にご相談ください。

回収は無料となっています。電池や充電電池を使用する装置を廃棄する場合は、電池や充電電池を取り外してから回収場所にお持ちいただくか、必要に応じてお住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

廃棄についての詳しい情報は、お住まいの自治体、お近くの廃棄物回収業者、またはご購入店にお問い合わせください。

注意事項

一般的な取り扱いについて

- 強い磁気、静電気、電磁波を発生する機器（電磁調理器、電子レンジ、テレビ、パソコンのモニター、ゲーム機、携帯電話、無線機など）の近くで使用しないでください。磁気により記録データが影響を受けることがあります。
- スピーカーや大型の電動モーターなどの強い磁気により、保存した画像データが破損することがあります。
- 電磁波の影響で、本製品が正常に動作しなくなった場合は、バッテリーを入れ直してから再度電源を入れてください。
- 無線送信機や高圧線の近くで使用しないでください。磁気により記録データが影響を受けることがあります。
- 小さな付属品（アクセサリースューカバーなど）を保管するときは、次の点にお気をつけください。
 - 乳幼児の手の届くところに置かない。
 - 製品パッケージの所定の位置など、紛失しない場所に保管する。
- 電子機器は、人体に帯電した静電気の影響で不具合を起こす場合があります。合成繊維のカーペットの上を歩くなどすると、人体に大量の静電気が帯電します。導電性があるものの上に本製品が置かれていた場合は、本製品に触れると静電気放電がおこります。静電気が電子回路内に入らなければ、問題ありません。本製品は安全回路を装備していますが、安全のためアクセサリースューなどの端子部には手を触れないでください。
- レンズマウントのレンズ検出センサーを傷つけたり汚したりしないでください。また、マウント部を傷つけるおそれがあるため、砂などがマウント部に入り込まないようにお気をつけください。お手入れの際は、これらの部分を絶対にぬらさないでください。（システムカメラ使用時）

- 端子部をお手入れする際は、綿やリネンの布をご使用ください。レンズ用のマイクロファイバークロス（合成繊維）は使用しないでください。お手入れの前には、水道管などに触れて静電気を放電してください。また、端子部の汚れやさびつきを防ぐために、レンズキャップやアクセサリースューカバーを取り付けて、乾いた場所で保管してください。（システムカメラ使用時）
- 指定されたアクセサリ以外は使用しないでください。故障、感電、ショートの原因になります。
- 本製品を分解・改造しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにて専門の修理担当者にご依頼ください。
- 殺虫剤などの強い化学薬品をかけないようにしてください。お手入れの際は、軽油、シンナー、アルコールも使用しないでください。薬品や溶剤によっては、本体表面が変質したり、表面の加工が剥離することがあります。
- ゴム製品やビニール製品は、強い化学物質を発生することがありますので、長期間接触させたまにしないでください。
- 雨や雪の中、または浜辺などで使用するときには、内部に水滴や砂、ほこりなどが入り込まないようにお気をつけください。レンズ交換（システムカメラ使用時）やメモリーカード／バッテリーの出し入れの際は特にお気をつけください。砂やほこりが入り込むと、本製品、メモリーカード、バッテリーの故障の原因となります。水滴が入り込むと、カメラやメモリーカードが正常に動作しなくなったり、修理できなくなることがあります。

レンズ

- レンズの正面に強い太陽光が当たると、レンズがルーペと同じ作用をします。太陽光とレンズの作用により内部が破損しますので、レンズを保護せずに強い太陽光に向けたまま放置しないでください。
- レンズキャップを取り付け、日陰に置く、またはケースに収納するなど、強い太陽光が当たらないようにしてください。

バッテリー

- 指定以外のバッテリーを使用したり、本書の説明に従わずに使用しないでください。破裂するおそれがあります。
- バッテリーを直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、濡れた場所に放置しないでください。また、電子レンジや高压容器に入れないでください。破裂や発火の原因となります。
- 濡れたバッテリーや湿ったバッテリーは、絶対に使用したり充電したりしないでください。
- バッテリーには安全弁が付いています。誤った使い方により内圧が上昇した場合、安全弁によって圧力が低下します。膨張したバッテリーは爆発するおそれがあるため、廃棄規則に従って、すぐに処分してください。
- バッテリーの端子部は清潔に保ってください。バッテリーがショートするおそれがあるので、端子部をクリップやアクセサリなどの金属類と接触させないでください。ショートしたバッテリーは発熱することがあり、やけどをするおそれがあります。
- バッテリーを落とした場合は、外装や端子部に破損がないか確認してください。破損したバッテリーを使用すると、カメラが故障するおそれがあります。
- バッテリーの使用中や充電中に、異臭、変色、変形、発熱、漏液などの異常に気づいた場合は、カメラやバッテリーチャージャーから直ちに取り出してください。そのまま使用や充電を続けると過熱して、破裂や発火の原因となります。
- バッテリーは絶対に火の中に投げ入れないでください。破裂の原因となります。
- バッテリーが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火するおそれがあります。
- 指定以外のバッテリーチャージャーを使用すると、バッテリーの故障の原因となるだけでなく、最悪の場合は死亡または重傷を負うおそれがあります。

- バッテリーチャージャーを使用するときは、コンセントの周りにほこりがたまっていないか確認してください。
- バッテリーおよびバッテリーチャージャーを分解しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにご依頼ください。
- バッテリーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合、窒息のおそれがあります。

バッテリーから漏れた液が人体などに付着した場合の処置

- 液が目に入ると失明の原因となることがあります。目をこすらず、直ちにきれいな水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に傷害を起こすおそれがあります。直ちにきれいな水でよく洗い流してください。

バッテリーチャージャー

- バッテリーチャージャーを無線受信機の近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。無線受信機から1 m以上離れてお使いください。
- 充電中に音がすることがありますが、異常ではありません。
- バッテリーを充電していない場合でも、コンセントに差し込んだままにしておくと、微量の電力を使います。使用しないときはコンセントから抜いてください。
- 端子部は清潔に保ってください。また、絶対にショートさせないでください。

メモリーカード

- 画像の読み込み中や書き込み中は、メモリーカードを本機から取り出したり、本機の電源を切ったり、本機に振動を与えたりしないでください。
- LEDランプが点滅しているときは、カメラがメモリーカードにアクセス中です。バッテリー／メモリーカードスロットカバーを開けたり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりしないでください。メモリーカードに記録したデータが破損したり、カメラが故障したりするおそれがあります。
- 落としたり曲げたりしないでください。破損して記録データが消失する原因となります。
- メモリーカードの裏にある端子部に触れないでください。また、汚れやほこりが付着したり、水でぬらしたりしないようにご注意ください。
- メモリーカードは乳幼児の手が届かない場所に保管してください。乳幼児がメモリーカードを飲み込んで窒息するおそれがあります。

撮像素子

- 宇宙線の影響により(航空機内に持ち込んだ場合など)、画素に異常が生じることがあります。

キャリングストラップ

- キャリングストラップは丈夫な材質によって作られています。乳幼児の手の届かないところに保管してください。首に巻きつくなど、事故につながるおそれがあります。
- キャリングストラップは、カメラまたは双眼鏡を持ち運ぶ目的でのみご使用ください。傷害の原因となる可能性があるため、他の用途では絶対に使用しないでください。
- キャリングストラップが引っかかり、首が絞まるおそれがあり危険なため、登山やアウトドアスポーツの際には使用しないでください。

三脚

- 三脚を使用するときは、三脚の強度をご確認の上、カメラ本体ではなく三脚の方を回して取り付けてください。三脚を取り付ける際は、三脚のねじを回しすぎたり、無理な力を加えないようご注意ください。また、カメラを三脚に取り付けたまま持ち運ばないでください。他人を傷つけたりカメラを破損するおそれがあります。

フラッシュ

- 本機に対応していないフラッシュユニットを使用した場合、カメラおよびフラッシュユニットが破損するおそれがありますので、使用前に必ずご確認ください。

本製品の取り扱いについて

その他、詳しくは「お手入れ／保管」をご参照ください。

カメラ／レンズ (システムカメラ使用時)

- カメラとレンズのシリアルナンバーは、紛失・盗難の際に重要となりますので、書き写して大切に保管してください。(カメラ側には、底蓋に刻印されています。)
- カメラの内部にほこりなどが入り込むのを防ぐために、カメラには常にレンズまたはボディキャップを取り付けておいてください。
- レンズ交換は、ゴミやほこりの少ない場所ですばやく行ってください。
- ボディキャップやレンズリアキャップを衣類のポケットに入れたままにしないでください。ポケット内側のほこりが付着し、カメラやレンズに取り付けた際に内部にほこりが入り込むことがあります。

モニター

- 寒い場所から暖かい場所に持ち込むと、モニターに結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、乾いた柔らかい布で丁寧に拭き取ってください。
- 寒い場所で電源を入れた場合、表示が通常よりやや暗いことがあります。カメラが温まるにつれて、明るさは元に戻ります。

バッテリー

- バッテリーは10～30℃の場所で充電してください。これ以外の温度では、充電できないか、一度充電中になっても再度充電できない状態になります。
- リチウムイオンバッテリーは現在のバッテリー残量に関係なくいつでも充電することができます。残量が多い状態で充電すると充電時間は短くなります。

- お買い上げ時バッテリーは満充電されていないので、最初にご使用になる前に満充電してください。
- 新しいバッテリーは、満充電してから完全放電させる(カメラに入れて使い切る)というサイクルを、最初に2、3回行うことで、性能を十分に発揮できるようになります。その後もこのサイクルを25回に1回の間隔で行うことをおすすめします。
- バッテリーとチャージャーは充電中に温かくなります。これは異常ではありません。
- 充電開始後にバッテリーチャージャーの2つのLEDが速く(1秒に2回以上)点滅した場合は、充電異常です(最大充電回数を超過している、温度や電圧が動作範囲外である、ショートしているなど)。このような場合にはバッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーを取り外してください。周囲の温度が上記に記載された範囲内であることを確認してから、再び充電してください。それでも改善しない場合は、お買い上げの販売店またはライカカスタマーケアまでお問い合わせください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは、内部の化学反応により電力を発生します。この化学反応は外部の温度と湿度の影響を受けやすいため、極端な温度条件のもとでは電池寿命が短くなります。バッテリーを長持ちさせるために、夏季や冬期の自動車内など、極端に暑い場所や寒い場所に放置しないでください。
- バッテリーには寿命があります。最適な条件のもとで使用し続けても、数百回の充電を重ねると容量が低下し、使用時間が極端に短くなります。
- 本製品はバックアップ電池を内蔵しています。バックアップ電池は、日付と時刻の設定を数週間保存するためのもので、バッテリーを電源としています。バックアップ電池が放電してしまった場合は、バッテリーを入れて充電してください。またバックアップ電池が放電してしまった場合は、日付と時刻の設定が失われますので、再度設定してください。
- 一部の機能では、残量の少ないバッテリーや古いバッテリーを使用していると、メッセージがモニターに表示され、使用が制限されたり使用できなくなったりします。

- カメラを長期間使用しない場合は、バッテリーをカメラから取り出してください。バッテリーを取り出すときは、メインスイッチで電源を切ってください。カメラは電源を切っていても、各種設定の保存に微量の無負荷電流を使用するため、数週間後には多くの電力を消費してバッテリーが過放電状態になります。
- 破損したバッテリーは、廃棄規則に従って適切にリサイクル回収場所にお持ちください。
- 製造年月日はバッテリー表面に記載されています。表示形式：週／年

メモリーカード

- メモリーカードは非常に多くのメーカーから販売されているため、すべてのカードの動作確認は行っていません。通常はカードの品質が原因で本製品が故障することはありませんが、低価格の製品にはごくまれに品質基準を満たしていないものもあるため、ライカでは信頼性の高いメーカーのメモリーカードを使用することをおすすめします。
- データ削除を繰り返すと断片化が生じて空き容量が少なくなりますので、定期的にフォーマット（初期化）することをおすすめします。
- 通常は使用中のメモリーカードをフォーマットする必要はありません。まったくフォーマットされていない、あるいはパソコンなど他の機器でフォーマットしたメモリーカードを使う場合は、必ず本製品でフォーマットしてからご使用ください。
- 電磁波、静電気、カメラ本体やメモリーカードの故障により、メモリーカードのデータが破損・消失することがあります。データをこまめにパソコンに取り込み、バックアップをとることをおすすめします。
- メモリーカードは書き込み防止スイッチを装備していますので、誤って画像を書き込んだり消したりしてしまう心配がありません。このスイッチは、カード本体の角が斜めになっていない側にあり、下側の「LOCK」の方向にスライドさせて書き込み防止にします。

- フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。フォーマットすると、マークのついた画像も削除されます。

撮像素子

- ほこりなどの粒子が撮像素子表面のカバーガラスに付着すると、画像上に黒い点やシミのように写ることがありますのでお気をつけください（システムカメラ使用時）。ライカカスタマーケア（p.164）ではセンサークリーニングサービスをご利用いただけます。クリーニングサービスは保証の対象外となり、有料とさせていただきます。

画像データ

- 本機が不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。
- 記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ファームウェアのアップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりできます。機能を追加したり不具合を改善したりするために、ライカは最新のファームウェアを随時提供しています。通常ではカメラが工場から出荷される際に最新のファームウェアがインストールされますが、お客様ご自身でもライカのホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、カメラを簡単にアップデートすることが可能です。

お手持ちの製品のユーザー登録をされたお客様には、最新ファームウェアのリリース情報をお知らせするニュースレターをお届けします。ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録についての詳細は、ライカカスタマーサイト (club.leica-camera.com) からご覧いただけます。

ライカでは随時、レンズのファームウェアのアップデートを提供しています。新しいファームウェアは、ライカのホームページから簡単にダウンロードして、お使いのレンズに転送することができます。詳しくは、p.136をご参照ください。

お客様のカメラおよびレンズに装備されたファームウェアのバージョンは、メニュー項目**カメラ情報**で確認できます (p.136)。

保証

販売店に対するお客様の法律に基づく保証の請求権は、ライカ正規販売店で本製品をお買い上げいただいた日から発生します。以前、保証規約／保証書は付属品として製品に同梱されていましたが、この度、オンラインでの提供サービスが開始されました。これにより、いつでも簡単に保証内容等の確認ができます。このオンラインサービスは、保証規約／保証書が付属品として同梱されていない製品にのみ有効です。保証規約／保証書が製品に同梱されている場合は、それらが適用されます。保証の適用範囲、保証内容、制限事項に関して詳しくは、以下のホームページにてご確認ください。warranty.leica-camera.com

本製品は防滴性、防塵性を備えています。

耐性試験は、IP52 (DIN EN 60529に準拠) で定められた環境下にて実施されています。以下の点にお気をつけください。防塵、防滴性能は経年劣化し、永続するものではありません。液体による損害は、保証内容に入っていません。カメラのお手入れに関して詳しくは、「お手入れ／保管」の項目をご覧ください。ライカ正規販売店でない販売店や取扱店で本製品の修理、分解、改造などを行った場合、保証内容は無効になります。また防滴、防塵性能が失われる可能性があります。

目次

はじめに.....	2	セレクターボタン/センターボタン.....	37
付属品.....	2	PLAYボタン/FNボタン/MENUボタン.....	38
スベアアクセサリー/アクセサリー.....	3	ズーム/ロックボタン.....	38
法律に関する事項.....	4	モニター(タッチパネル).....	39
注意事項.....	8	メニュー操作(メニュー内での操作/メニューに関する設定).....	40
本製品の取り扱いについて.....	12	各種ボタン/ダイヤル.....	40
保証.....	15	メニューの種類.....	40
目次.....	16	メニューを切り替える.....	42
各部名称.....	20	メイン画面.....	43
表示.....	22	メインメニュー.....	45
静止画.....	22	メニュー内の移動.....	46
動画.....	24	サブメニュー.....	47
使用前の準備.....	28	キーパッド/テンキー.....	47
キャリングストラップを取り付ける.....	28	メニューバー.....	48
バッテリーチャージャーを準備する.....	28	スケール.....	49
バッテリーを充電する.....	29	日付/時刻メニュー.....	49
バッテリーを入れる/取り出す.....	30	カスタマイズ.....	50
メモリーカードを入れる/取り出す.....	31	お気に入りメニュー.....	50
レンズフードを取り付ける/取り外す.....	32	お気に入りメニューを設定する.....	50
視度調整.....	33	ショートカット.....	51
基本的な操作・設定.....	34	ダイナミックショートカット.....	51
各種ボタン/ダイヤル.....	34	ショートカット.....	52
メインスイッチ.....	34	カメラの基本設定.....	54
シャッターボタン.....	35	カメラの表示言語を設定する.....	54
シャッタースピードダイヤル.....	36	日付/時刻.....	54
サムホイール.....	36	日付.....	54
サムホイールボタン.....	37	時刻.....	54
		タイムゾーン.....	55
		サマータイム.....	55
		省エネモード(スタンバイモード).....	55
		秒単位でオートパワーオフ.....	55
		分単位でオートパワーオフ.....	55
		モニター/ファインダー設定.....	56

モニター／EVFの使用.....	56	撮影モード(静止画).....	68
アイセンサーの感度.....	57	ドライブモード.....	68
明るさ.....	57	ピントを合わせる.....	69
モニター.....	57	AFで撮影する.....	69
EVF.....	57	オートフォーカス.....	69
色再現.....	58	AFs(シングル).....	69
モニター.....	58	AFc(コンティニュアス).....	69
EVF.....	58	測距方式.....	70
モニターのオートパワーオフ.....	58	フレーム測光.....	70
EVFフレームレート.....	58	スポット測距／フレーム測距.....	70
電子音.....	59	顔認識.....	71
音量.....	59	タッチAF.....	71
お知らせ音.....	59	AFアシスト機能.....	72
電子シャッター音.....	59	AFモード時の拡大表示.....	72
AF確定音.....	59	AF補助光.....	73
無音撮影.....	59	AF確定音.....	73
撮影の基本設定(静止画).....	62	AFクイック設定.....	73
記録形式.....	62	AFクイック設定を呼び出す.....	73
JPG設定.....	63	AFフレームの大きさを変更する.....	73
記録画素数.....	63	マニュアルフォーカス(MF).....	74
画像のプロパティ.....	64	MFアシスト機能.....	74
コントラスト.....	64	フォーカスピーキング.....	74
シャープネス.....	64	MFモード時の拡大表示.....	75
トーンング.....	64	マクロ機能.....	76
手ブレ補正.....	65	ISO感度.....	76
撮影の基本設定(動画).....	66	ダイヤル上に示されたISO感度.....	76
記録形式.....	66	オート.....	77
動画形式.....	66	ISO感度の設定範囲を制限する.....	77
マイク.....	66	露出.....	78
ノイズ軽減.....	66	測光方式.....	78
手ブレ補正(動画撮影時).....	66	スポット測光.....	78
画像のプロパティ.....	67	中央重点測光.....	78
		フレーム測光.....	78
		露出モード.....	79
		露出モードを選択する.....	79

オート露出設定 (P)	79	フラッシュ調整	101
プログラムAE (P)	79	同調タイミング	101
プログラムシフト	80	フラッシュ光到達距離	102
オート露出設定 (A/S)	80	フラッシュ発光量調整	102
絞り優先AE (A)	80	フラッシュ撮影時のビューファインダー表示	104
シャッター優先AE (S)	81	撮影モード (動画)	106
マニュアル露出設定 (M)	82	動画モードを開始する/終了する	106
シャッタースピードを設定する	82	撮影を開始/終了する	107
長時間露光 - T	83	露出設定	107
露出設定	84	ピント合わせ	107
露出プレビュー	84	再生モード	108
AE/AFロック	84	再生モード時に使用する各種ボタン/ダイヤル	108
露出補正	87	画像を再生する/再生モードを終了する	109
撮影モード	88	画像の選択/スクロール	110
連続撮影	88	再生モード時の情報表示	111
インターバル撮影	89	補助機能を表示する	112
オートブラケット	91	連写画像の再生	112
セルフタイマーを使って撮影する	92	グループ内の他の画像へ移動する	113
デジタルズーム	93	再生を続行する	113
撮影情報	94	動画として保存する	114
撮影モード時の撮影情報	94	連写画像を1枚ずつ再生する	114
撮影補助表示	95	拡大倍率	115
クリッピング	95	一覧表示	116
水準器	96	画像をマークする	118
グリッド	97	画像を削除する	118
ヒストグラム	97	削除メニューのショートカット機能	119
フラッシュを使って撮影する	98	1枚だけ削除する	119
対応フラッシュユニット	98	複数の画像を削除する	120
TTL測光	99	すべての画像を削除する	121
HSS (ハイスピードシンクロ)	99	マークされていない画像を削除する	122
フラッシュユニットでの設定	99	連写画像を削除する	122
フラッシュモード	100	直前に撮影された画像のプレビュー	123
オート発光	100		
強制発光	100		
遅いシャッタースピード使用時のオート発光 (スローシンクロ)	100		

スライドショー	123
動画を再生する.....	124
動画のトリミング	127
その他の機能.....	130
お好みの設定を保存する(ユーザープロファイル)	130
データ管理.....	132
メモリーカード内の構造	132
ファイル名を変更する	133
新しいフォルダーを作成する.....	133
GPS機能で撮影地を記録する.....	134
メモリーカードをフォーマット(初期化)する	134
パソコンに画像を取り込む.....	135
DNG (RAW) について	135
初期設定に戻す(すべての設定をリセットする)	136
ファームウェアをアップデートする.....	136
カメラのファームウェアをアップデートする.....	137
LEICA FOTOS.....	138
ベアリング	138
カメラをリモートコントロールする	140
お手入れ/保管	142
FAQ.....	144
メニュー項目一覧.....	150
索引	154
テクニカルデータ	160
ライカのホームページ	164
ライカ デジタルサポートセンター	164
ライカアカデミー	164
ライカカスタマーケア	164

本文中の説明について

メモ

補足的な説明や情報を記載しています。

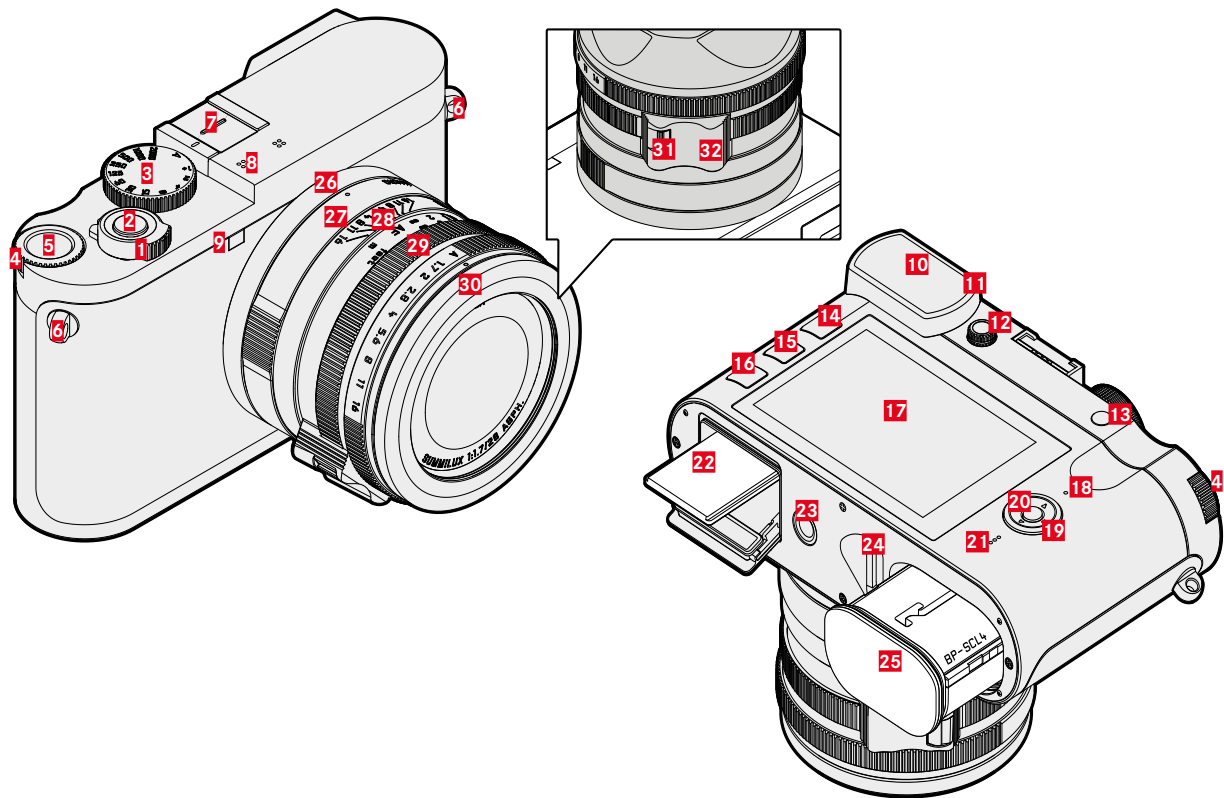
注意

この内容を守らず誤った取り扱いをすると、カメラ本体やアクセサリーの故障、画像データ破損のおそれがあります。

警告

この内容を守らず誤った取り扱いをすると、重傷を負うおそれがあります。

各部名称



LEICA Q2 MONOCHROM

- 1 メインスイッチ
- 2 シャッターボタン
- 3 シャッタースピードダイヤル
- 4 サムホイール
- 5 サムホイールボタン
- 6 ストラップ取り付け部
- 7 ホットシュー
- 8 マイク
- 9 セルフタイマーランプ/AF補助光ランプ
- 10 ファインダー
- 11 アイセンサー
- 12 視度調整ダイヤル
- 13 ズーム/ロックボタン
- 14 **PLAY**ボタン
- 15 **FN**ボタン
- 16 **MENU**ボタン
- 17 モニター
- 18 LEDランプ
- 19 セレクターボタン
- 20 センターボタン
- 21 スピーカー
- 22 メモリーカードスロット
- 23 三脚用ねじ穴
- 24 バッテリー取り外しレバー
- 25 バッテリースロット

レンズ「SUMMILUX 28 f/1.7 ASPH.」

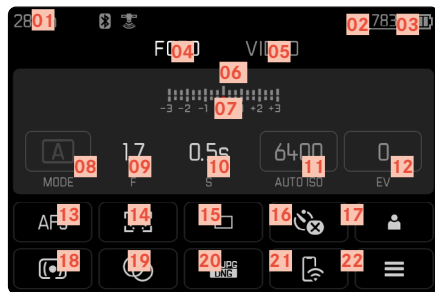
- 26 マクロ指標
- 27 マクロリング
- 28 フォーカスリング
- 29 絞りリング
- 30 レンズフード装着溝保護リング
- 31 AF/MF切換スイッチ
- 32 指当て

表示

ファインダー内は、モニター上と同様に各種情報が表示されます。

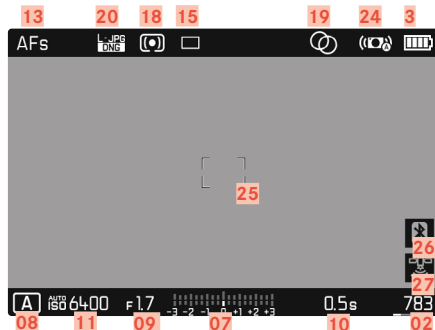
静止画

メイン画面



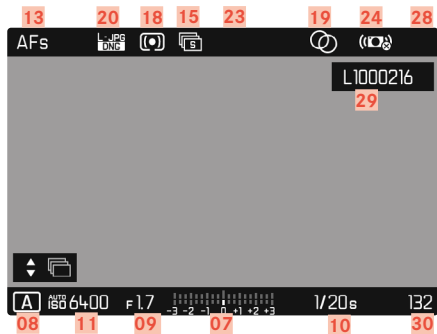
撮影モード時

設定されている内容／値が表示されます。

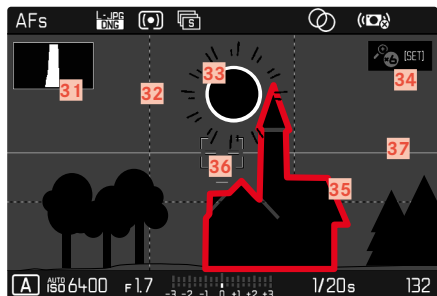


再生モード時

表示画像撮影時の設定内容／値が表示されます。



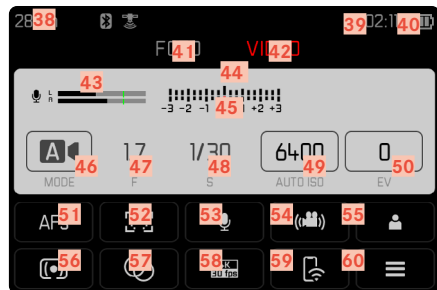
設定中の撮影アシスト



- 01 焦点距離
- 02 メモリーカード残量
- 03 バッテリー残量
- 04 静止画メニュー
- 05 動画メニュー
- 06 露出レベル
- 07 露出補正目盛
- 08 露出モード
- 09 絞り値
- 10 シャッタースピード
- 11 ISO感度
- 12 露出補正值
- 13 フォーカスモード
- 14 AF測距方式
- 15 撮影モード (ドライブモード)
- 16 セルフタイマー
- 17 ユーザープロファイル
- 18 測光方式
- 19 トーニング
- 20 記録形式／圧縮率／解像度
- 21 Leica FOTOS
- 22 お気に入りメニュー／メインメニュー
- 23 フラッシュモード／フラッシュ発光量調整
- 24 手ブレ補正 (オンの時のみ)
- 25 AFフレーム
- 26 Bluetooth® (Leica FOTOS)
- 27 撮影位置情報 (Exifデータ用、Leica FOTOSに接続時のみ)
- 28 マーク表示
- 29 ファイル名
- 30 表示中の画像ファイル番号
- 31 ヒストグラム
- 32 グリッド線
- 33 クリッピング表示:露出オーバー
- 34 自動拡大 (マニュアルフォーカス撮影時のアシスト機能、3倍[Ⓜ]または6倍[Ⓜ])
- 35 フォーカスピーキング (合焦エッジ表示)
- 36 水準器
- 37 拡大表示の倍率と位置 (拡大箇所表示時のみ)

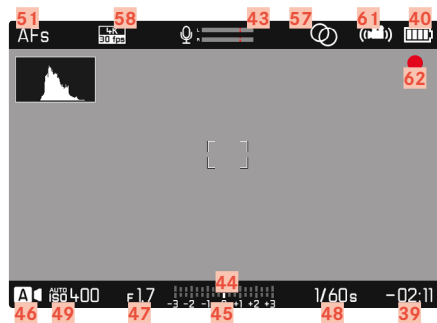
動画

メイン画面



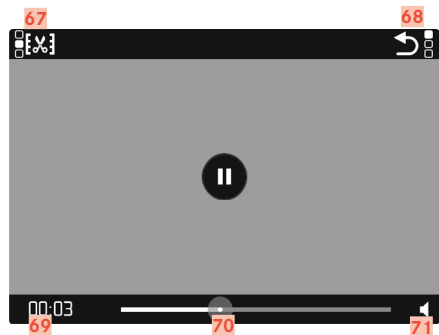
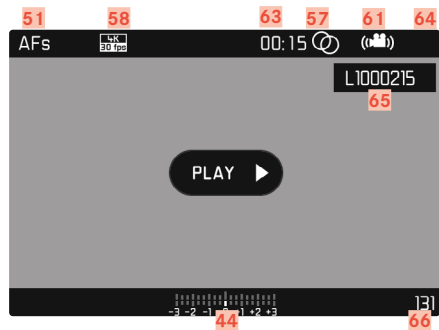
撮影モード時

設定されている内容／値が表示されます。



再生モード時

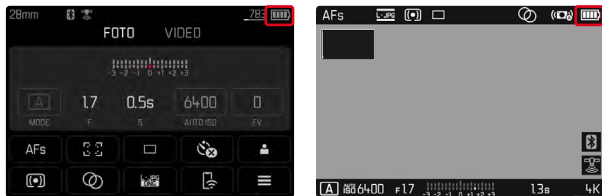
表示画像撮影時の設定内容／値が表示されます。



- 38 焦点距離
- 39 メモリーカード残量
- 40 バッテリー残量
- 41 静止画メニュー
- 42 動画メニュー
- 43 マイクの録音レベル
- 44 露出レベル
- 45 露出補正目盛
- 46 露出モード
- 47 絞り値
- 48 シャッタースピード
- 49 ISO感度
- 50 露出補正值
- 51 フォーカスモード
- 52 AF測距方式
- 53 マイク感度
- 54 手ブレ補正(動画撮影時)
- 55 ユーザープロファイル
- 56 測光方式
- 57 トーニング
- 58 解像度/フレームレート
- 59 Leica FOTOS
- 60 お気に入りメニュー/メインメニュー
- 61 手ブレ補正(オンの時のみ)
- 62 動画撮影中を示す円
- 63 録画時間
- 64 マーク表示
- 65 ファイル名
- 66 表示中の画像ファイル番号
- 67 動画トリミング機能
- 68 動画再生終了アイコン
- 69 動画再生時間
- 70 シークバー(動画再生時)
- 71 音量(動画再生時)

バッテリー残量表示(モニター)

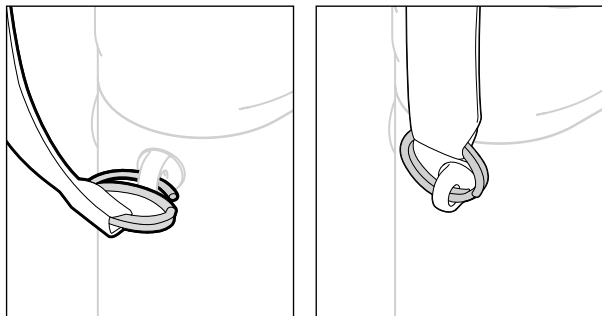
バッテリー残量はメイン画面またはヘッダーの右上に表示されます。



表示	バッテリー残量
	約75-100%
	約50-75%
	約25-50%
	約0-25%
	約0% バッテリーを交換または充電してください。

使用前の準備

キャリングストラップを取り付ける

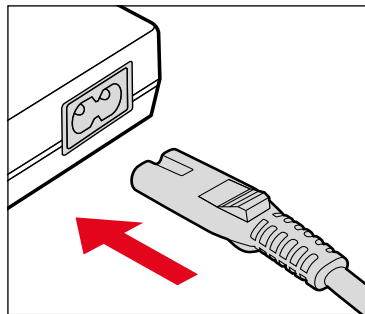


警告

- カメラの落下を防ぐため、キャリングストラップがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

バッテリーチャージャーを準備する

バッテリーチャージャーに電源コードを取り付けます。



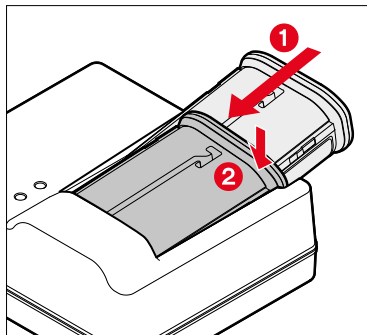
メモ

- バッテリーチャージャーは自動電圧切替式です。

バッテリーを充電する

本機をお使いになるには、同梱の充電式リチウムイオンバッテリーが必要です。

バッテリーをチャージャーにセットする

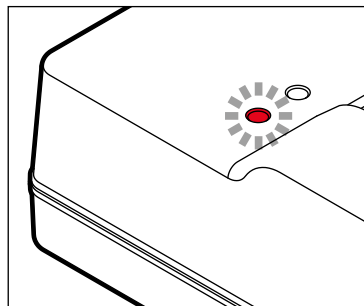


- ▶ バッテリーの溝を上に向けて、接点に当たるまでチャージャーにセットする。
- ▶ カチッと音がするまでバッテリーを押し込む。
- ▶ バッテリーが完全にバッテリーチャージャーにセットされていることを確認する。

バッテリーをチャージャーから取り外す

- ▶ バッテリーを上に向け、ななめに取り出す。

充電ランプの表示(バッテリーチャージャー側)



充電ステータスをLEDランプで表示します。

表示	バッテリー残量	充電時間*
CHARGE 点滅(緑)	充電中	
80% 点灯(オレンジ)	80%	約2時間
CHARGE 点灯(緑)	100%	約3.5時間

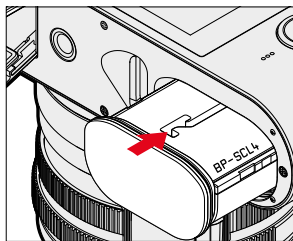
充電が終わったら、過充電を防ぐためにバッテリーチャージャーの電源プラグをコンセントから抜いてください。

* 0%の状態からの所要時間

バッテリーを入れる／取り出す

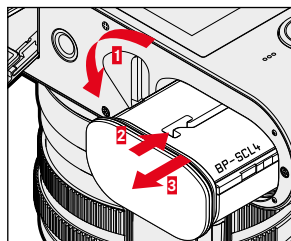
- ▶ カメラの電源が切れていることを確認してください。(p.34)

入れる



- ▶ バッテリーの溝をモニター側に向けて、カチッと音がして当たるまでスロットに押し込みます。

取り出す



- ▶ バッテリー取り外しレバーを回す。
 - わずかにバッテリーが押し出されます。
- ▶ バッテリーを軽く押す。
 - ロックが解除され、バッテリーが完全に押し出されます。
- ▶ バッテリーを取り出す

注意

- カメラの電源を入れたままバッテリーを取り出すと、設定内容が消えたりメモリーカードに保存したデータが破損したりするおそれがあります。

メモリーカードを入れる／取り出す

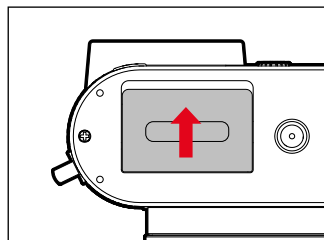
本機では、SDカード、SDHCカード、SDXCカードが使用できます(本書では「メモリーカード」と表記しています)。

メモ

- メモリーカードは、各メーカーからさまざまな容量・転送速度のカードが販売されています。大容量かつ転送速度の速いメモリーカードを使用すると、すばやく書き込み／読み込みを行えます。
- メモリーカードを本機で最初に使用する際には、フォーマットする必要があります(p.134)。カードの容量によっては、本機で使用できない場合があります。その際、モニターにメッセージが表示されます。使用できるメモリーカードに関しては、「テクニカルデータ」の項目をご参照ください。
- メモリーカードがうまく入らない場合は、挿入方向を確認してください。
- その他の情報に関しては、p.10、p.13をご参照ください。
- 動画を撮影するときは、書き込み速度が速いメモリーカードをお使いください。

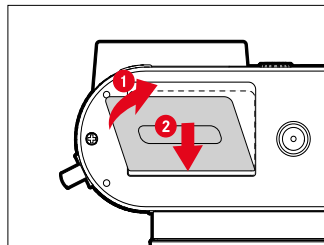
- ▶ カメラの電源が切れていることを確認してください。(p.34)

メモリーカードスロットカバーを開ける



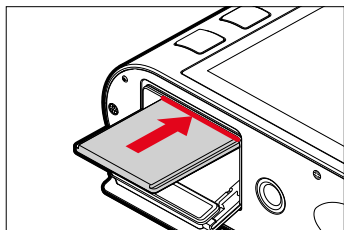
- ▶ カチッと音がするまでカバーをスライドさせる(図参照)。
 - カバーが自動的に開きます。

メモリーカードスロットカバーを閉じる



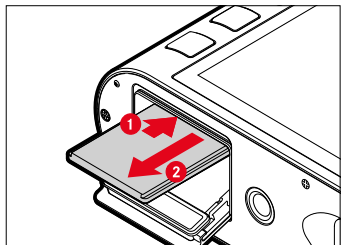
- ▶ カバーをたおし、そのままカチッと音がするまでスライドさせる(図参照)。

入れる



- ▶ メモリーカードの接点をモニター側に向け、カチッと音がするまで押し込む。

取り出す



- ▶ 軽くカチッと音がするまでメモリーカードを押し込む。
 - ・ わずかにメモリーカードが押し出されます。
- ▶ メモリーカードを取り出す。

レンズフードを取り付ける／取り外す

本機は、対応するレンズフードが装着された状態で出荷されています。レンズフードは、ビネッティングを防ぐのに役立ちます。

取り外す

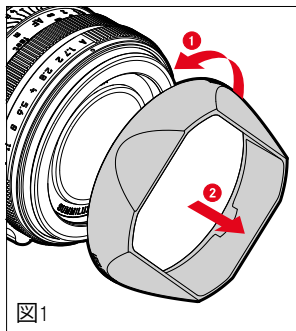


図1

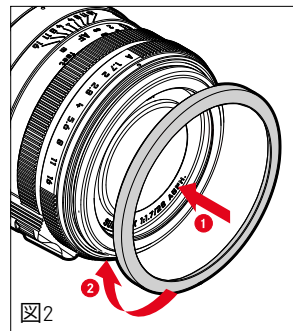
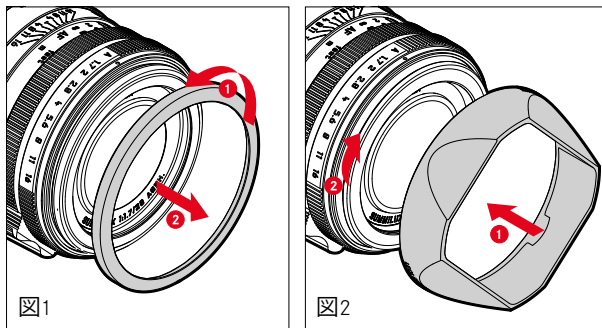


図2

- ▶ レンズフードを反時計回りに回して外す(図1)。
- ▶ 保護リングを取り付ける(図2)。

取り付け



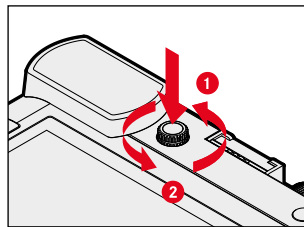
- ▶ 保護リングを反時計回りに回して外す(図1)。
- ▶ レンズフードをカチッと鳴るまで時計回りに回して、取り付ける(図2)。

メモ

- 同梱のレンズフードキャップはレンズフードにのみ取り付けられ、その場合にのみレンズキャップとしても使用できます。
- レンズフードを装着しない場合のレンズキャップE49(別売、製品コード:14001)に関して詳しくは、ライカのホームページのアクセサリに関する項目をご覧ください。store.leica-camera.com

視度調整

眼鏡をかけている／かけていないにかかわらず、ファインダーの視度を-4～+3 dpt.の範囲に調整することができます。



- ▶ カチッと音がするまで視度調整ダイヤルを押し込む。
 - ロックが解除され、ダイヤルがわずかに押し出されます。
- ▶ ファインダーをのぞく。
- ▶ 表示されている画像や情報がくつきり見えるまでダイヤルを回す。
- ▶ カチッと音がするまで、もう一度ダイヤルを押し込む。

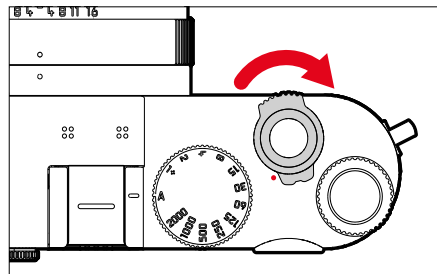
基本的な操作・設定

各種ボタン／ダイヤル

メインスイッチ

電源のオン／オフはメインスイッチで行います。

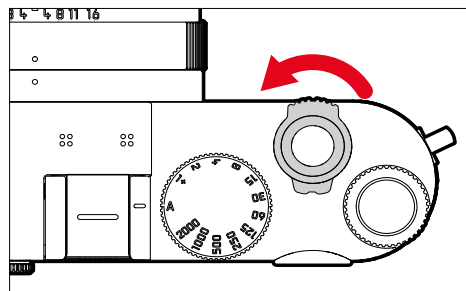
カメラの電源を入れる



メモ

- 電源を入れてから約1秒後にカメラが使用できる状態になります。
- 電源が入るとLEDが数秒間点灯し、ファインダー内の表示が現れます。

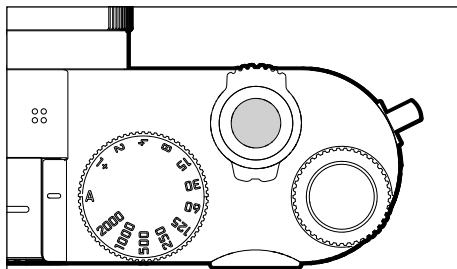
カメラの電源を切る



メモ

- オートパワーオフ** (p.55) 機能をオンに設定しているとき、一定時間操作をしないと、自動的に電源を切ります。オートパワーオフ機能が**オフ**に設定されていて長時間カメラを使用しない場合は、誤ってシャッターボタンを押したり、バッテリーの放電が起こるのを防ぐため、必ずメインスイッチで電源を切ってください。

シャッターボタン



シャッターボタンの作動ポイントは2段階です。

1. 半押し(最初の作動ポイントまで軽く押し)

- カメラを再起動する。
- AE/AFロック(測定/ロック):
 - 絞り優先AEモード時に露出値(カメラが自動設定したシャッタースピード)を固定します。
- セルフタイマーのカウントダウンを中断する。
- 撮影モードに戻る。
 - 再生モードから
 - メニュー操作から
 - スタンバイモードから

2. 全押し

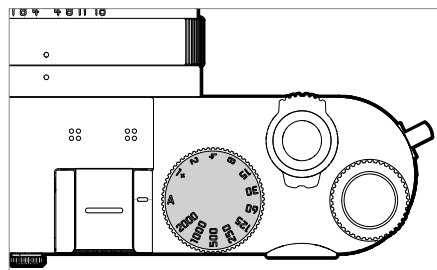
- シャッターボタンを全押しして、撮影を実行する。
 - データがすぐにメモリーカードに自動転送されます。
- あらかじめメニューで設定したセルフタイマーを開始する。
- 連続撮影/インターバル撮影を開始する。

メモ

- プレを防ぐため、シャッターボタンは強く押さず、そっと押し込んでください。
- 以下の場合はシャッターが切れません。
 - メモリーカードまたはバッファメモリーが両方ともいっぱいするとき
 - バッテリーが使用できなくなったとき(残量がなくなる、動作環境外にある、寿命に達するなど)
 - メモリーカードがプロテクトされているときや破損しているとき
 - イメージセンサーの温度が高すぎる時

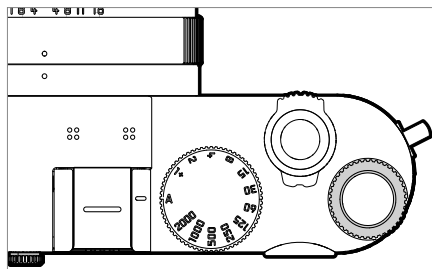
シャッタースピードダイヤル

本機のシャッタースピードダイヤルは、回転方向に関係なく全周回転します。ダイヤル上の数値とその中間にストッパーがあります。クリックストップ以外の中間値は使用できません。詳しくは、「露出」(p.78)をご参照ください。



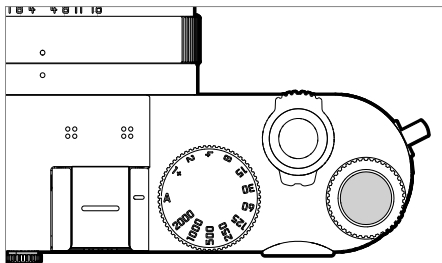
- **A**: 絞り優先AE
(シャッタースピード自動設定)
- **2000 - 1***: ダイヤル上に示されたシャッタースピード

サムホイール



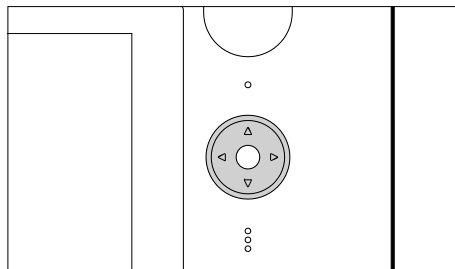
- メニュー内の移動
- 露出補正値の設定
- 表示中の画像の拡大／縮小
- 選択したメニュー項目／機能の設定
- プログラムシフトの設定

サムホイールボタン



- 選択の確定
- メニュー機能のショートカット
- サブメニューの呼び出し

セレクターボタン／センターボタン

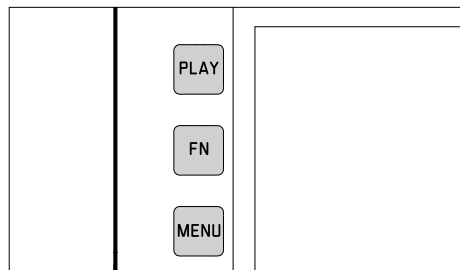


セレクターボタン

- メニュー内の移動
- 選択したメニュー項目／機能の設定
- 再生モード時の一覧表示画面のスクロール
- フォーカスポイントを移動（フレームAFまたはスポットAF設定時）

センターボタン

- 情報表示画面の呼び出し
- サブメニューの呼び出し
- 選択の確定
- 撮影時、設定内容の表示
- 再生時、撮影データの表示
- 動画の再生
- メッセージの確定

PLAYボタン／FNボタン／MENUボタン**PLAYボタン**

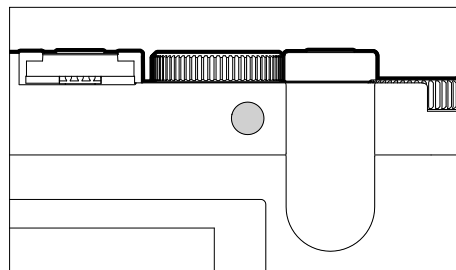
- 再生モード↔撮影モードの切り替え
- 全画面表示へ戻る

FNボタン

- メニュー機能のショートカット
- 画像消去機能のショートカット

MENUボタン

- 各種メニューの呼び出し(メイン画面含む)
- 再生モードメニューの呼び出し
- 表示されているメニュー／サブメニューの終了

ズーム/ロックボタン

- メニュー機能のショートカット
- 画像のマーキング

モニター（タッチパネル）

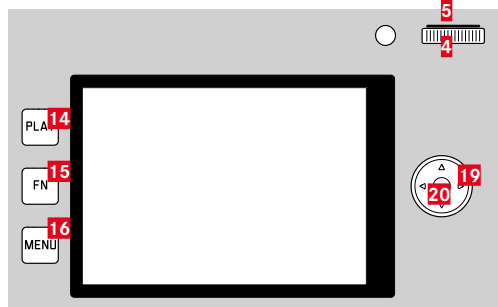
タッチ操作*		撮影モード時	再生モード時
	タッチ	AFフレームの移動、ピント合わせ (タッチAF設定時)	画像の選択
	ダブルタップ	AFフレーム設定のリセット (タッチAF設定時)	表示中の画像の拡大／縮小
	スワイプ		再生モード時の一覧表示画面のスクロール 拡大表示箇所の移動
	スワイプ(水平方向) (全域)	静止画モード↔動画モード(切り替え)	再生モード時の一覧表示画面のスクロール
	スワイプ(垂直方向) (全域)	再生モードへの切り替え	撮影モードへの切り替え
	長押し	AFフレームのサイズ変更	
	ピンチイン／ピンチアウト		表示中の画像の拡大／縮小
	スワイプしてホールド ホールドしてスワイプ	AFフレームの移動、ピント合わせ (タッチAF設定時)	連続スクロール

* タッチパネルは指で軽く触れるだけで操作できます。強く押す必要はありません。

メニュー操作 (メニュー内での操作／メニューに関する設定)

各種ボタン／ダイヤル

メニュー操作には以下のボタン／ダイヤルを使用します。



- | | |
|-------------------|--------------------|
| 14 PLAYボタン | 5 サムホイールボタン |
| 15 FNボタン | 4 サムホイール |
| 16 MENUボタン | 19 セレクターボタン |
| | 20 センターボタン |

メニューの種類

3つのメニュー(メイン画面、**メインメニュー**、**お気に入り**)が使用できます。

メイン画面:

- すばやく各種設定を確認したり、重要な項目にアクセスできます。

お気に入り :

- 個人でお気に入りメニューに登録したメニュー項目(設定できる項目については、p.50をご参照ください。)

メインメニュー :

- すべてのメニュー項目(各種サブメニューを含む)にアクセスできます。

メモ

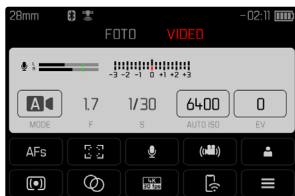
- お気に入りに何も登録されていない場合、お気に入りメニューは表示されません。

メイン画面

静止画



動画



メインメニュー



お気に入り



メニューを切り替える

常にメイン画面が最初に表示されます。各種メニューはページごとに構成されており(メイン画面、お気に入り(最大2ページ)、メインメニュー(5ページ))、ヘッダーにてどのページが表示されているか確認できます。ページ/セクションごとに移動してメニューの種類を切り替えることができます。メイン画面/お気に入りメニューの最後の項目として、メインメニューにアクセスすることもできます。

次のページへ移動する

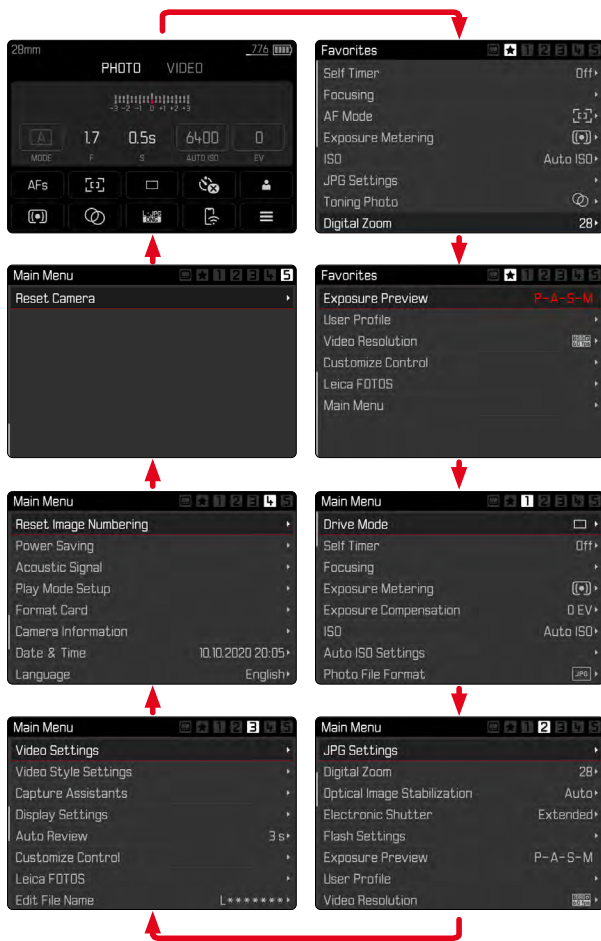
▶ MENUボタンを押す。

- 5ページ目まで進んだ後、メイン画面に戻ります。

前のページへ移動する

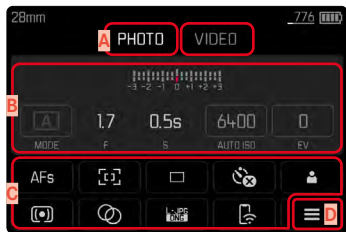
▶ セレクターボタンの左を押す。

- ページを戻す場合にはお気に入りメニューまでしか戻れません。メイン画面に戻りたい場合はMENUボタンを押してください。



メイン画面

メイン画面には、頻繁に使用する各種機能／設定が表示されます。そこからそれぞれの機能へすばやくアクセスすることができます。メイン画面ではタッチ操作が便利です。



- A モード: 静止画／動画
- B 露出設定 (p.78, p.106)
- C メニュー項目
- D メインメニューへのアクセス

メモ

- EVFモードなど、タッチ操作が不可能または望ましくない場合、セレクトボタン、センターボタンおよびサムホイールボタンでメイン画面を操作することもできます。
- 設定はすぐに有効となります。
- 枠で囲まれた項目は選択できます。枠で囲まれていない設定／内容は自動的に設定されたもので、選択できません(設定中の露出モードによる)。
- 設定可能なメニュー項目は、静止画／動画モードで異なります。

設定方法

メイン画面からは様々な方法で各種設定ができます。設定方法はメニューの種類によって異なります。

- ▶ 希望する項目／設定をタッチする。
 - ・ その項目／設定に応じたメニューが表示されます。

直接設定する

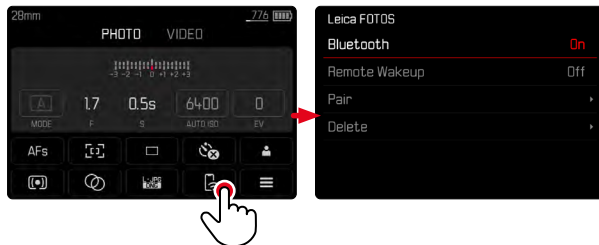
メイン画面下部にメニューバーが表示されます (p.48)。



- ▶ 希望する機能を直接選択し、スワイプする。

サブメニューを呼び出して設定する

この場合、メインメニューから呼び出されたときと同様に操作します (p.45)。そのため、タッチ操作はできません。設定後は、1つ前のメインメニュー／サブメニューのページに戻らずに、メイン画面に戻ります。



- ▶ 希望する設定を選択する。

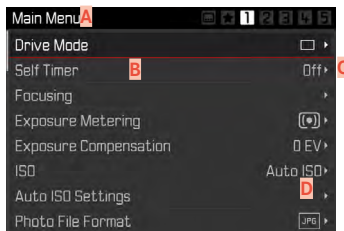
お気に入りメニュー

お気に入りメニューを設定すると、すばやく各種設定を確認したり、重要な項目にアクセスできます。最大で15のメニュー項目から構成されています。お好みに合わせてカスタマイズすることができます (p.50)。



メインメニュー

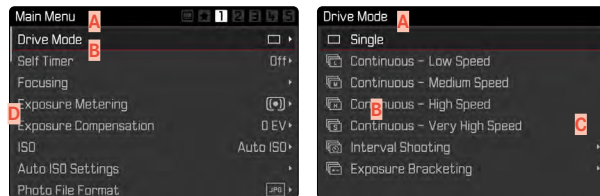
メインメニューからは、すべての設定／項目にアクセスすることができます。ほとんどのメインメニューにはサブメニューがあります。



- A** メニューの種類: **メインメニュー**／お気に入り
- B** メニュー項目名
- C** メニュー項目の設定内容
- D** サブメニューアイコン (サブメニューがあることを示す)

サブメニュー

サブメニュー内にはいくつかの異なる構成があります。各種操作方法は以下の通りです。



- A** 設定中のメニュー項目
- B** サブメニュー項目
- C** サブメニューアイコン (サブメニューがあることを示す)
- D** スクロールバー

サブメニュー内にはいくつかの異なる構成があります。各種操作方法は以下の通りです。

メニュー内の移動

ページを移動する場合

次のページへ移動する

- ▶ MENUボタンを押す。
 - 5ページ目まで進んだ後、メイン画面に戻ります。

前のページへ移動する

- ▶ セレクターボタンの左を押す。
 - ページを戻す場合にはお気に入りメニューまでしか戻れません。メイン画面に戻りたい場合はMENUボタンを押してください。

行を移動する場合

(機能／表示された選択肢の選択)

- ▶ セレクターボタンの上／下を押す。

または

- ▶ サムホイールを回す。
(右=下へ移動、左=上へ移動)
 - 各ページの最初／最後のメニュー項目まで進んだ後、もう一度左／右に回すと、自動的に前／次のページに進みます。その際、現在のメニューエリア(お気に入り、メインメニュー)からは移動できません。

メモ

- いくつかの設定条件では、一部のメニュー項目を呼び出すことができません。設定できない項目がある場合は、その項目の文字が濃いグレーで表示されます。

サブメニューを表示する

- ▶ センターボタンまたはサムホイールボタンを押す。
または
- ▶ セレクターボタンの右を押す。

確定する

- ▶ センターボタンまたはサムホイールボタンを押す。
 - モニターが現在のメニュー項目を含む一覧に戻ります。該当するメニュー項目の右に、新しく設定された内容が表示されます。

メモ

- **オン**または**オフ**を選択する項目では、決定をする必要はありません。いずれかを選択すると自動的に設定されます。

戻る

(1つ前の画面に戻る)

- ▶ セレクターボタンの左を押す。
 - この方法は、リスト形式で表示されているサブメニューでのみ有効です。

最初のページに戻る

- ▶ MENUボタンを1回押す。
 - 現在開いているメニューのメインメニューリストに戻ります。

メニューを終了する

メニューやサブメニュー内で、設定／変更をするしないにかかわらず、メニューを終了することができます。

撮影モードへ切り替える

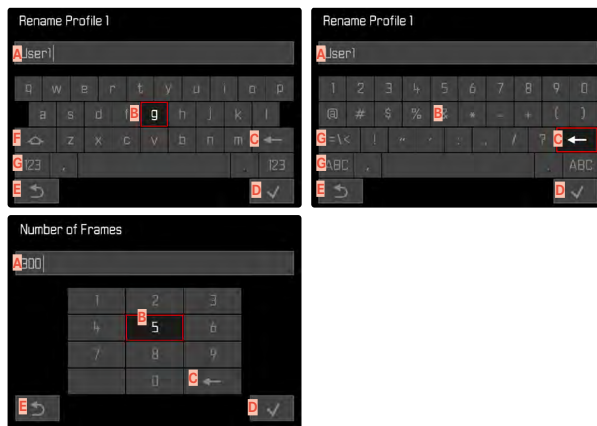
- ▶ シャッターボタンを半押しする。

再生モードへ切り替える

- ▶ PLAYボタンを押す。

サブメニュー

キーパッド／テンキー



- A** 入力行
- B** キーパッド／テンキー
- C** 削除ボタン(最後の文字を削除します)
- D** 確定ボタン
(値や設定を確定する)
- E** 戻るボタン(1つ前の画面へ戻る)
- F** シフトキー(大文字／小文字の切り替え)
- G** 文字種切り替えボタン

文字／ファンクションボタンを選択する

ボタン操作で行う場合

- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。
 - ・ 現在選択されているボタンがマークされます。

または

- ▶ サムホイールを回す。
 - ・ 現在選択されているボタンがマークされます。
 - ・ 行の一番端まで移動したあとは、前または後の行へ移動します。
- ▶ センターボタンを押す。

タッチ操作で行う場合

- ▶ 希望するボタンを直接選択する。

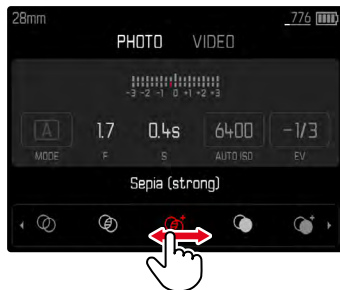
保存する

- ▶ **D**を選択する。

中止する

- ▶ **E**を選択する。

メニューバー



ボタン操作で行う場合

- ▶ セレクターボタンの左／右を押す。
- または
- ▶ サムホイールを回す。

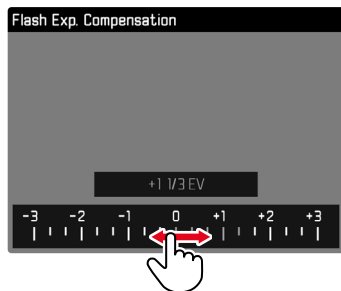
タッチ操作で行う場合

- ▶ 希望する機能を直接選択し、スワイプする。

メモ

- ・ 設定されている値は赤で表示されています。
- ・ 設定された値がスケール／メニューバー上に表示されます。
- ・ ショートカット使用時は、設定変更は直ちに有効になるため、改めて保存する必要はありません。

スケール



ボタン操作で行う場合

- ▶ セレクターボタンの左／右を押す。
- または
- ▶ サムホイールを回す。

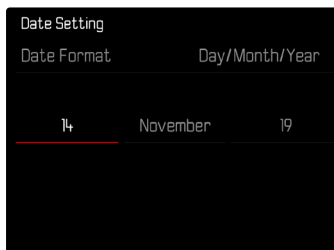
タッチ操作で行う場合

- ▶ 希望する設定を直接選択し、スワイプする。

メモ

- 設定されている値は赤で表示されています。

日付／時刻メニュー



次の入力エリアに移動するには

- ▶ セレクターボタンの左／右を押す。

数字を入力するには

- ▶ セレクターボタンの上／下を押す。
- または
- ▶ サムホイールを回す。

保存して1つ前のメニュー項目に戻るには

- ▶ センターボタンを押す。

カスタマイズ

お気に入りメニュー

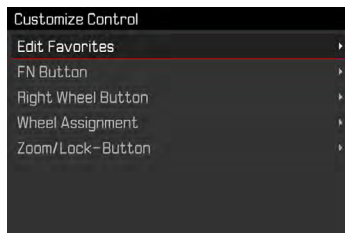
よく使うメニューをお気に入りに15項目まで登録することができます。頻繁に使用する項目にすばやく簡単にアクセスできるので便利です。登録可能な項目に関しては、p.150のリストをご参照ください。

お気に入りメニューに少なくとも1つのメニュー項目が登録されている場合、モニターのヘッダーに星が表示されます。

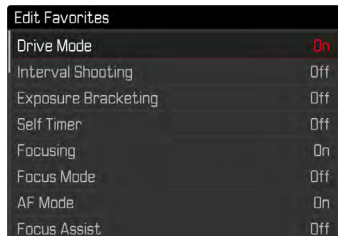


お気に入りメニューを設定する

- ▶ メインメニューでショートカット設定を選択する。
- ▶ お気に入り編集を選択する。



- ▶ 希望するメニュー項目を選択する。



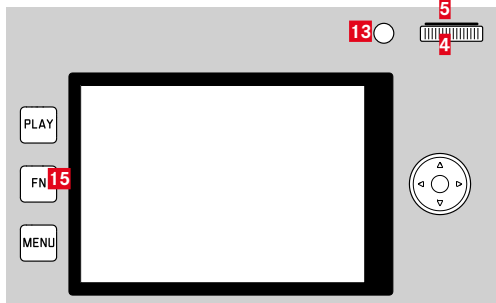
- ▶ オンまたはオフを選択する。
 - すでに15項目登録されている場合は、エラーメッセージが表示されます。

メモ

- すべてのメニュー項目がオフに設定されている場合は、お気に入りメニューは表示されません。

ショートカット

ショートカット機能を使うと、よく使うメニューを撮影中にすばやく呼び出すことができます。以下の機能をショートカットに登録することができます。登録可能な項目に関しては、p.150のリストをご参照ください。



- | | |
|----------------------|--------------------|
| 13 ズーム/ロックボタン | 5 サムホイールボタン |
| 15 FNボタン | 4 サムホイール |

メモ

- ・ ショートカットから呼び出されるサブメニューは、メインメニューから呼び出される場合とは異なる形式になっていることがあります。よりすばやく設定するために、メニューバーとして表示されることがあります。
- ・ ボタン操作を使用するか、モニターをタッチ操作して設定することができます。操作方法は、サブメニューの形式ごとに異なります。

ダイナミックショートカット

以下の2つのボタンに、カスタマイズメニューに登録されている中から2つの機能を割り当て、ショートカットすることができます。

- FNボタン(初期設定:セルフタイマー)
- サムホイールボタン(初期設定:ISO)

ショートカット機能のリストを設定するには

- ▶ メインメニューでショートカット設定を選択する。
- ▶ FNボタンまたは設定ダイヤルボタン(右)を選択する。
- ▶ 各項目でオンまたはオフを選択する。
 - ・ リストには、最大で8つのメニュー項目を登録することができます。

割り当てを変更する

- ▶ FNボタン/サムホイールボタンを長押しする。
 - ・ モニターにショートカットに登録されているメニューリストが表示されます。
 - ・ このリストは、いつでもショートカット設定から変更することができます。
- ▶ 希望するメニュー項目を、センターボタンで選択する。
 - ・ 選択を決定する必要はありません。変更はすぐに適用されます。

割り当てた機能を呼び出すには

- ▶ FNボタン/サムホイールボタンを短く押す
 - ・ 割り当てられた機能が呼び出されるか、サブメニューが表示されます。

ショートカット

以下の2つの操作部位に、メニュー操作によって機能を割り当て、ショートカットすることができます。それぞれに一機能のみ登録が可能です。

- ズーム/ロックボタン
- サムホイール

ズーム/ロックボタン

初期設定：**デジタルズーム**

そのほか、ズーム/ロックボタンにオート測光またはAE/AFロックを割り当てることができます。

- ▶ メインメニューで**ショートカット設定**を選択する。
- ▶ **ズーム/ロックボタン**を選択する。
- ▶ **デジタルズーム**、**AF-L + AE-L**、**AE-L**または**AF-L**を選択する。

割り当てた機能を呼び出すには

- ▶ ズーム/ロックボタンを短く押す。

サムホイール

初期設定：**オート**

サムホイールには、露出補正機能を割り当てることができます。

- ▶ メインメニューで**ショートカット設定**を選択する。
- ▶ **ダイヤルの機能設定**を選択する。
- ▶ **露出補正**を選択する。

オート設定時は、露出モードによってサムホイールには異なる機能が割り当てられます(p.79)。

	オフ	オート	露出補正
P	機能なし	プログラムシフト	露出補正
A	機能なし	シャッタースピード	露出補正
S	機能なし	露出補正	露出補正
M	機能なし	シャッタースピード	露出補正

割り当てた機能を呼び出すには

- ▶ サムホイールを左/右に回す。

カメラの基本設定

メニュー内の操作と文字の入力に関して詳しくは、「メニュー操作」(p.40)をご参照ください。

- カメラの電源を最初に入れた時、初期設定に戻した時(p.136)、またはファームウェアアップデート時にはLanguage/日付/時刻の項目が自動的に表示されます。設定してください。

カメラの表示言語を設定する

初期設定: 英語

使用可能言語: ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、日本語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語

- ▶ メインメニューでLanguageを選択する。
- ▶ 希望する言語を選択する。
 - 一部の項目と略称(ISOなど)を除き、表示言語が変わります。

日付/時刻

日付

表示形式は3種類から選択できます。

- ▶ メインメニューで日付/時刻を選択する。
- ▶ 日付設定を選択する。
- ▶ 希望する表示形式を選択する。
(日/月/年、月/日/年、年/月/日)
- ▶ 日付を設定する。

時刻

- ▶ メインメニューで日付/時刻を選択する。
- ▶ 時刻設定を選択する。
- ▶ 希望する表示形式を選択する。
(12時間、24時間)
- ▶ 時刻を設定する。
(12時間表示を選択した場合は、amまたはpmも設定してください。)

タイムゾーン

- ▶ メインメニューで**日付/時刻**を選択する。
- ▶ **タイムゾーン**を選択する。
- ▶ 希望するゾーンまたは現在の滞在地を選択する。
 - 左:グリニッジ標準時との時差
 - 右:タイムゾーン内の主要都市

サマータイム

- ▶ メインメニューで**日付/時刻**を選択する。
- ▶ **サマータイム**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。

省エネモード(スタンバイモード)

バッテリーの消費を防ぐために、一定時間カメラを操作しないと自動的に電源をオフ(スリープ)にすることができます。

3段階で消費を防ぐことができます。

- 数秒後にスタンバイモードが起動
- 数分後にスタンバイモードが起動
- モニターのオートパワーオフ (p.58)

秒単位でオートパワーオフ

バッテリー残量を最大限保つため、カメラが数秒後にスタンバイモードに切り替わります。

初期設定:**オフ**

- ▶ メインメニューで**省エネ**を選択する。
- ▶ **省エネ**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**オフ**、**3秒**、**5秒**、**10秒**)

分単位でオートパワーオフ

初期設定:**2分**

- ▶ メインメニューで**省エネ**を選択する。
- ▶ **オートパワーオフ**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**オフ**、**2分**、**5分**、**10分**)

メモ

- スリープからの復帰は、シャッターボタンを半押しするか、メインスイッチで電源を入れ直してください。

モニター／ファインダー設定

本機には強度と耐傷性に優れたGorilla®ガラス製カバーガラスで保護された大型3.0型液晶モニターが搭載されています。

以下の機能が使用でき、各機能ごとにお好みの設定をすることができます。

- モニター／EVFの使用
- アイセンサーの感度
- 明るさ
- 色再現
- 表示オプション
- モニターのオートパワーオフ

モニター／EVFの使用

どのような場合にモニターまたはEVFを使用するかを設定することができます。モニター、EVF共に表示される内容は同一です。

初期設定: **オート**

	EVF	モニター
オート	ファインダーのアイセンサーによって、モニターとファインダーの使用をカメラが自動的に切り替えます。	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影時の状態 • 再生モード • メニュー操作
LCD		<ul style="list-style-type: none"> • 撮影時の状態 • 再生モード • メニュー操作
EVF	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影時の状態 • 再生モード • メニュー操作 	
EVF アドヴァンスド	撮影モード時はファインダーのみを使用します。再生モード時、メニュー操作時はファインダーのアイセンサーによって、モニターとファインダーの使用をカメラが自動的に切り替えます。	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影時の状態 • 再生モード • メニュー操作

- ▶ メインメニューで**モニター設定**を選択する。
- ▶ **EVF-LCD**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。

メモ

- ・ 暗い場所などでモニターをオフにしなければならない場合、**EVF**を選択してください。

アイセンサーの感度

特にメガネ着用時の切り替えを確実に行うため、アイセンサーの感度を変更することができます。

初期設定:低

- ▶ メインメニューで**モニター設定**を選択する。
- ▶ **アイセンサー感度**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。

明るさ

表示内容を見やすくするために、周囲の明るさに応じてモニター表示の明るさを変更することができます。モニターとファインダーは個別に、ボタン操作とタッチ操作の両方で設定することができます。



モニター

- ▶ メインメニューで**モニター設定**を選択する。
- ▶ **LCD輝度**を選択する。
- ▶ 希望する明るさ、または**オート**を選択する。
- ▶ 確定する。

EVF

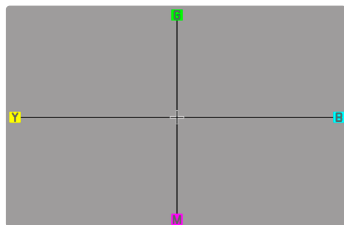
- ▶ メインメニューで**モニター設定**を選択する。
- ▶ **EVF輝度**を選択する。
- ▶ ファインダー内で点滅します。
- ▶ 希望する明るさを選択する。
- ▶ 確定する。

メモ

- ・ ファインダー内の明るさは**オート**で設定できません。

色再現

モニター／EVFをお好みに合わせた色調に調整することができます。モニターとファインダーは個別に、ボタン操作とタッチ操作の両方で設定することができます。



モニター

- ▶ メインメニューで**モニター設定**を選択する。
- ▶ **LCDカラー設定**を選択する。
- ▶ 希望するカラー設定を選択する。
- ▶ 確定する。

EVF

- ▶ メインメニューで**モニター設定**を選択する。
- ▶ **EVFカラー設定**を選択する。
- ▶ ファインダー内で点滅します。
- ▶ 希望するカラー設定を選択する。
- ▶ 確定する。

モニターのオートパワーオフ

バッテリー残量を節約するため、モニターを自動的にオフにすることができます。

初期設定:**1分**

- ▶ メインメニューで**省エネ**を選択する。
- ▶ **全ての表示を自動オフ**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**30秒**、**1分**、**5分**)

EVFフレームレート

電子ビューファインダーのフレームレートを設定することができます。

- ▶ メインメニューで**モニター設定**を選択する。
- ▶ **EVFフレームレート**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**60 fps**、**120 fps**)

電子音

電子音でいくつかの機能の設定を確認することができます。以下の機能を個別に設定することができます：

- 電子シャッター音
- AF確定音

音量

各種電子音の音量を調節することができます。

- ▶ メインメニューで**電子音**を選択する。
- ▶ **音量**を選択する。
- ▶ **低**または**高**を選択する。

お知らせ音

セルフタイマーのカウントダウン中や、メモリーカード容量が上限に達した場合など、電子音によってお知らせすることができます。

- ▶ メインメニューで**電子音**を選択する。
- ▶ **電子音**を選択する。
- ▶ **オン**を選択する。

電子シャッター音

- ▶ メインメニューで**電子音**を選択する。
- ▶ **電子シャッター音**を選択する。
- ▶ **オン**を選択する。

AF確定音

ピントが合った時に、電子音でお知らせすることができます。

- ▶ メインメニューで**電子音**を選択する。
- ▶ **AF確定音**を選択する。
- ▶ **オン**を選択する。

無音撮影

電子音を出さずに撮影をすることができます。

- ▶ メインメニューで**電子音**を選択する。
- ▶ **電子シャッター音**／**AF確定音**／**電子音**を選択する。
- ▶ 各項目で**オフ**を選択する。

電子シャッター

本機ではメカニカルシャッター以外に、電子シャッターも使用できます。電子シャッターは、メカニカルシャッターでは対応できない高速シャッタースピードを可能にします。また、シャッター音を立てずに撮影することができます。

- ▶ メインメニューで**電子シャッター**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。

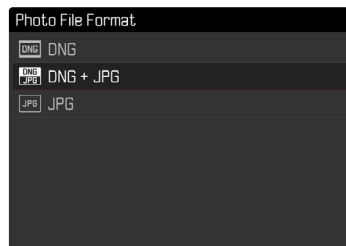
オフ	メカニカルシャッターのみで撮影(120秒~1/2000秒)
毎回	電子シャッターのみで撮影(1/2500秒~1/40000秒)
追加機能	メカニカルシャッター使用時に高速シャッタースピードでの撮影を失敗なく行うために、電子シャッターもあわせて使用します。(120秒~1/2000秒+1/2500秒~1/40000秒)

撮影の基本設定 (静止画)

記録形式

JPG形式 **JPG**、および標準のRAWデータ形式 **DNG** (デジタルネガティブ) が選択できます。別々に使用することもできますが、両方の形式で同時に記録することもできます。

初期設定: **DNG + JPG**



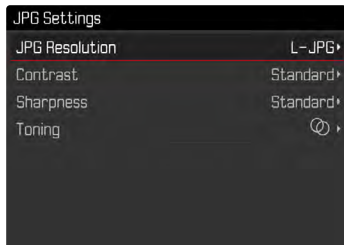
- ▶ メインメニューで**静止画記録形式**を選択する。
- ▶ 希望するフォーマットを選択する。
(**DNG**、**DNG+JPG**、**JPG**)

メモ

- DNG (デジタルネガティブ) とは、RAWファイル形式の標準フォーマットです。撮像素子が記録したデータをそのまま保存します。
- **DNG**形式と**JPG**形式の画像データを同時に保存する際、**JPG**形式の記録画素数を設定することができます。
- **DNG**(RAW) 画像は、**JPG**設定にかかわらず最大記録画素数で記録されます。
- モニターに表示される撮影可能枚数は撮影後すぐに更新されない場合があります。これは記録に必要なデータ容量が被写体によって異なるためです。複雑な絵柄はデータサイズが大きく、均一な絵柄はデータサイズが小さくなります。

JPG設定

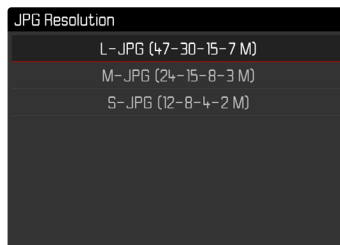
この設定はJPG画像にのみ適用されます。



記録画素数

JPGでは記録画素数をL-JPG (47MP)、M-JPG (24MP)、S-JPG (12MP)の3種類から選択できます (MP=メガピクセル)。画像の用途やメモリーカード容量に合わせて最適な設定を選んでください。

初期設定:L-JPG



- ▶ メインメニューでJPG設定を選択する。
- ▶ JPG記録画素数を選択する。
- ▶ 希望する記録画素数を選択する。

デジタルズーム機能 (p.93) の使用時は、以下の解像度で画像を保存することができます。

	28 mm	デジタルズーム 35 mm	デジタルズーム 50 mm	デジタルズーム 75 mm
L-JPG	47 MP	30 MP	15 MP	7 MP
M-JPG	24 MP	15 MP	8 MP	3 MP
S-JPG	12 MP	8 MP	4 MP	2 MP

画像のプロパティ

デジタル写真には数多くのメリットがありますが、その1つが画質を簡単に調整できることです。

本機では、フィルムモードでコントラスト、シャープネス、トーンングを撮影前に調整できます。

コントラスト

コントラスト：明るい部分と暗い部分の差のことで、画像が“単調”であるか“鮮明”であるかを決める要素です。コントラスト調整とは、明るい部分をより明るくして暗い部分をより暗くするなど、明暗の差に強弱をつけることです。

初期設定：**標準**

- ▶ メインメニューで**JPG設定**を選択する。
- ▶ **コントラスト**を選択する。
- ▶ 希望のレベルを選択する。
(**低**、**中低**、**標準**、**中高**、**高**)

シャープネス

輪郭強調の強弱を調整します。

初期設定：**標準**

- ▶ メインメニューで**JPG設定**を選択する。
- ▶ **シャープネス**を選択する。
- ▶ 希望のレベルを選択する。
(**低**、**中低**、**標準**、**中高**、**高**)

トーンング

画像の色味を変えることができます。カラートーンと濃度を調整することができます。

初期設定：**オフ**

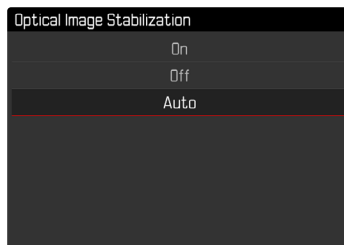


- ▶ メインメニューで**JPG設定**を選択する。
- ▶ **トーンング**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**セピア(薄い)**、**セピア(濃い)**、**ブルー(薄い)**、**ブルー(濃い)**、**セレン(薄い)**、**セレン(濃い)**)

手ブレ補正

光学式手ブレ補正機能オンにすると、暗い環境下での撮影時にシャッター速度をより遅く設定しても、ブレを抑えた画像を撮影することができます。

初期設定: **オート**



- ▶ メインメニューで**光学式手ブレ補正**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**オン** **オフ** **オート**)

撮影の基本設定 (動画)

記録形式

動画はMP4形式で録画されます。

動画形式

動画形式は、C4K (Cinema4K) (4096x2160画素)、4K (3840x2160画素)、Full HD (1920x1080画素) から選択できます。

4KまたはFull HD形式を選択した場合、異なるフレームレートで撮影することができます。

- 4K: 24 fps (コマ/秒)、30 fps
- Full HD: 24 fps、30 fps、60 fps、120 fps

画像の用途やメモリーカード容量に合わせて最適な設定を選んでください。

- ▶ メインメニューで**動画画質**を選択する。
- ▶ 希望する解像度/フレームレートを選択する。
(C4K / 24 fps、4K / 30 fps、4K / 24 fps、Full HD / 120 fps、Full HD / 60 fps、Full HD / 30 fps、Full HD / 24 fps)

マイク

マイク感度を変更することができます。

初期設定: **中**

- ▶ メインメニューで**動画撮影設定**を選択する。
- ▶ **マイク感度**を選択する。
- ▶ 希望のレベルを選択する。
(高、**中**、中低、低、オフ)

メモ

- ピント合わせやズーム操作によって生じるノイズも録音されます。

ノイズ軽減

初期設定: **オン**

- ▶ メインメニューで**動画撮影設定**を選択する。
- ▶ **風切音低減**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。

手ブレ補正 (動画撮影時)

動画撮影時に手ブレ補正機能をオンにすると、画面の揺れを軽減できます。

- ▶ メインメニューで**動画撮影設定**を選択する。
- ▶ **動画手ぶれ補正**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。

画像のプロパティ

動画撮影時も、画像のプロパティを簡単に変更できます。本機では、フィルムモードでコントラスト、シャープネス、トーニングを撮影前に調整できます。

コントラスト

初期設定:標準

- ▶ メインメニューで**動画モード設定**を選択する。
- ▶ **コントラスト**を選択する。
- ▶ 希望のレベルを選択する。
(低、中低、標準、中高、高)

シャープネス

初期設定:標準

- ▶ メインメニューで**動画モード設定**を選択する。
- ▶ **シャープネス**を選択する。
- ▶ 希望のレベルを選択する。
(低、中低、標準、中高、高)

トーニング

初期設定:オフ

- ▶ メインメニューで**動画モード設定**を選択する。
- ▶ **トーニング**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(セピア (薄い)、セピア (濃い)、ブルー (薄い)、ブルー (濃い)、セレン (薄い)、セレン (濃い))

撮影モード(静止画)

ドライブモード

本項目に記載されている機能や設定は、基本的に1コマ撮影の際に有効です。本機では、1コマ撮影以外にも様々なモードでの撮影が可能です。各種操作/設定に関して詳しくは、各種機能の項目をご参照ください。

- ▶ メインメニューで**ドライブモード**を選択する。
- ▶ 希望する機能を選択する。

モード	設定できる内容
1コマ撮影	1コマ
連続撮影 (p.88)	撮影速度： - コンティニュース-低速 - コンティニュース-高速
セルフタイマー (p.92)	タイマー時間： - セルフタイマー-2秒 - セルフタイマー-12秒
インターバル撮影 (p.89)	コマ数 撮影間隔 (インターバル) タイマー時間 (カウントダウン)
オートブラケット (p.91)	コマ数 (3枚または5枚) EVステップ 露出補正

ピントを合わせる

オートフォーカスとマニュアルフォーカスから選択します。オートフォーカスでの撮影時に、2つのモードと3つの測距方式から選択することができます。

AFで撮影する

- ▶ AF/MF切換スイッチを押しながら、フォーカスリングをAFポジションに設定する。
- ▶ 必要に応じて、AFフレームの位置を移動させる。
- ▶ シャッターボタンを半押し続ける。
 - ・ AFsまたはAFcモードでピント合わせが実行されます。
 - ・ ピントが合った場合：AFフレームが緑色に変わる
 - ・ ピントが合わない場合：AFフレームが赤色で表示される
 - ・ ズーム/ロックボタンを使用して、フォーカスや露出を設定し、固定することができます (AE/AFロック、p. 84)。
- ▶ 撮影

MFで撮影する

- ▶ AF/MF切換スイッチを押しながら、
- ▶ フォーカスリングを回してAFを解除する。
- ▶ フォーカスリングを回してピントを合わせる。
- ▶ 撮影

ピント合わせについて詳しくは、オートフォーカス/マニュアルフォーカスの各項目をご覧ください。

オートフォーカス

以下のモードが使用可能です：**AFs&AFc**設定されているモードがヘッダーに表示されます。

AFs (シングル)

動きの少ない、またはまったく動かない被写体の撮影時に使用します。フォーカシングは一度だけ実行され、ピントが固定されます。その後シャッターボタンを半押し続けている間、ピントが合い続けます。ピントが固定されているので、被写体が測距点/AFフレームから外れても、撮影したい被写体にピントを合わせられます。

AFc (コンティニュアス)

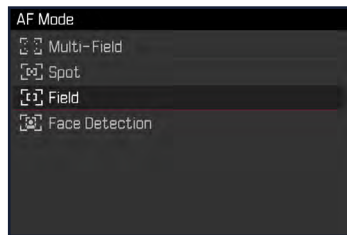
動きのある被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押し続けている間、AFフレーム上にある被写体にピントが合い続けます。

- ▶ メインメニューで**フォーカス**を選択する。
- ▶ **フォーカスモード**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。

測距方式

オートフォーカス設定時は、異なる測距方式が使用できます。ピントが合った場合AFフレームが緑色に変わり、ピントが合わなかった場合はAFフレームは赤色で表示されます。

初期設定：**多点**



- ▶ メインメニューで**フォーカス**を選択する。
- ▶ **AFモード**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**多点**、**スポット**、**フレーム**、**顔認識**)

メモ

- ・ オートフォーカスでの撮影時に、ピントが合わないことがあります。
 - 撮影したい被写体までの距離が近すぎるまたは遠すぎるとき
 - 被写体が暗い場所にあるとき

フレーム測光

撮影範囲内の多くのポイントにピントを合わせることができます。スナップショットの撮影時に便利です。

スポット測距／フレーム測距

測距点／AFフレームが設定されている範囲内のみで測距が行われ、ピントが合います。スポット測距時は1つの十字、フレーム測距時は小さなAFフレームが表示されます。スポット測距は、きわめて小さい部分にピントを合わせたい場合に使用します。

フレーム測距は、一部の狭い範囲内にピントを合わせたい場合に使用します。

これらの測距方式は、ピントを合わせたい被写体が画面中央にない場合に連続して撮影を行う際、被写体にピントを合わせたまま撮影ができるのでとても便利です。

測距点／AFフレームの位置を移動させることができます。

- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。
または
- ▶ 移動させたい位置をモニター上で直接タッチする。
(タッチAF設定時)

メモ

- ・ 設定したAFフレームは、電源をオフにした場合でもAFモードを変更した場合でも、その位置が記憶されます。

顔認識

本機では、人物の顔を認識してピントを合わせることができます。検出された顔の最も近い位置にピントが合います。認識できない場合は、多点測距AFに切り替わります。



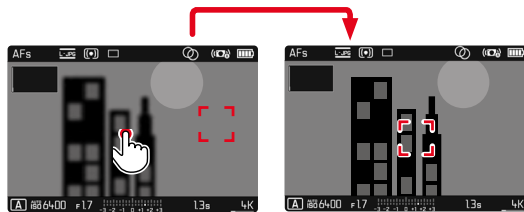
タッチAF

モニターをタッチして測距点／AFフレームの位置を移動させることができます。

- ▶ メインメニューで「フォーカス」を選択する。
- ▶ 「タッチAF」を選択する。
- ▶ 「タッチAF」を選択する。

AFフレームの位置を移動させるには

- ▶ 移動させたい位置をモニター上で直接タッチする。



測距点／AFフレームをモニターの中央に移動させるには

- ▶ モニターをダブルタップする。

メモ

- この方法は、以下のAF測距方式の場合に使用できます：スポット測距、フレーム測距

タッチ操作で撮影する（タッチAF+レリーズ）

タッチAF+レリーズに設定すると、モニターをタッチしてピントを合わせ、そのまま撮影ができます。

- ▶ メインメニューで**フォーカス**を選択する。
- ▶ **タッチAF**を選択する。
- ▶ **タッチAF+レリーズ**を選択する。
- ▶ 移動させたい位置をモニター上で直接タッチする。

EVF使用時にタッチAFを使用する

誤操作によりAFフレームが移動するのを防ぐため、電子ビューファインダー（EVF）使用時はタッチAFを無効にすることができます。ただし、EVF使用時でも同様にタッチAFを使用することもできます。

初期設定：**オフ**

- ▶ メインメニューで**フォーカス**を選択する。
- ▶ EVF使用時に**タッチAF**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。

メモ

- ・ AFフレームをスワイプにより移動させる方が便利ことがあります。

AFアシスト機能

AFモード時の拡大表示

撮影する画像の細部を確認するのに、ピント合わせに関係なく拡大表示をすることができます。

この機能を使用するにはメニュー項目**拡大**をFNボタンまたはサムホイールボタンに割り当てる必要があります（p.51）。

拡大画像を表示するには

- ▶ FNボタン／サムホイールボタンを押す。
 - ・ 拡大された画像が表示されます。拡大位置は、AFフレームの位置によって変わります。
 - ・ 画面の右側に表示される四角い枠内で現在の表示位置を確認できます。

拡大倍率を変更するには

- ▶ センターボタンを押す。
 - ・ 3倍と6倍の2つの倍率を切り替えることができます。

拡大位置を移動するには

- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。

拡大表示を終了するには

- ▶ シャッターボタンを半押しする。

メモ

- ・ 他の画像を拡大しても倍率を変えるまで、前回と同じ倍率で拡大表示されます。

AF補助光

内蔵のAF補助光を使うと、暗い場所での撮影時にオートフォーカスでピントを合わせやすくなります。AF補助光設定時は、シャッターボタンを半押しすると、自動的にAF補助光が発光します。

- ▶ メインメニューで**フォーカス**を選択する。
- ▶ **AF補助光**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。

メモ

- 補助光の有効範囲は約5mまでです。
- ピントが合って測距点/AFフレームが緑になると、AF補助光は自動的に発光します。

AF確定音

ピントが合った時に、電子音でお知らせすることができます (p.59)。

AFクイック設定

フレーム測距時にフレームサイズをすばやく変更することができます。ファインダー内の画像は、各種設定中も表示されます。

AFクイック設定を呼び出す

- ▶ モニターを長くタッチする。
 - すべての撮影補助表示が非表示になります。
 - 測距方式が**フレーム**に設定されていると、測距フレームの2つの角に赤い三角形が表示されます。



AFフレームの大きさを変更する

(**フレーム**測距時のみ)

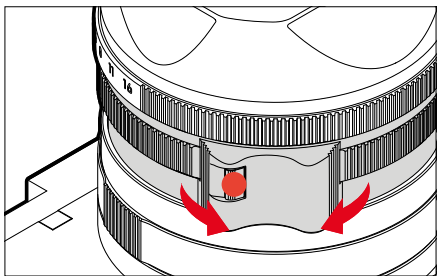
- ▶ サムホイールを回す。
または
- ▶ ピンチイン/ピンチアウトする。
 - AFフレームの大きさは、3段階で調整できます。

マニュアルフォーカス (MF)

被写体や撮影状況によっては、オートフォーカスよりもマニュアルフォーカスでピントを合わせるほうが便利ことがあります。

- 複数回の撮影を同じ設定で行いたい場合
- 測距値の保存が煩雑な場合
- 常に同じ設定で風景を撮影したい場合
- 暗すぎてAFモードがまったく作動しない、または遅く作動するなど撮影環境が悪い場合

- ▶ AF/MF切換スイッチを押しながら、フォーカスリングを回してAFを解除する。



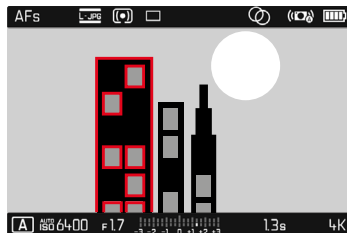
- ▶ 撮影したい被写体にピントが合うまでフォーカスリングを回す。

MFアシスト機能

マニュアルフォーカス撮影時には、次の補助機能が使用できます。

フォーカスピーキング

この機能をオンにすると、ピントが合っている被写体の輪郭をマークすることができます。表示色を変更できます。



- ▶ メインメニューで**フォーカス**を選択する。
- ▶ **フォーカスイイト**を選択する。
- ▶ **フォーカスピーキング**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**オフ**、**レッド**、**グリーン**、**ブルー**、**ホワイト**)
- ▶ 構図を決める。
- ▶ ピントを合わせたい被写体の縁に色がつくまで、フォーカスリングを回す。

メモ

- ・ フォーカスピークは被写体のコントラスト（明暗差）に基づいて行われます。被写体のコントラストが高い場合、輪郭が正しくマークされないことがあります。

MFモード時の拡大表示

被写体の細部を確認できるので、より正確にピントを合わせることができます。

ピントを合わせやすいように、フォーカスリングを回すと自動的に画像の中央部分を拡大することができます。

- ▶ メインメニューで**フォーカス**を選択する。
- ▶ **フォーカスエイド**を選択する。
- ▶ **自動拡大**を選択する。
- ▶ **オン**を選択する。
- ▶ フォーカスリングを回す。
 - ・ 拡大された画像が表示されます。拡大位置は、AFフレームの位置によって変わります。
 - ・ 画面の右側に表示される四角い枠内で現在の表示位置を確認できます。
- ▶ シャッターボタンを半押しする。
 - ・ 通常の倍率に戻ります。

拡大倍率を変更するには

- ▶ センターボタンを押す。
 - ・ 3倍と6倍の2つの倍率を切り替えることができます。

拡大位置を移動するには

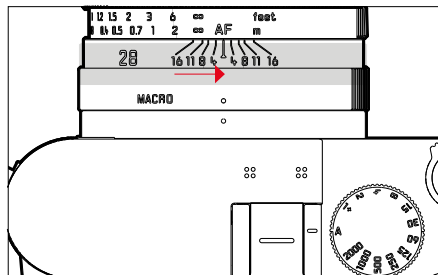
- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。

メモ

- ・ フォーカスリングを回した後、約5秒間カメラを操作しないと、通常の倍率に戻ります。
- ・ 他の画像を拡大しても倍率を変えるまで、前回と同じ倍率で拡大表示されます。

マクロ機能

マクロリングを使用すると、通常のフォーカス範囲（30cm～∞）からマクロ撮影範囲（17cm～30cm）へと、すばやく切り換えることができます。マクロ撮影の際、AF、MFのどちらでもピントを合わせることができます。



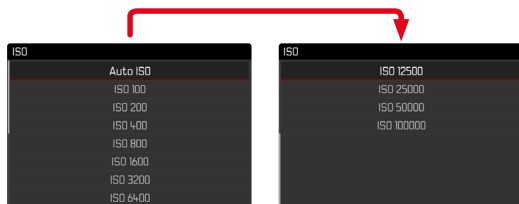
- ▶ マクロリングの「MACRO」をマクロ指標に合わせる。
 - フォーカス範囲を切り換える際は、フォーカスリング上の焦点距離指標も変更してください。

ISO感度

ISO感度はISO100～100000の範囲で設定可能で、必要に応じて手動でシャッタースピードや絞り値を各状況にあった値に設定することができます。

マニュアル設定を使用すると、使用可能なシャッタースピードと絞り値の組み合わせが増え、希望の組み合わせが見つかりやすくなります。オート設定中は、被写体の内容などによって、組み合わせの優先順位を設定することもできます。

初期設定：**オートISO**



ダイヤル上に示されたISO感度

ISO100～ISO100000の範囲で、11段階から選択することができます。

- ▶ メインメニューでISOを選択する。
- ▶ 希望する値を選択する。

メモ

- ISO感度を高く設定した場合や、撮影後に画像を加工する場合は、被写体の明るく均一な箇所には縞模様やノイズが生じやすくなります。

オート

周囲の明るさや、シャッタースピードと絞り値の組み合わせに応じて自動でISO感度を設定できる機能です。この機能を絞り優先AEモードと併用することで自動露出制御範囲を広げることができます。

- ▶ メインメニューで**ISO**を選択する。
- ▶ **オートISO**を選択する。

ISO感度の設定範囲を制限する

最大ISO感度を設定し、ISO感度の自動調整範囲を制限することができます。また、同時に最大シャッタースピードを設定することもできます。焦点距離に基づいたシャッタースピード (**1/f**、**1/(2f)**、**1/(3f)**、**1/(4f)**)、または**1/2**秒～**1/2000**秒の範囲内での最大シャッタースピードが使用できます。

焦点距離から計算されたシャッタースピードに設定した場合、露出不足などによって設定可能範囲の下限を下回る場合は、ISO感度を上げることで露出の調整を行います。

フラッシュ撮影時は個別に設定することができます。

最大ISO感度を制限する

ISO 400以上の値に設定できます。

初期設定：**6400**

- ▶ メインメニューで**オートISO設定**を選択する。
- ▶ **最大ISO**を選択する。
- ▶ 希望する値を選択する。

最大シャッタースピードを制限する

初期設定：**1/(2f)**

- ▶ メインメニューで**オートISO設定**を選択する。
- ▶ **最長シャッター速度**を選択する。
- ▶ 希望する値を選択する。
(**1/f**、**1/(2f)**、**1/(3f)**、**1/(4f)**、**1/2000**、**1/1000**、**1/500**、**1/250**、**1/125**、**1/60**、**1/30**、**1/15**、**1/8**、**1/4**、**1/2**)

最大ISO感度を制限する (フラッシュユニット使用時)

ISO 400以上の値に設定できます。

初期設定：**6400**

- ▶ メインメニューで**オートISO設定**を選択する。
- ▶ **最大ISO値(フラッシュ)**を選択する。
- ▶ 希望する値を選択する。

最大シャッタースピードを制限する (フラッシュユニット使用時)

初期設定：**1/(2f)**

- ▶ メインメニューで**オートISO設定**を選択する。
- ▶ **シャッタースピード制限(フラッシュ)**を選択する。
- ▶ 希望する値を選択する。
(**1/f**、**1/(2f)**、**1/(3f)**、**1/(4f)**、**1/2000**、**1/1000**、**1/500**、**1/250**、**1/125**、**1/60**、**1/30**、**1/15**、**1/8**、**1/4**、**1/2**)

露出

測光方式

スポット測光、中央重点測光、フレーム測光から選択できます。

スポット測光

被写体の一部分のみをピンポイントに測光して露出を決定します。

スポット測光とスポット測距またはフレーム測距が設定されている際は、測光／測距エリアが連結します。これにより、もともと設定されていたAFフレームの位置で測光が行われます。

中央重点測光

画面中央部に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。被写体以外の部分の明るさを考慮しながらも、主要被写体をメインとした露出で撮影する場合に適しています。

フレーム測光

画面の複数の部分を測光します。各エリアの輝度差を計算し、最適と思われる値で撮影します。

- ▶ メインメニューで測光モードを選択する。
- ▶ 希望する測光方式を選択する。
(スポット、中央重点、多点)
 - 設定された測光方式は、モニターのヘッダーに表示されます。

スポット測光に設定時は測光枠を移動させることができます。

- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。

露出モード

被写体や撮影スタイルに合わせて、4つの露出モードから最適なモードを選ぶことができます。

- プログラムAE (P)
- 絞り優先AE (A)
- シャッター優先AE (S)
- マニュアル露出 (M)

露出モードを選択する

P-A-S-Mの設定中は、各モードでの設定内容は以下の通りです。

	シャッタースピードダイヤル設定	絞りリングで設定
P	A	A
A	A	マニュアル
S	マニュアル	A
M	マニュアル	マニュアル

- ▶ シャッタースピードダイヤルを希望する値に設定する。
- ▶ 絞りリングを希望する値に設定する。

オート露出設定 (P)


プログラムAE (P)

カメラがシャッタースピード、絞り値を自動的に設定します。すべての設定をカメラが決定するので、すばやく撮影できます。

- ▶ シャッタースピードダイヤルをAに合わせる。
- ▶ 絞りリングをAに合わせる。
- ▶ シャッターボタンを半押しし続ける。
 - モニター内のフッターに露出に関する各種情報(オートで決定されたシャッタースピードと絞り値の組み合わせなど)が表示されます。
 - 各種表示を非表示にすることもできます。
- ▶ 撮影
または
- ▶ シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更する。
(プログラムシフト)

プログラムシフト

カメラが設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のまま変更する機能です。すばやく適正露出を得てから、撮影意図に合わせて撮影できます。値を変更しても露出（明るさ）は変わりません。

- ▶ サムホイールを左／右に回す。
（左＝より被写界深度が深い、右＝よりシャッタースピードが短い）
 - プログラムシフトすると、の表示にアスタリスクがつきます。

メモ

- ただし、シフトできる範囲には制限があります。
- 撮影しないまま12秒が経過すると測光がオフになり、プログラムシフトが解除されます。また、誤って同じ設定で続けて撮影するのを避けるため、撮影後にプログラムシフトは解除されます。

オート露出設定(A/S)

絞り優先AE(A)

マニュアルで設定した絞り値に応じて、適正露出になるようにカメラがシャッタースピードをオートで設定します。被写界深度（背景のぼけ具合など）を調整したいときに適しています。

例えば、ポートレート撮影などで絞り値を小さく（絞りを開く）して被写界深度を浅くしたり、また風景撮影などでは絞り値を大きく（絞りを絞る）して、被写界深度を深くすることができます。

- ▶ シャッタースピードダイヤルをAに合わせる。
- ▶ 絞りリングを回して絞り値を設定する。
- ▶ シャッターボタンを半押しし続ける。
 - モニター内のフッターに露出に関する各種情報（オートで決定されたシャッタースピードと絞り値の組み合わせなど）が表示されます。
 - 各種表示を非表示にすることもできます。
- ▶ 撮影

メモ

- シャッタースピードが2秒以上に設定された場合は、シャッターを切った後に残り時間が1秒単位でカウントダウン表示されます。
- ISO感度を高めに設定した場合は、暗く均一な被写体でノイズが目立つことがあります。露光時間が長くなると、ノイズが発生することがあります。高感度かつ遅いシャッタースピードで撮影する場合、ノイズを軽減するため、撮影直後に「ブラックピクチャー」(シャッターを閉じて撮影するノイズ画像)を自動的に撮影します。このブラックピクチャーを元の画像に重ね、デジタル処理によって減算を行い、元の画像に生じたノイズを軽減します。その際、メッセージ(例:
ノイズ低減中)がモニターに表示されます。露光を2度行うのと同じくらいの時間がかかることになるので、遅いシャッタースピードを設定しているときほど、撮影に時間がかかります。ノイズ軽減中はカメラの電源を切らないでください。

シャッター優先AE(S)

マニュアルで設定したシャッタースピードに応じて、適正露出になるようにカメラが絞り値をオートで設定します。シャッタースピードによって被写体のブレが変化するため、動きのある被写体を撮影する場合に適しています。

シャッタースピードを速くするほど動きのある被写体のブレを軽減して撮影できます。シャッタースピードを遅くするとブレが目立ちますが、スピード感を表現することができます。

- ▶ 絞りリングをAIに合わせる。
- ▶ 希望するシャッタースピードを選択する。
 - シャッタースピードダイヤルで設定する:ダイヤル上に示されたすべてのシャッタースピード
 - サムホイールで設定する:微調整(±1/3 EVステップ)
- ▶ シャッターボタンを半押しし続ける。
 - モニター内のフッターに露出に関する各種情報(オートで決定されたシャッタースピードと絞り値の組み合わせなど)が表示されます。
 - 各種表示を非表示にすることもできます。
- ▶ 撮影




メモ

- メイン画面より微調整を行うこともできます。サムホイールに**露出補正**機能が割り当てられている場合(p.52)は微調整はメイン画面でのみ可能です。

マニュアル露出設定 (M)

シャッタースピードと絞り値をマニュアル設定することができます。

- 露出を調整して特別な撮影効果を得たい場合
- 露出を統一して撮影したい場合
- ▶ (シャッタースピードダイヤルまたは絞りリングを使用し) 希望する露出にマニュアルで設定する。
 - 露出補正にはライトバランススケールを使用します:

	適正露出
	露出オーバー／露出アンダー(±3 EVの範囲内)
	露出オーバー／露出アンダー(±3 EVの範囲外)

- ▶ シャッターボタンを半押しする。
 - モニター内のフッターに露出に関する各種情報が表示されます。
 - 各種表示を非表示にすることもできます。
- ▶ 撮影

メモ

- 露出プレビューでP-A-S-Mが選択されている場合は、測光後にプレビューがモニターに表示されます。
- シャッタースピードダイヤルはAではなく、いずれかの固定値に設定されている必要があります。

シャッタースピードを設定する

シャッタースピードを設定するには以下の二通りがあります。

1. シャッタースピードダイヤルで設定する:ダイヤル上に示されたすべてのシャッタースピード
2. サムホイールで設定する:微調整(±1/3 EVステップ)

シャッタースピードダイヤル	サムホイール
2~1000	シャッタースピードの微調整(±1/3 EVステップ、最大2/3 EV)
1+	シャッタースピード1秒以上(0.6秒~120秒、1/3 EVステップ)
2000	シャッタースピード1/1000秒以下(1/1250秒~1/40000秒、1/3 EVステップ)

シャッタースピードの微調整

- シャッタースピードを1/125秒に設定時:
サムホイール左に回す:1クリックストップ=1/100秒
- シャッタースピードを1/500秒に設定時:
サムホイール右に回す:2クリックストップ=1/800秒

メモ

- メイン画面より微調整を行うこともできます。サムホイールに露出補正機能が割り当てられている場合(p.52)は微調整はメイン画面でのみ可能です。

長時間露光 - T

長時間露光を設定すると、シャッターボタンを押すとシャッターが開き、再度シャッターボタンを押すと閉まります。ISO感度設定により異なりますが、最大露光時間は2分です。



- ▶ シャッタースピードダイヤルを1+に設定する。
- ▶ 絞りリングをリング上に刻まれた値に合わせる。
- ▶ フッターにTが表示されるまでサムホイールを回す。
- ▶ 撮影

メモ

- サムホイールに**オフ**または**オート**の機能が割り当てられている場合のみこの機能を使用できます (p.52)。
- ISO感度を高めに設定した場合は、暗く均一な被写体でノイズが目立つことがあります。露光時間が長くなると、ノイズが発生することがあります。高感度かつ遅いシャッタースピードで撮影する場合、ノイズを軽減するため、撮影直後に「ブラックピクチャー」(シャッターを閉じて撮影するノイズ画像)を自動的に撮影します。このブラックピクチャーを元の画像に重ね、デジタル処理によって減算を行い、元の画像に生じたノイズを軽減します。その際、メッセージ(例:
ノイズ低減中)がモニターに表示されます。露光を2度行うのと同じくらいの時間がかかることになるので、遅いシャッタースピードを設定しているときほど、撮影に時間がかかります。ノイズ軽減中はカメラの電源を切らないでください。

露出設定

露出プレビュー

シャッターボタンを半押ししている間は、設定された露出でのプレビュー画像がモニターに表示され続けます。写真をより希望どおりに仕上げたい場合や撮影に失敗したくない場合に、撮影前に露出状況を確認することができます。被写体の明るさが極端に明るい／暗い場合、露出の設定値が極端に高い／低い場合には表示されません。マニュアルモード（M）時にはシミュレーションをオフにできます。

初期設定：P-A-S-M

- ▶ メインメニューで**露出プレビュー**を選択する。
- ▶ **P-A-S**（3種類のオート露出モードのみを使用する場合）、または**P-A-S-M**（マニュアル露出モードを含む4種類の露出モードを使用する場合）のどちらかを選択する。

メモ

- ・ 被写体の明るさによっては、モニターに表示される画像の明るさと、撮影した画像の明るさが異なることがあります。特に、暗い場所で遅いシャッター速度を使用する場合には、撮影画像よりも画面の表示が暗く見えることがあります。
- ・ ズーム/ロックボタンに**AE-L**が割り当てられているなど、カスタマイズが設定されていても、露出プレビューを表示することができます。

AE/AFロック

メインの被写体を画面の中央以外に写したいとき、メインの被写体の明るさと全体の平均的な明るさの差がきわめて大きい場合は、中央重点測光やスポット測光で、平均的なグレースケールに合わせて画面の中央部のみを測光します。

そのような場合、まず被写体にピントや露出を合わせて固定（ロック）し、そのあとに構図を変えて撮影することができます。

通常はシャッターボタンでピントと露出をロックすることができます。ズーム/ロックボタンのみでロックする、またはシャッターボタンとズーム/ロックボタン両方を用いてロックすることもできます。この機能には各種設定とロック機能が含まれます。

AE-L (AUTO EXPOSURE LOCK)

カメラに露出を保存し、ピント合わせに関係なく、ほかの被写体も同じ露出で撮影できます。

AF-L (AUTO FOCUS LOCK)

カメラにピントを保存し、構図を変更しても同じフォーカス設定で撮影できます。

AE-L / AF-L

この機能をオンにすると、割り当てられているボタンを押すことで、ピントと露出がロックされます。

メモ

- フレーム測光時は、特定の部分に露出を合わせることができないため、十分な効果が得られません。
- AEロックで露出を固定した後に絞り値を変えても、シャッタースピードは再設定されないため、適正露出は得られません。
- **AF-L**もしくは**AE-L**、または両機能を同時に**(AF-L + AE-L)**使用し撮影できます。
- 再測定を行うには、割り当てられたボタンを再度押してください。

AFモードでのAE/AFロック

ズーム/ロックボタンを長押しの場合に割り当てられている測距/測光機能:

メニュー設定	シャッターボタン	ズーム/ロックボタン
AF-L + AE-L	機能なし	露出、シャープネス
AF-L	露出	シャープネス
AE-L	シャープネス	露出

AEロックまたはAFロック機能をズーム/ロックボタンに割り当てない場合には、シャッターボタン（半押し）で両機能が使用できます。

シャッターボタンを使用する

- ▶ 露出を合わせたい被写体の部分にカメラを向ける。
- ▶ シャッターボタンを半押しし続ける。
 - 測光後にロックします。
- ▶ 被写体の明るさが変わってもシャッタースピードは固定されたままになります。シャッターボタンを半押ししたまま構図を決めます。
- ▶ 撮影

ズーム/ロックボタンを使用する

- ▶ メインメニューで「ショートカット設定」を選択する。
- ▶ **ズーム/ロックボタン**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(AF-L + AE-L, AE-L, AF-L)
- ▶ 被写体にカメラを構える。
- ▶ ズーム/ロックボタンを押す。
 - 測光後にロックします。
 - 露出値はモニター左下に「AE」、鍵マークとともに表示されます。
 - フォーカスロックの場合はAFフレームが緑色になります。
 - ボタンを再度押すまでは値は記録されます。
- ▶ 構図を決める。
- ▶ 撮影

MFモードでのAEロック

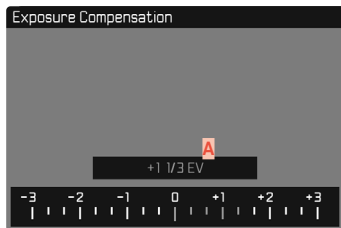
MFモードでは、シャッターボタンで露出のみをロックすることができます。**AF-L + AE-L**または**AE-L**をズーム/ロックボタンに割り当てている場合も同様です。

露出補正

露出計は平均的なグレーを基準に露出を決定しています。平均的なグレーとは、平均的な光の反射率をもつ被写体の明るさです。反射率が平均的ではない被写体を撮影するときは、露出が適正になるように補正することができます。

AEロックとは異なり、露出補正はメニューで解除するまで有効なので、適正露出でない露出で何枚も撮影したいときなどは、1枚撮影することに設定が必要なAEロックを使うよりも、露出補正機能を使用して撮影するほうが便利です。

露出補正值は、±3 EVの範囲（1/3 EV ステップ）で設定できます（EVは「Exposure Value」の略で、露出量の値です）。



A 設定した補正值(0=補正機能オフ)

サムホイールで操作する場合

- ▶ メインメニューで**ショートカット設定**を選択する。
- ▶ **ダイヤルの機能設定**を選択する。
- ▶ **露出補正**を選択する。
- ▶ サムホイールで希望する値を設定する。

メニュー操作で行う場合

- ▶ メインメニューで**露出補正**を選択する。
 - モニター上に、サブメニューの代わりにスケールが表示されます。
- ▶ 希望する値をスケール上で選択する。
 - 設定された値がスケール上に表示されます。

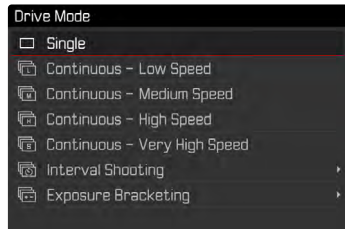
メモ

- 撮影中、露出補正值の変化に応じて画面の明るさが変わるため、効果を確認できません。
- サムホイールにこの機能を割り当て（p.52）、メニュー操作をショートカットしてすばやく設定することができます。
- 設定した露出補正は、入力した補正值にかかわらず機能します。露出補正を解除するには、補正值を0にしてください。カメラの電源を切っても解除されません。
- フッターに表示される露出補正目盛に、設定した露出補正值が表示されます。

撮影モード

連続撮影

初期設定では1コマ撮影(1コマ)が設定されていますが、連続撮影を行うこともできます。動いている被写体を撮影するのに便利です。



- ▶ メインメニューで**ドライブモード**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(**コンティニュアス - 低速**、**コンティニュアス - 中速**、**コンティニュアス - 高速**、**コンティニュアス - 超高速**)

シャッターボタンを全押ししている間は連続撮影が続きます。ただし、メモリーカード容量が不足すると、撮影は終了します。

メモ

- 連続撮影を行う際は、**プレビュー**機能をオフしておくことをおすすめします。
- テクニカルデータに記載されている連続撮影速度は、**ISO 200**、**L-JPG**に設定している場合の速度です。
- また、1回の連続撮影で何枚の撮影が行われるかに関係なく、再生モードまたはメモリーカードへの画像ファイル転送中は、メモリーカードに最後に記録された画像が表示されます。
- **コンティニュアス - 高速**設定時の連写速度は10コマ/秒です(シャッタースピードが1/60秒以下の時)
- 連続撮影時はフラッシュユニットは発光しません。フラッシュ使用時は、1コマ撮影のみできます。
- 連続撮影時はセルフタイマーは使用できません。
- バッファメモリには、設定された撮影間隔で撮影された限られた枚数の連続画像のみが保存されます。バッファメモリの容量を超えると、撮影間隔が遅くなります。この現象はバッファメモリからメモリーカードにデータを転送する時間が必要になるために起こります。
- **コンティニュアス - 低速** / **コンティニュアス - 中速** : **AFs**、**AFc**、**MF**モード時は、撮影ごとに露出設定を設定します。**AFs**、**AFc**設定時は、ピント合わせも行われます。
- **コンティニュアス - 高速** / **コンティニュアス - 超高速** : **AFs**、**AFc**、**MF**モード時は、最初の撮影時に決定された露出とフォーカスが2回目以降の撮影にも使用されます。

インターバル撮影

被写体の連続した動きを、一定の撮影間隔で自動的に連続して撮影します。撮影枚数、撮影間隔、撮影開始時間を設定することができます。露出とピントの設定は通常の撮影と同様です。ただし、インターバル撮影の途中で周囲の明るさなどの撮影条件が変わる場合があることを考慮してください。

撮影枚数を設定する

- ▶ メインメニューで**ドライブモード**を選択する。
- ▶ **インターバル撮影**を選択する。
- ▶ **コマ数**を選択する。
- ▶ 希望する値を設定する。

撮影間隔を設定する

- ▶ メインメニューで**ドライブモード**を選択する。
- ▶ **インターバル撮影**を選択する。
- ▶ **インターバル**を選択する。
- ▶ 希望する値を設定する。

カウントダウンを設定する

- ▶ メインメニューで**ドライブモード**を選択する。
- ▶ **インターバル撮影**を選択する。
- ▶ **カウントダウン**を選択する。
- ▶ 希望する値を設定する。

撮影を開始するには


- ▶ シャッターボタンを押す。
 - 画像の右上に、次の撮影までの残り時間と撮影番号が表示されます。
 - 撮影と撮影の間は、モニターが自動的にオフになります。シャッターボタンを半押しすると、モニターが再びオンになります。

作動中の連続撮影を中断するには

- ▶ **PLAY**ボタンを押す。
- ▶ **終了**を選択する。

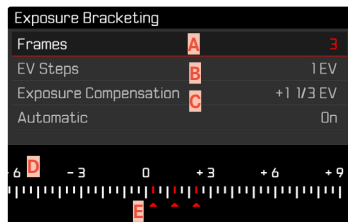
メモ

- ・ インターバル撮影時にオートフォーカスを使用すると、すべての撮影で同じ被写体に焦点が合うとは限りません。
- ・ オートパワーオフを設定した状態で、操作を何もしなかった場合は、1枚撮影する度に電源がオフになり、次の撮影時に自動的にオンになります。
- ・ インターバル撮影中にカメラから離れる場合は盗難にお気をつけください。低温や高温多湿環境での長時間に及ぶインターバル撮影は場合によっては故障の原因になります。
- ・ 以下のような状況ではインターバル撮影が中断またはキャンセルされます。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - カメラの電源をオフにしたとき十分に充電したバッテリーに注意することをおすすめします。
- ・ インターバル撮影が中断された場合は、カメラの電源を切り、バッテリーまたはメモリーカードを交換してから再度電源を入ると、撮影を続けることができます。インターバル撮影機能が働いているときに電源を入れ直すと、確認画面が表示されます。
- ・ インターバル撮影終了後、設定を解除する、または他のドライブモードに設定するまで、インターバル撮影の設定はオフになりません。カメラの電源を切っても解除されません。
- ・ この機能は監視カメラを目的としたものではありません。

- ・ また、1回の連続撮影で何枚の撮影が行われるかに関係なく、再生モードまたはメモリーカードへの画像ファイル転送中は、メモリーカードに最後に記録された画像が表示されます。
- ・ 再生時、インターバル撮影の画像にはが表示されます。
- ・ 撮影状況によっては、ビントが合わない、露出が適正でないなどの理由で撮影がスキップされ、次のインターバルが開始されることがあります。その際、「いくつかのフレームがスキップされました」というメッセージが表示されます。

オートブラケット

多くの被写体には明暗差があるため、露出を合わせる箇所によって、撮影した画像の明るさが大きく異なることがあります。そのような場合は絞り優先AEモードでオートブラケット機能を使うと便利です。また、明暗差の大きい被写体をオートブラケット撮影して画像処理ソフトで合成すると、ダイナミックレンジの広い画像を生成することもできます(HDR)。



A 画像枚数

B 露出ステップ

C 露出補正設定

D 露出スケール


E 撮影中の画像の露出値 (赤)

(露出補正を同時に設定しているときは対応する値に変わります。)

撮影枚数は3枚または5枚から選択できます。**EVステップ**で設定できる露出差は、最大で3 EVです。

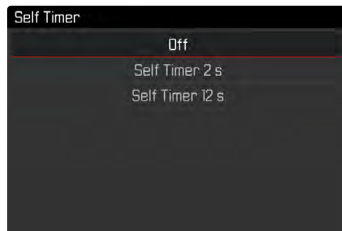
- ▶ メインメニューで**ドライブモード**を選択する。
- ▶ **オートブラケット**を選択する。
- ▶ **コマ数**のサブメニューで希望するコマ数を選択する。
- ▶ **EVステップ**のサブメニューで希望するステップを選択する。
- ▶ **露出補正**のサブメニューで希望する補正值を選択する。
 - 選んだ露出ステップに応じて、露出値の位置が変わります。露出補正が行われている場合もスケールが移動します。
 - 選択した露出補正值を基準にして連続撮影します。
- ▶ **オート**のサブメニューで希望する設定を選択する。
 - 初期設定では**オン**になっており、1度シャッターボタンを押すだけで、一連の撮影が実行されます。**オフ**に設定されている場合は撮影ごとにシャッターボタンを押す必要があります。
 - シャッターボタンを全押しして、撮影を実行する。

メモ

- ・オートブラケット機能がオンになり、モニターにが表示されます。撮影時は露出の変化に応じて画面の明るさが変わるため、効果が確認できます。
- ・シャッタースピードや絞りを変更することで、露出モードに応じて段階的に露出を変更することができます。
 - シャッタースピード(A/M)
 - 絞り(S)
 - シャッタースピード、絞り(P)
- ・撮影は、露出アンダー、適正露出、露出オーバーの順に行われます。
- ・設定できるシャッタースピードと絞り値の組み合わせは、オートブラケットの機能の作動範囲内に限定されます。
- ・ISO感度をオートに設定しているときはISO値は自動的に設定されますが、オートブラケットの連続撮影中には変えられず、常に一定のISO値で撮影が行われます。その際、**最大露出時間**で設定した最大シャッタースピードよりも遅いシャッタースピードに設定されることがあります。
- ・標準露出での撮影時のシャッタースピードにより、露出を変えた撮影のシャッタースピードに制限が生じることがあります。シャッタースピードに制限が生じても、設定したコマ数で撮影できます。ただし、補正効果が得られないことがあります。
- ・**ドライブモード**サブメニューで他の機能を設定しない限り、この機能は有効になります。他の機能を選ばない限り、シャッターボタンを押すたびにオートブラケット撮影が行われます。

セルフタイマーを使って撮影する

セルフタイマーを設定すると、シャッターを押した数秒後に撮影を実行することができます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。



- ▶ メインメニューで**セルフタイマー**を選択する。
- ▶ **セルフタイマー 2秒**/**セルフタイマー 12秒**を選択する。
- ▶ シャッターボタンを全押しして、撮影を実行する。
 - ・カウントダウンがモニターに表示され、カメラの前面にあるセルフタイマーランプが点滅します。12秒のタイマー時間のうち、最初の10秒間はゆっくり、残りの2秒は速く点滅します。
 - ・セルフタイマーのカウントダウン中は、シャッターボタンを半押しすることでいつでも撮影を中断できます。その際、各種設定は解除されません。

メモ

- ・最初に測光が行われ、オートフォーカスモードでは続いて測距が行われます。測光/測距後にカウントダウンが開始されます。
- ・**セルフタイマー**のサブメニューで他の機能を設定しない限り、この機能は有効になります。
- ・セルフタイマー機能は1枚撮影のみ可能です。

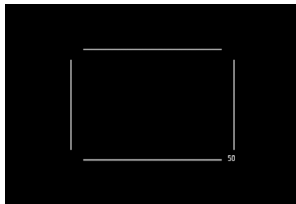
デジタルズーム

常時表示されるズミルックス 28 f/1.7 ASPH. の撮影範囲に加え、35 mm、50 mm、75 mmの焦点距離に相当する3つの範囲が使用可能です。

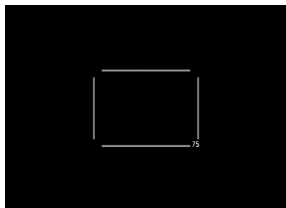
35 mm



50 mm



75 mm



ホールド設定

- ▶ メインメニューで**デジタルズーム**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。

ズーム倍率をすばやく切り替える

- ▶ ズーム/ロックボタンを押す。
 - モニターにズームされる部分をマークする枠が表示されます。
 - ボタンを押すごとに、ズームなし (28 mm相当)、1.25x (35 mm相当)、1.8x (50 mm相当)、2.7x (75 mm相当)の順に、表示が変わります。
 - 倍率を変更するまで、同じ倍率での撮影が続きます。

メモ

- ズーム/ロックボタンにほかのショートカット機能 (p.52) が割り当てられている場合、メニュー操作でデジタルズーム機能を選択する必要があります。
- 画像の加工をしやすくするため、DNG撮影時はモニターに拡大画像のみが表示されますが、28 mm相当の画角の画像 (ズームなし) が保存されます。
- JPG画像は表示画像 (拡大画像) のみが保存されます。そのため、拡大率が大きくなるほど解像度が低くなります。画像の一部を拡大したい場合等、画像編集ソフトを用いてトリミングすることもできます。

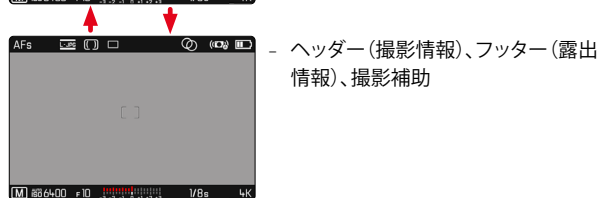
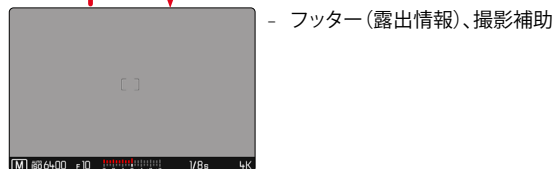
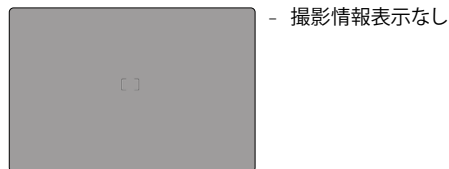
	28 mm	デジタルズーム 35 mm	デジタルズーム 50 mm	デジタルズーム 75 mm
L-JPG	47 MP	30 MP	15 MP	7 MP
M-JPG	24 MP	15 MP	8 MP	3 MP
S-JPG	12 MP	8 MP	4 MP	2 MP

撮影情報

撮影モード時の撮影情報

各種情報がヘッダーとフッターに表示されます。表示の有無に関して、以下の3つの設定が使用可能です。

- ▶ センターボタンを押す。
 - 押すごとに設定が変わります。



一時的に情報表示画面を替えるには

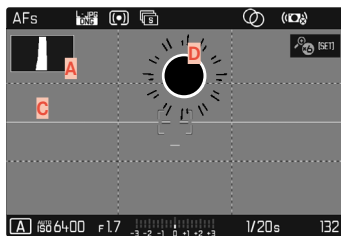
- ▶ シャッターボタンを半押し続ける。
 - 露出情報とオンに設定されている撮影補助機能のみ表示されます。

メモ

- 動画撮影時はすべての撮影情報が表示されます。

撮影補助表示

ヘッダーとフッターにさらに多くの情報を表示したい場合は、必要に応じてカスタマイズすることもできます。以下の補助機能を使用できます。



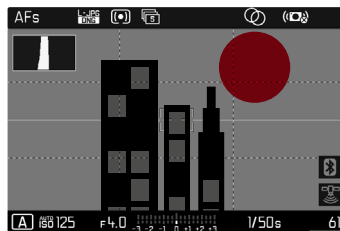
- A ヒストグラム
- B グリッド線 (グリッド)
- C 水準器 (水平線)
- D クリッピング

メモ

- ヒストグラム、クリッピング表示と水準器は撮影情報表示が表示中のみ表示されます。グリッドは (撮影情報表示のオプションにかかわらず) 常に表示されます。

クリッピング

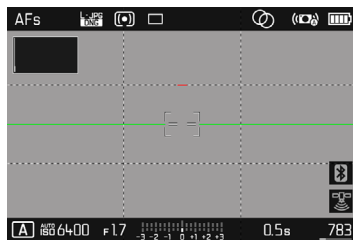
クリッピング表示をオンにすると、画像の明るすぎる部分が表示されます。すばやく露出を確認したい場合に便利です。



- ▶ メインメニューで**撮影アシスト**を選択する。
- ▶ **クリッピング**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。
- ▶ シャッターボタンを半押しし続ける。
 - クリッピングが表示されます。

水準器

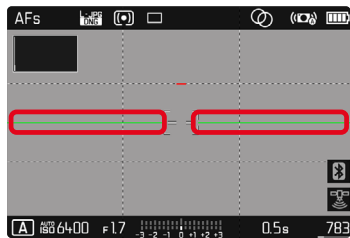
本機には水準器センサーが内蔵されています。三脚を使用して建築物を撮影するときなどに、構図を正確に決められるので便利です。



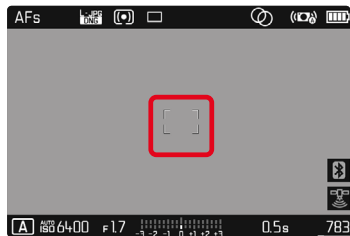
- ▶ メインメニューで**撮影アシスト**を選択する。
- ▶ **水平線**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。

画像中央部の左右に1本ずつ横軸が表示されます。

- 傾斜なし=緑
- 傾いている部分=赤



画像中央部から左右にのびている緑色の線は傾斜がないことを示します。傾いている場合は画像中央部に白線が表示され、その上側または下側に短い赤線が表示されます。

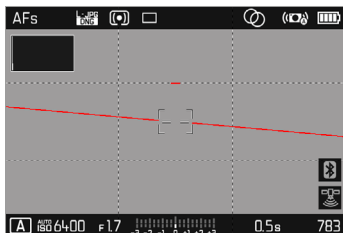


メモ

- ・ 縦写真を撮影する場合、縦向き画面に対応した水準器が表示されます。

グリッド

グリッドは、主に写真の構図を決める目安として使います。モチーフの構成だけでなくカメラの方向を正確に決めるにも便利です。



- ▶ メインメニューで**撮影アシスト**を選択する。
- ▶ **グリッド**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。

ヒストグラム

ヒストグラムとは、画面上の輝度分布を示すグラフです。横軸は明るさを黒（左端）～灰色～白（右端）で表しています。縦軸はピクセル数を表します。

屋外など周囲が明るすぎてモニターが見にくい場合でも、このグラフから露出状況を判断することができます。



- ▶ メインメニューで**撮影アシスト**を選択する。
- ▶ **ヒストグラム**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。

メモ

- ヒストグラムはライブビュー画像の明るさに基づいていますので、コントラスト設定などに影響され最終的な露出を示していない場合があります。
- 撮影モード時のヒストグラムは露出の傾向であり、正確な画素数を示しているわけではありませんので目安としてお使いください。
- 撮影時と再生時のヒストグラムは多少異なることがあります。
- ヒストグラムは全画面表示でのみ使用できます。

フラッシュを使って撮影する

フラッシュ撮影では、実際の撮影の前にプリ発光を行い、撮影に必要な発光量を測定します。プリ発光の直後にメイン発光を行い、撮影が実行されます。使用しているフィルターや絞り値の設定、被写体までの距離、光を反射する天井など、撮影に影響を及ぼすすべての要素が影響します。

対応フラッシュユニット

本取扱説明書に記載されているTTLフラッシュ測光を含むすべての機能は、SF 40などの対応するライカシステムフラッシュユニットでのみ使用できます。1点の中央接点のみを持つその他のフラッシュユニット装着時、本機を通してレリーズはできますが、制御はできません。その他のフラッシュユニット装着時は、正常に作動するかどうかは保証できません。

注意

- ・ 本機に対応していないフラッシュユニットを使用した場合、カメラおよびフラッシュユニットが破損するおそれがありますので、使用前に必ずご確認ください。

フラッシュユニットを取り付ける

- ▶ カメラとフラッシュユニットの電源が切れていることを確認する。
- ▶ アクセサリーシューカバーをスライドさせて取り外し、紛失しないように保管する。
- ▶ フラッシュユニットの取り付け脚をホットシューの奥まで確実に差し込み、ロックナットをしっかりと締めて、外れないように取り付ける。
 - ・ フラッシュユニットとアクセサリーシューの接点がずれてしまうと正常に機能しないため、ずれないようにしっかりと取り付けてください。

フラッシュユニットを取り外す

- ▶ カメラとフラッシュユニットの電源が切れていることを確認する。
- ▶ フラッシュユニットを取り外す。
- ▶ アクセサリーシューカバーを取り付ける。

メモ

- ・ フラッシュユニットを使用しない場合、アクセサリーシューカバーが常に装着されていることを確認してください。

TTL測光

システム対応フラッシュユニット (p.98) 装着時は、カメラのモードがオート、絞り優先AEまたはマニュアルモードのどれでも、本機のオートフラッシュモードが使用できます。

さらに、絞り優先AEやマニュアル機能を搭載したカメラでは、後幕シンクロや最大同調速度より遅いシャッタースピードを使用することもできます。

カメラで設定したISO感度は、フラッシュユニットに送信されます。その際、フラッシュユニット側で、絞りリングを回して設定した絞り値が事前に入力されていると、到達距離は自動的に更新されます。本機のフラッシュ機能に対応しているフラッシュユニット使用時は、フラッシュユニット側でISO感度を変更することはできません。

HSS (ハイスピードシンクロ)

シャッタースピードが速い場合のオートフラッシュ発光

本機とシステム対応フラッシュユニット (p.98) 接続時には、オートHSSフラッシュモードを使用することができます。オートHSSフラッシュモードは、すべてのシャッタースピードと露出モードで使用可能です。シャッタースピードがフラッシュ同調速度 (1/180秒) より速く自動設定または手動設定されると、自動的にハイスピードシンクロ撮影に切り換わります。

メモ

- ハイスピードシンクロ撮影時は、TTLフラッシュ撮影時よりもフラッシュ光の到達距離が大幅に短くなります。

フラッシュユニットでの設定

モード	
TTL	オート制御 (カメラ側で設定)
A	SF 40 + SF 60: カメラによるフラッシュ制御。しかしフラッシュ露出補正機能は使えません。 SF 58 + SF 64: フラッシュユニット内蔵の露出計によるフラッシュ制御
M	あらかじめカメラ側で設定された絞り値と距離の設定に合わせて、フラッシュ使用時の露出を調整する必要があります。

メモ

- フラッシュユニットをTTLにセットすると、カメラが発光量を自動的に制御します。
- A設定時は、明るすぎる被写体は適正露出を得られない場合があります。
- 本書で推奨している以外のフラッシュユニットの使用方法や機能については、各フラッシュユニットの取扱説明書をご覧ください。

フラッシュモード

以下の3つのモードが使用できます。

- オート
- マニュアル
- 長時間露光

⚡A オート発光

被写体が暗いときに自動でフラッシュを発光させるモードです（フラッシュのポップアップは手動で行います）。光量が少ない場合に自動発光して露光時間を短くし、ブレを防ぎます。

⚡ 強制発光

逆光時にメインの被写体が画面の一部しか占めていなかったり、陰になっている場合や、直射日光下などでコントラストを抑えたい場合（日中シンクロ）に使用します。強制発光がオンになっているときは、周囲の明るさにかかわらず撮影ごとに発光します。発光量は測定された周囲の明るさにより異なり、暗い場所ではオートモードと同じですが、明るくなるほど少なくなります。明るい場所では、陰になっている前景や逆光の被写体に補助光としてフラッシュ光を当てて、明るさのバランスを整えて撮影できます。

⚡S 遅いシャッタースピード使用時のオート発光（スローシンクロ）

暗い背景を実際よりも明るく描写し、同時に前景もフラッシュ光で明るく撮影したい場合に役立ちます。

画像がブレるのを防ぐため他のフラッシュモードでは1/30秒より遅いシャッタースピードには設定されません。そのため、フラッシュ光が届かない背景は露出アンダーになりがちです。スローシンクロモードでは、シャッタースピードが30秒までの範囲で設定されるため、背景も明るく撮影できます。

- ▶ メインメニューで**フラッシュ設定**を選択する。
- ▶ **フラッシュモード**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
 - ・ 選択したフラッシュモードのアイコンがモニターに表示されます。



フラッシュ調整

次項で説明している設定や操作は、本機と接続できるシステム対応フラッシュユニット使用時のみ適用されます。

同調タイミング

フラッシュ撮影の露出は以下の2つの光源により決まります。

- 定常光
- フラッシュ光

フラッシュ光のみ、またはほぼフラッシュ光のみを光源とした被写体は、鮮明に描写されます。しかし、被写体自体が発光している場合や定常光にて十分に明るく照らされている被写体などは、同じ画像内でも鮮明さが異なります。被写体にピントが合っているか、ピントがどの程度ボケているかは以下の要素により決まります。

- シャッタースピード
- 被写体やカメラの動きや速さ

シャッタースピードが遅いほど、または被写体やカメラの動きが速いほど、同じ画像内の他の部分との鮮明さが異なります。

フラッシュ発光は通常、露光直前 (先幕シンクロ) に行われます。本機では、フラッシュが発光するタイミングを、露光の終わり (シャッターが閉じる直前、後幕シンクロ) にも設定できます。後幕シンクロの場合は動作の最後にピントが合って撮影されます。

初期設定:後幕シンクロ

- ▶ メインメニューで**フラッシュ設定**を選択する。
- ▶ **フラッシュ発光タイミング**を選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
(先幕シンクロ、後幕シンクロ)

メモ

- 3 m以上のシンクロケーブルは使用しないでください。
- シャッタースピードが遅くなるほど、被写体の動きなどの効果が確認できます。

フラッシュ光到達距離

フラッシュ光が届く範囲は、絞り値やISO感度によって異なります。被写体がフラッシュ光の届く範囲内になれば、十分な光量で撮影することはできません。設定可能な最速シャッタースピードに設定すると、同調のタイミングによって被写体の一部が露出アンダーになったり、適正なフラッシュ光が照射されないことがあります。

本機では、絞り優先AEモードでフラッシュ撮影するとき、自動設定されるシャッタースピードの範囲を設定できます。これにより、発光量を微調整して思いどおりに被写体全体を撮影できます。

初期設定：**1/(2f)**

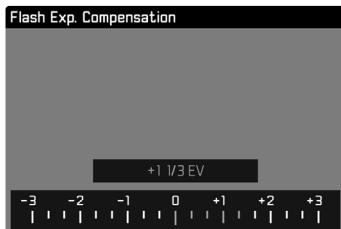
- ▶ メインメニューで**オートISO設定**を選択する。
- ▶ **シャッタースピード制限(フラッシュ)**を選択する。
- ▶ 希望する値を選択する。
(1/f, 1/(2f), 1/(3f), 1/(4f), 1/2000, 1/1000, 1/500, 1/250, 1/125, 1/60, 1/30, 1/15, 1/8, 1/4, 1/2)

フラッシュ発光量調整

定常光による露出補正とは別に、フラッシュの調光補正が行えます。この機能を使うと、夕暮れ時の屋外で、周囲の光が生み出す雰囲気はそのままに、前景の人物の顔を明るく写すことができます。

初期設定：**0 EV**

- ▶ メインメニューで**フラッシュ設定**を選択する。
- ▶ **フラッシュ発光量補正**を選択する。
 - サブメニューには設定値を示すマーク（赤）と目盛が表示されます。露出を補正しないときは**0**を選びます。
- ▶ 希望する値をスケール上で選択する。
 - 設定された値がスケール上に表示されます。



メモ

- 設定した露出補正は、入力した補正值にかかわらず機能します。露出補正を解除するには、補正值を0にしてください。カメラの電源を切っても解除されません。
- ライカSF 60などの独自に補正機能を搭載したフラッシュユニットを装着しフラッシュにて補正值を設定した場合、カメラ側で設定された補正值は無効になります。
- フラッシュ発光量補正**機能は、ライカSF 26など補正值を設定できないフラッシュユニットを使用した場合のみに使用できます。
- 発光量をプラス補正した場合、より高いフラッシュ出力が必要になります。そのため、フラッシュ発光量調整はフラッシュ光到達範囲に影響します。プラス補正は範囲を狭め、マイナス補正は広げます。
- カメラ側で設定した露出補正值は、定常光の測光にのみ有効です。TTLフラッシュの発光量補正をする場合、上記露出補正とは別にフラッシュユニット側で設定する必要があります。（例外：ライカSF 26使用時は、カメラのメニューから補正值を設定してください。）

フラッシュを使用して撮影する

- フラッシュユニットの電源を入れる。
- ガイドナンバー制御（TTL、GNC=Guide Number Controlなど）のためのモードをフラッシュユニットで設定する。
- カメラの電源を入れる。
- 希望の露出モードまたはシャッター速度や絞り値を設定して露出を設定する。
 - 最短同調速度の設定によって、通常のフラッシュまたはHSSフラッシュのどちらが発光するか決まるため、設定にお気をつけください。
- フラッシュ撮影ごとにシャッターボタンを半押しして測光を行う。
 - シャッターボタンを早く全押しした場合には、フラッシュが発光されないことがあります。

メモ

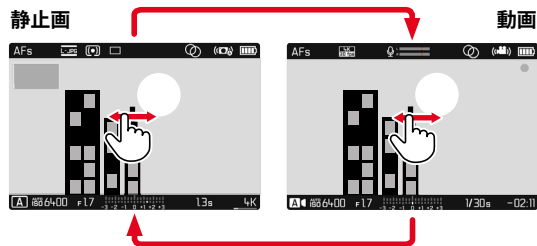
- ・撮影前にフラッシュユニットの電源を入れ、撮影準備を完了してください。完了していないと、適正な露出が得られなかったり正しい情報が表示されないおそれがあります。
- ・スタジオ用ストロボの発光時間は非常に長くなります。シャッタースピードをフラッシュ同調速度の1/180秒より遅く設定することをおすすめします。ワイヤレスでフラッシュを発光させる場合も、ワイヤレス通信によってタイムラグが起こる可能性があるため、フラッシュ同調速度よりも遅いシャッタースピードに設定することをおすすめします。
- ・連続撮影やオートブラケット撮影ではフラッシュは使用できません。連続撮影やオートブラケット撮影がオンになっている場合は、フラッシュユニットを正しく取り付けて電源をいれていても、フラッシュアイコンは表示されず、発光もしません。
- ・長時間露光によるブレを防ぐため、三脚の使用をおすすめします。また、ISO感度を高く設定することでもブレを軽減できます。
- ・システム互換でないフラッシュユニットを装着した場合、スローシンクロー^④は使用できず、機能がグレーで表示されます。
- ・オートISO設定であらかじめ設定した内容によっては、低速シャッタースピードで対応できない場合、優先的にISO感度を高く設定することがあります。

撮影モード(動画)

動画モードを開始する／終了する

本機では、静止画のほかに動画も撮影できます。
静止画モードと動画モードを切り替えるには2つの方法があります。

タッチ操作で行う場合



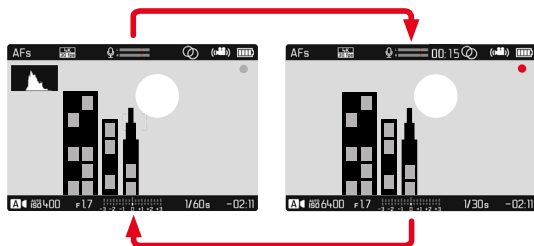
ボタン操作で行う場合

- ▶ メイン画面を呼び出す。
- ▶ **動画**を選択する。
- ▶ シャッターボタンを半押しする。

メモ

- 動画撮影では撮像素子の中央部だけを使用するため、静止画撮影時よりも画角が狭くなります。
- 最長連続撮影時間は29分です。
- また、連続動画撮影時の最大ファイルサイズは96 GBです。撮影時間が29分を超える場合、データは分けて保存されます。
- 動画モードでは、いくつかのメニュー項目は設定できません。設定できない項目がある場合は、その項目の文字が濃いグレーで表示されます。
- 動画撮影を中断した場合、残りの最大撮影可能時間は記録画素数によって異なります。
- 本機での撮影は、選択した解像度によって異なるアスペクト比で撮影されるため、モニターにはそれぞれの設定に対応したマスキングが表示されます。

撮影を開始／終了する



- ▶ シャッターボタンを押す。
 - 動画撮影が始まります。
 - 動画が撮影されている間、赤い円が点滅します。
 - LEDランプが点滅します。
- ▶ 再びシャッターボタンを押して終了する。
 - 動画撮影が終わります。
 - 赤い円がグレーになり、点灯します。

メモ

- 撮影の基本設定 (p.66) と **デジタルズーム** (p.93) は、撮影前に設定しておいてください。
- 動画撮影中はメニュー操作が (ショートカット機能を含む) 制限されます。

露出設定

設定可能な露出モードと露出設定は静止画撮影と同様です。以下の事項に気を付けてください：

- 最短シャッタースピードは設定されたフレームレート (動画画質) により異なります。
- オート露出制御はあらゆる明るさの変化に対応しています。風景撮影やパンショットなどオート露出制御が望ましくない場合は、シャッタースピードをマニュアル設定する必要があります。
- クリッピング表示は動画撮影モードでは使用できません。

ピント合わせ

設定されているフォーカスモードによって操作中にピントを合わせることができます。

- フォーカスリングを使う場合 (MF)
- シャッターボタンを半押しする場合 (AFs)
- オート (AFC)

AFs設定時は、必要に応じてピント合わせが行われます。AFC設定時は、AFフレーム内で連続的にピント合わせが行われます。AFロックを使用することで、連続的なピント合わせを抑制することができます。(ズーム/ロックボタンにAF-LまたはAF-L + AE-Lがカスタマイズされている場合のみ。p.84)

メモ

- 動画モードではAF補助光は使えません。

再生モード

画像の再生には2つの方法があります。

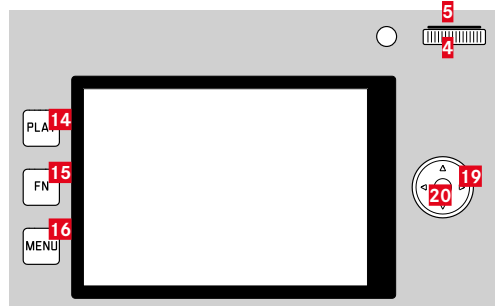
- 撮影直後に短く表示されるプレビュー (プレビュー)
- 再生時間の制限がない通常の再生モード
(保存した画像の管理ができます。)

メモ

- 動画の再生時に常にモニター全画面を使用して表示するため、画像は自動回転しません。
- 他のカメラで撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合があります。
- カメラが記録された画像を正しく認識できないときには、画像が荒く表示される場合や、真っ黒な画面のままファイル名だけが表示されることがあります。
- シャッターボタンの半押しでも、再生モードから撮影モードへ切り替えることができます。
- 画像の1枚表示時のみ、ヒストグラムとクリッピングを表示できます。拡大表示や一覧表示では、表示できません。

再生モード時に使用する各種ボタン／ダイヤル

各種ボタン/ダイヤル



14 PLAYボタン

15 FNボタン

16 MENUボタン

4 サムホイール

5 サムホイールボタン

13 ズーム/ロックボタン

19 セレクターボタン

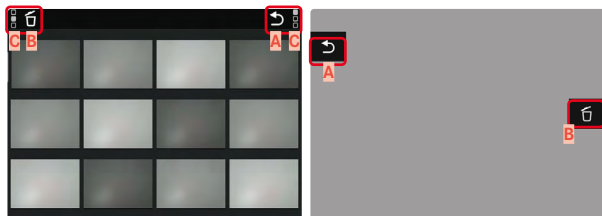
20 センターボタン

モニター上の操作

モニター上のボタンなどは、タッチにて簡単に操作することができます。モニター左横の3つのボタンを押すことでも、同様の操作が可能です。操作アイコンがヘッダーに表示される場合、アイコンの横に対応するボタンが表示されます。アイコンがモニター端に表示される場合、対応するボタンの真横に表示されます。

例えば、戻るアイコンは2通りの方法で選択できます。

- 戻るアイコンを直接タッチする。
- 対応するボタンを押す。
(一番上のボタン=PLAYボタン)

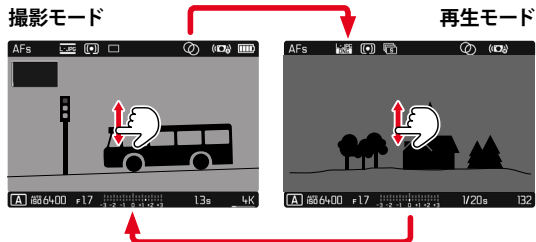


- A 戻るアイコン
- B 削除アイコン
- C 対応するボタン

画像を再生する／再生モードを終了する

タッチ操作で行う場合

- ▶ 上／下にスワイプする。



ボタン操作で行う場合

- ▶ PLAYボタンを押す。
 - 最後に撮影した画像が表示されます。
 - 挿入したメモリーカードに画像が記録されていない場合、「再生可能な画像がありません」のメッセージが表示されます。
 - 現在の表示画面によって、いくつかの機能をPLAYボタンで操作することができます。

押す前の表示	PLAYボタンを押した後の表示
画像の全面表示	撮影モード
拡大表示／一覧表示による再生	画像の全面表示

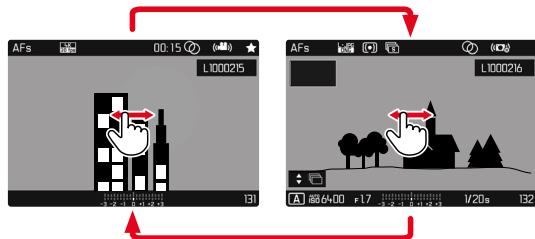
画像の選択／スクロール

画像はすべて横向きに表示されます。画像を再生する際、次の画像／前の画像どちらの方向にも移動でき、最後の画像の後は1枚目の画像へ移動します。また、1枚目の画像から最後の画像へ移動することもできます。

1枚ずつ

タッチ操作で行う場合

- ▶ 左／右にスワイプする。

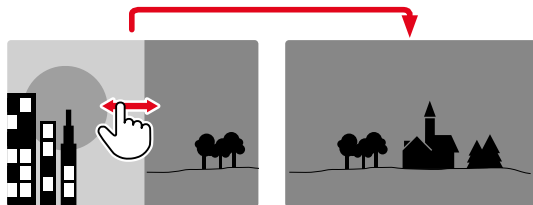


ボタン操作で行う場合

- ▶ セレクターボタンの左／右を押す。

連続移動

- ▶ 左／右にスワイプし、画面端をロングタッチする。
 - ・ 次々と画像が表示されていきます。



再生モード時の情報表示

画像確認の邪魔にならないように、初期設定では再生時にヘッダーとフッターに情報が表示されないよう設定されています。



情報はいつでも表示することができます。**ヒストグラム**と**クリッピング**表示機能がオンになっている場合は、再生時にも表示されます。

- ▶ センターボタンを押す。
 - ・ **ヒストグラム**と**クリッピング**表示機能がオンになっている場合は、再生時にも表示されます。



動画撮影時は常にヘッダー、フッター、**PLAY** ▶が表示されます。



補助機能を表示する

再生モードでのヒストグラムとクリッピングの表示は、設定されている撮影モードの内容とは関係なく設定できます。

- ▶ メインメニューで**再生モード設定**を選択する。
- ▶ **ヒストグラム** / **クリッピング**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。

メモ

- ・ クリッピング表示は動画撮影時には使用できません。

連写画像の再生

連続撮影やインターバル撮影では、単一の撮影が繰り返されて一連の画像を構成します。単一の画像すべてを表示すると、再生したい画像を探し出すのが困難になるため、連続撮影やインターバル撮影された画像は1つのグループとして表示されます。

初期設定：**オフ**

- ▶ メインメニューで**再生モード設定**を選択する。
- ▶ **静止画グループ表示**を選択する。
- ▶ **オン**または**オフ**を選択する。

オフを選択すると、単一の画像がすべて表示されます。**オン**を選択すると、一連の画像のうち1枚だけがグループイメージとして表示されます。



表示される画像の真ん中には **PLAY** ▶、左下には ◀ ▶ が表示されます。一連のすべての画像を再生するには、2つの方法があります：「1枚ずつスクロールする」または「スライドショーで再生する(オート)」設定を変更しない限り、常にスライドショーで再生されます。

連写画像をスライドショーで再生する

一連の画像をまとめてスライドショーで再生することができます。マニュアル操作で1枚ずつ移動せずに、すべての画像を自動的に再生することができます。

- ▶ **PLAY** ▶ タッチする。

または

- ▶ センターボタンを押す。
 - スライドショーが始まります。

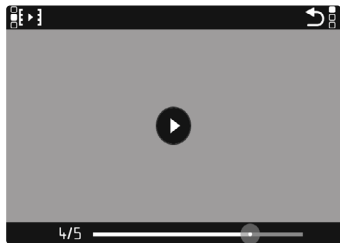
スライドショー中に、他の機能呼び出すことができます。

- ▶ モニター上の任意の箇所をタッチする。

または

- ▶ センターボタンを押す。

画像が表示されたまま再生が一時停止し、各種アイコンが表示されます。

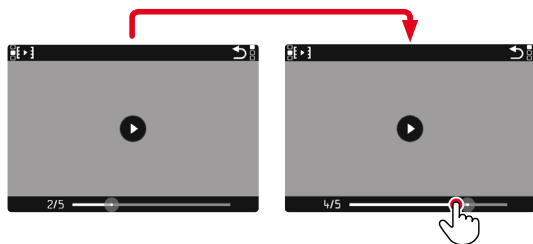


メモ

- 約3秒間カメラを操作をしないと、操作画面は消えます。モニターをタッチする、またはセンターボタンを押すと、再び表示されます。

グループ内の他の画像へ移動する

- ▶ シークバー上で、再生したい位置をタッチする。



再生を続行する

アイコンが表示されている場合：

- ▶ モニター上の任意の箇所をタッチする。
- または
- ▶ センターボタンを押す。

動画として保存する

スライドショーを動画として保存することができます。

- ▶ 再生を開始し、停止する。
 - ・ アイコンが表示されます。

- ▶ **はい** をタップする。

または

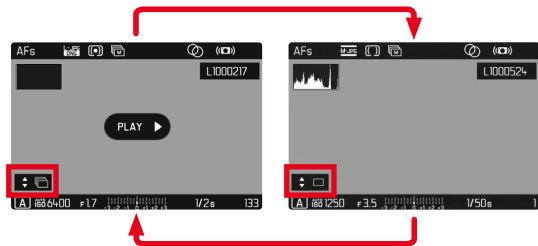
- ▶ 再生を開始する。
- ▶ **FN** ボタンを押す。
 - ・ 動画作成を確認するメッセージが表示されます。


- ▶ **Yes** または **No** を選択する。

- **はい**: 動画が作成されます。
 - ・ 動画の作成中は、画面に進行状況が表示されます。進行状況が表示されている間は、いつでもセンターボタンで作成を中止することができます。
 - ・ 作成が終了すると、新しい動画撮影の開始画面に切り替わります。
- **いいえ**: 中断しているスライドショーの画面に戻ります。

連写画像を1枚ずつ再生する

一連の画像を1枚ずつ表示することができます。マニュアル操作で次の画像へ移動します。




- ▶ セレクターボタンの上／下を押す。
 - ・ 全画面表示では、画像情報は表示されません。
 - ・ 情報表示がオンの時は、左下に  が表示されます。

- ▶ セレクターボタンの左／右を押す。



または

- ▶ 左／右にスワイプする。

通常の再生モードに戻るには

- ▶ セレクターボタンの上／下を押す。
 - ・ 左下に  が表示されます。

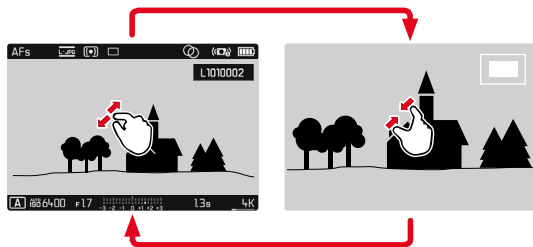
メモ

- ・ 通常表示／一覧表示のどちらの再生画面でも、グループ画像の再生を開始すると、グループ内の写真のみが再生されます。
- ・ ヘッダーに、連続撮影の画像は 、インターバル撮影の画像は  で表示されます。

拡大倍率

画像の細部を確認するため、画像の一部を拡大再生することができます。サムホイールを回して5段階で拡大倍率を拡大することができます。タッチ操作の場合は連続拡大されます。

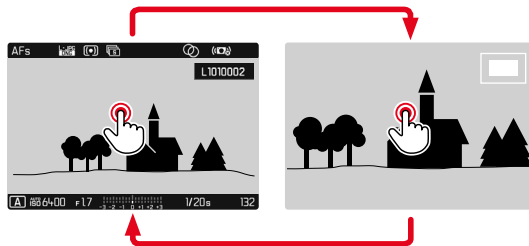
タッチ操作で行う場合



- ▶ ピンチイン/ピンチアウトする。
 - ・ 操作箇所が縮小または拡大されます。



- ▶ 拡大表示位置をスワイプさせて移動させる。
 - ・ 画面の右上に表示される四角い枠内で現在の表示位置を確認できます。



- ▶ ダブルタップする。
 - ・ タッチした位置の倍率を、3段階で切り替えることができます。

ボタン操作で行う場合

- ▶ サムホイールを回す。
(右:拡大,左:縮小)
または
- ▶ サムホイールボタンを押す。
 - ・ タッチした位置の倍率を、3段階で切り替えることができます。
- ▶ セレクターボタンで拡大表示位置を移動させる。
 - ・ 画面の右上に表示される四角い枠内で現在の表示位置を確認できます。

表示を拡大したまま他の画像に移動することができ、その場合は同じ拡大倍率で表示されます。

- ▶ **PLAY**ボタンを長押ししながらサムホイールを回す。

メモ

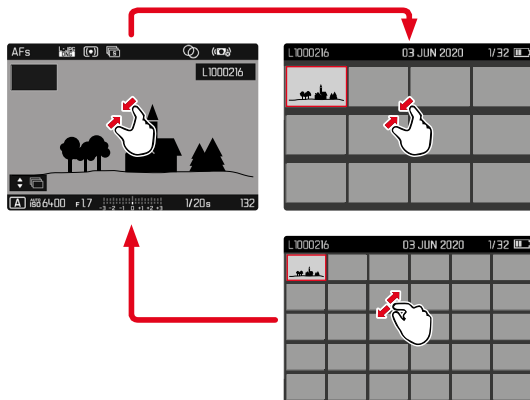
- ・ 他機で撮影された画像は拡大表示できない場合があります。
- ・ 動画は拡大できません。

一覧表示

画像を縮小して一覧表示することで、撮影した画像を全体的に確認、または探している画像をすばやく見つけ出すことができます。12枚表示または30枚表示ができます。

一覧表示

タッチ操作で行う場合



- ▶ ピンチインする。
 - ・ 最初に12枚表示になり、その後30枚表示に切り替わります。

次の行の画像へ移動するには

- ▶ 上／下にスワイプする。

ボタン操作で行う場合

- ▶ サムホイールを左に回す。
 - 12枚表示に切り換わります。さらに左に回すと、30枚表示に切り替わります。



- A** 現在選択されている画像
- B** 現在選択されている画像の番号
- C** スクロールバー

移動中も選択中の画像は赤枠で示されます。

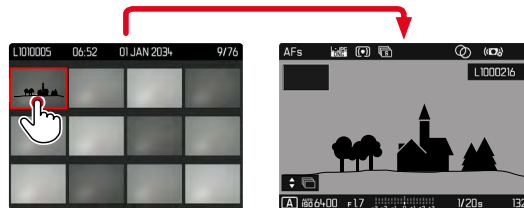
画像を選択するには

- ▶ セレクターボタンで希望する方向に移動させる。
または
- ▶ **PLAY**ボタンを長押ししながらサムホイールを回す。

通常倍率に戻るには

タッチ操作で行う場合

- ▶ ピンチアウトする。
または
- ▶ 再生したい画像をタッチする。



ボタン操作で行う場合

- ▶ サムホイールを右に回す。
または
- ▶ サムホイールボタン/**PLAY**ボタン、またはセンターボタンを押す。


画像をマークする

確認したい画像をすばやく見つけたり、不要な画像をまとめて簡単に削除したりできるように、画像にマークをつけることができます。通常表示、一覧表示のどちらでも、画像をマークすることができます。


メモ

- 再生メニューを終えるには**MENU**ボタンを押してください。

画像をマークするには

- ▶ ズーム/ロックボタンを押す。
 - 画像上にが表示されます。通常表示ではヘッダーの右端に、一覧表示では画像の左上にアイコンが表示されます。

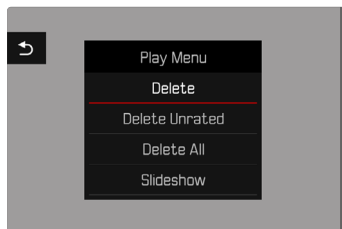
マークを解除するには

- ▶ ズーム/ロックボタンを押す。
 - 画像上のが消えます。

画像を削除する

画像を削除するにはいくつかの方法があります。

- 1枚だけ削除する
- 複数の画像を削除する
- マークをつけていないすべての画像を削除する
- すべての画像を削除する



注意

- 一度削除した画像は元に戻せません。

削除メニューのショートカット機能

再生メニュー機能をFNボタンに割り当てることができます。よく使う削除メニューをボタン一押しで素早く呼び出すことができます。

初期設定：**コマ消去**

- ▶ **FNボタンを長押しする。**
 - ・ 再生メニューのリストが表示されます。



- ▶ 希望する設定を選択する。
 - ・ 機能が**FNボタン**に割り当てられます。

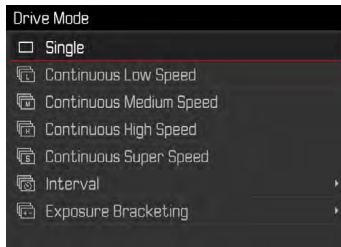
以下の手順は初期設定に基づいています。


メモ

- ・ 表示モードに関わらず(拡大/縮小表示等)、割り当てられた消去メニューを呼び出すことができます。


1枚だけ削除する

- ▶ **MENU**ボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで**消去**を選択する。
 - ・ 削除画面が表示されます。



- ▶ 削除アイコンを選択する。(アイコンを直接タッチする、またはセンターボタンを押す。)
 - ・ 処理中はLEDが点滅します。
 - ・ 削除後は次の画像がモニターに表示されます。表示できる画像がない場合は、「再生可能な画像がありません」というメッセージが表示されます。

削除を中止して再生モードに戻るには

- ▶ 戻るアイコンを選択する。
(アイコンを直接タッチする、またはPLAYボタンを押す。)

メモ

- 削除画面は、一覧表示の際にMENUボタンを押すことで呼び出すことができます。その際、再生メニューから**消去**機能を使用することはできません。
- 削除メニュー表示中でも次の画像に移動したり、画像を拡大して確認することができます。

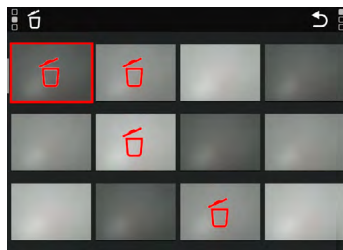
複数の画像を削除する

12枚表示の際に、複数枚の画像を一度に削除することができます。2種類の方法で操作できます。

- ▶ サムホイールを左に回す。
 - 一覧が表示されます。
- ▶ MENUボタンを押す。
- ▶ 再生メニューの**複数コマ消去**を選択する。

または

- ▶ MENUボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで**消去**を選択する。
 - 削除画面が表示されます。
- ▶ サムホイールを左に回す。



何枚でも画像を選択することができます。

- ▶ 希望する画像を選択する。
- ▶ センターボタンまたはサムホイールボタンを押す。


または

- ▶ 再生したい画像をタッチする。
 - 選択された画像上には赤い削除アイコンが表示されます。

選択した画像を削除するには

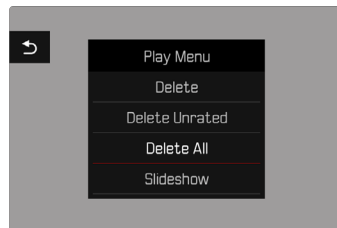
- ▶ 削除アイコンを選択する。
(アイコンを直接タッチする、またはセンターボタンを押す。)
 - 「選択した画像を全て消去しますか?」というメッセージが表示されます。
- ▶ はいを選択する。

削除を中止して再生モードに戻るには

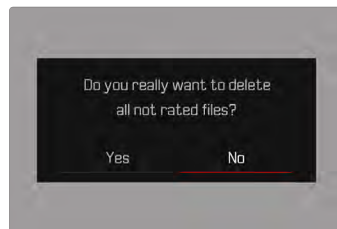
- ▶ 戻るアイコンを選択する。
(アイコンを直接タッチする、またはPLAYボタンを押す。)

すべての画像を削除する

- ▶ MENUボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで全コマ消去を選択する。



- 「全コマ消去しますか?」というメッセージが表示されます。



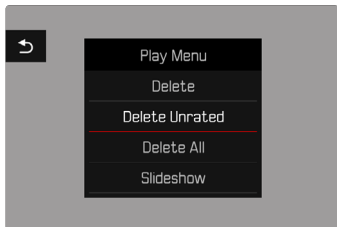
- ▶ はいを選択する。

メモ

- 削除が完了すると、「再生可能な画像がありません」というメッセージが表示されます。画像が削除できなかった場合、再生していた撮影画像が再度表示されます。複数またはすべての画像を消去する際、枚数によっては時間がかかることがあります。その場合、削除中にメッセージが表示されます。

マークされていない画像を削除する

- ▶ MENUボタンを押す。

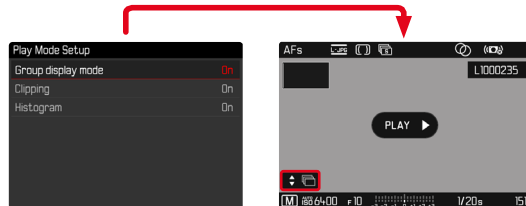


- ▶ 再生メニューで「レーティングなしを消去」を選択する。
 - 「レーティングされていない画像を全て消去しますか?」というメッセージが表示されます。
- ▶ はいを選択する。
 - 処理中はLEDが点滅します。削除後はマークされた次の画像がモニターに表示されます。表示できる画像がない場合は、「再生可能な画像がありません」というメッセージが表示されます。

連写画像を削除する

連写画像をまとめてグループ化し素早く削除することができます。削除するには連写画像がグループ化されている必要があります。

- ▶ メインメニューで再生モード設定を選択する。
- ▶ 静止画グループ表示を選択する。
- ▶ オンまたはオフを選択する。



- ▶ 連写画像のトップ画像を選択する。



- ▶ 削除する。
 - すべてのグループ内の画像が消去されます。

直前に撮影された画像のプレビュー

撮影した画像をすばやく確認できるように、撮影直後に自動的に画像を再生することができます。再生時間を選択できます。

- ▶ メインメニューで**プレビュー**を選択する。
- ▶ 希望する機能/レビュー時間を選択する。
(**オフ**、**1秒**、**3秒**、**5秒**、**ホールド**、**シャッター長押し**)

ホールド: **PLAY**ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しするまで、最後に撮影した画像が表示されます。

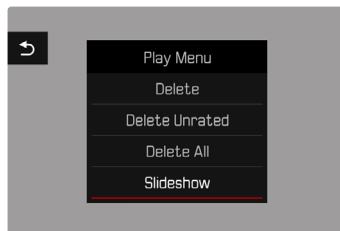
シャッター長押し: シャッターボタンを全押し続けている間、最後に撮影した画像が表示されます。

メモ

- プレビュー中は、**FN**ボタン、メニューボタン、サムホイールボタン以外のすべてのボタンは通常の再生モード時の機能に戻ります。
- 画像のマークと削除は通常の再生モード時でのみ可能で、オートレビュー中はできません。
- 連続撮影またはインターバル撮影を行ったとき、メモリーカードへの画像ファイル転送中は、メモリーカードに最後に記録された画像が表示されます。
- 画像の表示中 (**1秒**、**3秒**、**5秒**) は**PLAY**ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しするまで、最後に撮影した画像が表示され続けます。

スライドショー

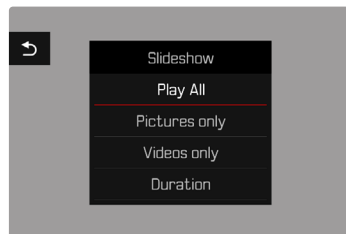
再生モードでスライドショー機能をオンにすると、保存された画像が自動的にスライドショーとして再生されます。**全画像再生**、**静止画のみ再生**、**動画のみ再生**のいずれかを選択することができます。静止画再生時は、各画像の再生時間を**レビュー時間**から設定できます。



レビュー時間を設定する

- ▶ **MENU**ボタンを押す。
- ▶ 再生メニューで**スライドショー**を選択する。
- ▶ **レビュー時間**を選択する。
- ▶ 希望する再生時間を選択する。(**1秒**、**2秒**、**3秒**、**5秒**)

スライドショーを開始する



- ▶ MENUボタンを押す。
- ▶ 再生メニューでスライドショーを選択する。
- ▶ 希望する設定を選択する。
([全画像再生](#)、[静止画のみ再生](#)、[動画のみ再生](#))
 - スライドショーは選択した画像から開始できますが、マニュアル操作で終了するまではループ再生されます。

スライドショーを終了する

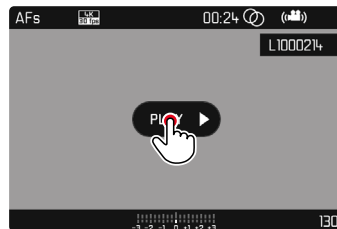
- ▶ PLAYボタンを押す。
- または
- ▶ シャッターボタンを半押しする。
 - 再生中のモードを終了します。

メモ

- 再生の準備中を示す画面が表示されます。
- 設定された[レビュー時間](#)は、カメラの電源を切っても記憶されます。
- [スライドショー](#)機能はFNボタンにショートカット機能として割り当てることができます (p.119)。

動画を再生する

再生モードで動画を選択すると、モニターにPLAY▶が表示されます。



動画再生を開始する

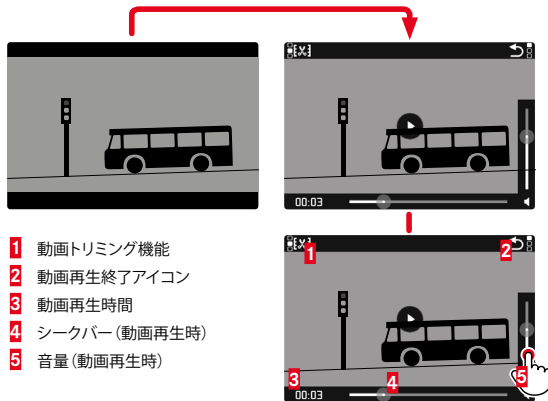
- ▶ センターボタンを押す。
または
- ▶ [PLAY▶](#)タッチする。

動画に関する操作画面を呼び出す

再生が停止すると操作画面が表示されます。

タッチ操作で行う場合

- ▶ モニター上の任意の箇所をタッチする。



- 1 動画トリミング機能
- 2 動画再生終了アイコン
- 3 動画再生時間
- 4 シークバー (動画再生時)
- 5 音量 (動画再生時)

ボタン操作で行う場合

- ▶ センターボタンを押す。

メモ

- 約3秒間カメラを操作をしないと、操作画面は消えます。モニターをタッチする、またはセンターボタンを押すと、再び表示されます。

再生を一時停止する

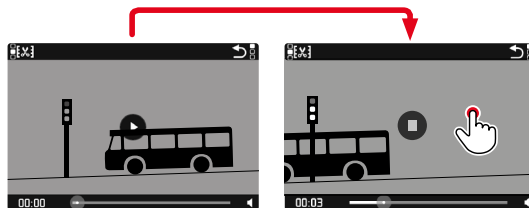
- ▶ モニター上の任意の箇所をタッチする。
または
- ▶ センターボタンを押す。

再生を続行する

アイコンが表示されている場合:

タッチ操作で行う場合

- ▶ モニター上の任意の箇所をタッチする。



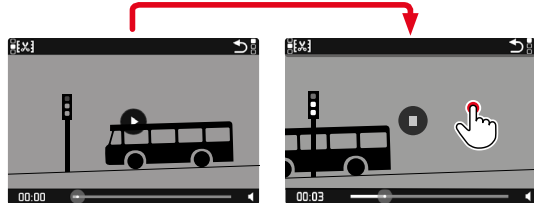
ボタン操作で行う場合

- ▶ センターボタンを押す。

任意の箇所から再生する

アイコンが表示されている場合：

- ▶ シークバー上で、再生したい位置をタッチする。

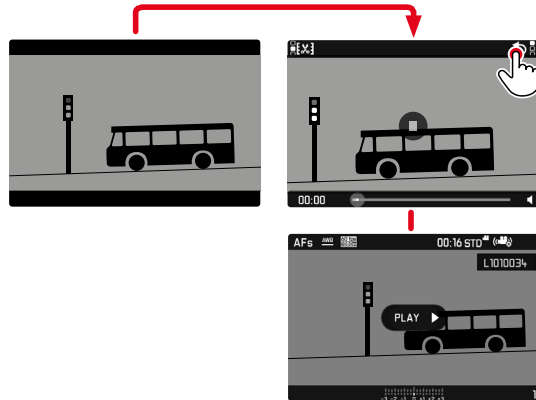


動画再生を終了する

タッチ操作で行う場合

アイコンが表示されている場合：

- ▶ アイコンをタッチする。



ボタン操作で行う場合

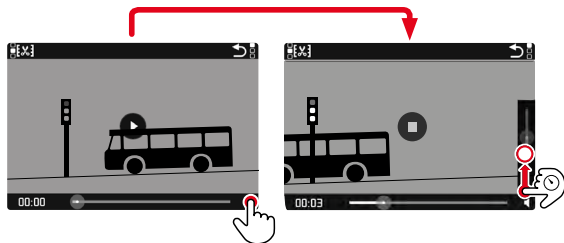
- ▶ **PLAY**ボタンを押す。

音量を調整する

タッチ操作で行う場合

アイコンが表示されている場合:


- ▶ 音量アイコンをタッチする。
- ▶ ボリュームバーの希望する位置をタッチする。



ボタン操作で行う場合

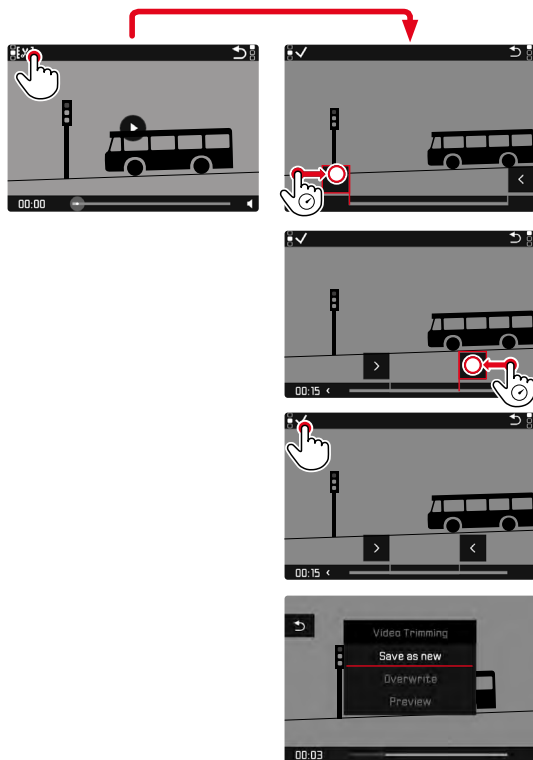
- ▶ セレクターボタンの上／下を押す。
 - ボリュームバーが表示されます。
- ▶ 音量を上げる場合は上、音量を下げる場合は下を押します。

メモ

- ボリュームバーを一番下(音量を0)にすると音は出ません。音量アイコンの表示が  に変わります。

動画のトリミング

タッチ操作で行う場合



ボタン操作で行う場合

トリミング機能呼び出す

- ▶ FNボタンを押す。
 - 動画編集画面が表示され、トリミング位置の左端が赤色で表示されます。

トリミング位置を変える

- ▶ セクターボタンの左/右を押す。
 - 決定されたカット位置は赤色で表示されます。

トリミング位置(時間)を移動する

- ▶ サムホイールを回す。
 - 現在選択されている位置の時間(フッターの左端)と、その時点の画像が表示されます。

トリミングする

- ▶ FNボタン押し、トリミングを確定する。
 - **動画トリミングメニュー**が表示されます。
- ▶ **動画トリミングメニュー**で希望する機能を選択する。
(別名保存、上書き保存、プレビュー)

別名保存	元の動画を残したまま編集した動画を保存したい場合に、 新たなデータ として別名で保存します。
上書き保存	トリミングした動画が保存され、元の動画は削除されます。
プレビュー	編集した動画を再生します。再生後に、保存するか削除するかを決定します。

トリミング機能を中止する

動画トリミングメニュー内で何も選択されていないかぎり、常にトリミング機能を中止することができます。

- ▶ PLAYボタンを押す。
 - 元の動画再生の画面に戻ります。

メモ

- いずれの機能も、動画の保存中であることを示す画面が表示されます。保存が完了すると、保存された動画が表示されます。
- **別名保存**を選択しても、既存の動画の番号は変わりません。新しく作成された動画は、一番最後に追加されます。

その他の機能

お好みの設定を保存する(ユーザープロフィール)

メニュー項目の設定状態を、ユーザープロフィールとしてカメラに保存しておくことができます。同じ状況で、あるいは同じ被写体を同じ設定ですばやく撮影したいときなどに便利です。保存できるユーザープロフィールは6つです。それ以外に初期設定のプロファイルもありますが、設定は変更できません(プロフィール初期設定)。なお、プロフィールの名前は変更できません。

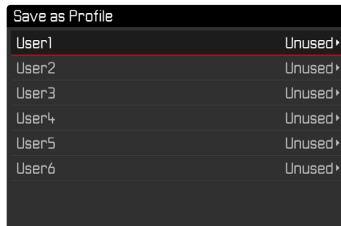
本機で登録したプロフィールを他のカメラでも使用できるように、メモリーカード上に保存したりすることができます。また、メモリーカード上に保存されたプロフィールを本機で呼び出して使用することもできます。



現在の設定をユーザープロフィールとして登録する

各種設定を保存しプロフィールを作成します。

- ▶ 各機能をお好みに合わせてメニュー操作で設定する。
- ▶ メインメニューで**ユーザープロフィール**を選択する。
- ▶ **プロフィール管理**を選択する。
- ▶ **プロフィール保存**を選択する。
- ▶ 希望する保存先を選択する。



- ▶ 確定する。

メモ

- ・ 希望する保存先にすでにプロフィールが登録されている場合は、上書きされます。

保存したユーザープロフィールの名前を変更する

- ▶ メインメニューで**ユーザープロフィール**を選択する。
- ▶ **プロフィール管理**を選択する。
- ▶ **プロフィール名変更**を選択する。
- ▶ 希望するプロフィールを選択する。
- ▶ 表示されたキーパッドを使用して、希望する名前を入力する。(キーパッド操作について詳しくはp.47をご参照ください。)

プロフィールを呼び出す／使用する

初期設定：**プロフィール初期設定**

- ▶ メインメニューで**ユーザープロフィール**を選択する。
 - ・ プロフィール名のリストが表示されます。
- ▶ 希望するプロフィールを選択する。
 - ・ 選択したプロフィールが**有効**になります。
 - ・ 設定中のプロフィール以外はグレーで表示されます。

ユーザープロフィールを消去する

- ▶ メインメニューで**ユーザープロフィール**を選択する。
- ▶ **プロフィール管理**を選択する。
- ▶ **消去**を選択する。
- ▶ 希望するプロフィールを選択する。
- ▶ 確定する。

ユーザープロフィールをメモリーカードに保存する(カードへ出力)／メモリーカードから読み込む(カードから入力)

- ▶ メインメニューで**ユーザープロフィール**を選択する。
- ▶ **プロフィール管理**を選択する。
- ▶ **出力**または**入力**を選択する。
- ▶ 確定する。

メモ

- ・ メモリーカードへ出力／メモリーカードから入力する場合は、空のプロフィールを含むすべてのプロフィールが出入力されます。また、カードからカメラへプロフィールを入力する場合は、カメラに保存されているすべてのプロフィールが上書きされます。1つのプロフィールだけを出入力することは**できません**。
- ・ カメラからメモリーカードへプロフィールを出力する場合も同様に、メモリーカード内に保存されているすべてのプロフィールが上書きされます。その際、確認メッセージは表示されませんので、お気をつけてください。

データ管理

メモリーカード内の構造

フォルダー

撮影された画像は自動的にメモリーカード上のフォルダー内に保存されます。最初の3文字はフォルダー番号(数字)、後半の5文字はフォルダー名(数字+アルファベット)です。初期設定では、最初のフォルダから順番に、「100LEICA」、「101LEICA」とフォルダー名が付けられています。自動生成されるフォルダーの番号は、100LEICAから999LEICAまで連番で作成されます。

ファイル名

ファイル名はフォルダー内に11文字で作成されます。初期設定では、最初の画像から順番に、「L1000001.XXX」、「L1000002.XXX」とファイル名がつけられています。1文字目はLEICAの頭文字「L」、残りの10文字はお好みに合わせて数字とアルファベットを入力することができます。「L」に続く3文字がフォルダー番号、その後の4文字がフォルダー内の画像番号で、「XXX」には記録形式(DNGまたはJPG)が入ります。1つのフォルダー内での画像番号が9999に達すると、新しいフォルダーが自動的に作成され、新たに0001から画像番号が付けられていきます。

メモ

- 本機でフォーマットされていないメモリーカードを使うときは、画像番号は0001から始まります。カメラが記憶している画像番号よりも大きい番号がメモリーカード内にある場合は、その続きの番号が次の画像に付与されます。
- ファイル名が「L9999999」に達するとメッセージが表示され、撮影できなくなります。フォーマットして画像番号をリセットするか、または新しいメモリーカードをお使いください。
- フォルダー番号を100に戻すには、フォーマットして画像番号をリセットするか、または新しいメモリーカードをお使いください。

ファイル名を変更する

- ▶ メインメニューで**ファイル名を変更する**を選択する。
 - キーパッドが表示されます。
 - 入力行に「L」で始まるファイル名が表示されます。最初のアルファベット「L」のみを変更できます。
- ▶ 希望する文字を入力する(p.47)。
- ▶ 確定する。

メモ

- ファイル名の変更は、次の撮影以降再びファイル名を変更するまで、すべての画像に有効になります。続く4桁の数字を変更することはできません。ただし、新たなフォルダーを作成した場合はファイル名が初期設定に戻ります。
- カメラのすべての設定をリセットすると、最初の文字は「L」に戻ります。
- 小文字は使えません。

新しいフォルダーを作成する

- ▶ メインメニューで**画像番号リセット**を選択する。
 - 確認メッセージが表示されます。
- ▶ 画像番号をリセットするには**はい**を、中止する場合には**いいえ**を選択する。

メモ

- 新しくフォルダーを作成した場合、頭文字のアルファベットは変わりません。画像番号のみ0001からスタートします。

GPS機能で撮影地を記録する (LEICA FOTOS APP接続時のみ)

全地球測位システム (GPS) により、世界中で本機の位置を特定できます。Leica FOTOS Appに接続すると、GPS機能は自動的にオンになります。カメラは自動的に位置情報 (緯度、経度、海拔高度) を受信し、画像のExifデータに書き込みます。

メモ

- この機能は、カメラがLeica FOTOSに接続されている場合のみ使用できます。
- 一部の国や地域では、GPS機能とGPS関連機器の使用が規制されています。違反した場合、当局から起訴される可能性があります。
- 本機を外国に持ち込む場合は、GPS機能付きカメラについて持ち込み制限などがないか、大使館や旅行代理店にご確認ください。

メモリーカードをフォーマット (初期化) する

新しいメモリーカードや他の機器で使用したメモリーカードを使用する場合は、必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットする必要のあるメモリーカードを入れたときは、フォーマットを促すメッセージが表示されます。また撮影時の残留画像 (撮影一時情報) がメモリーカードの容量を占めていることがあるため、時々フォーマットすることをおすすめします。

- ▶ メインメニューで**メモリーカードをフォーマット**を選択する。
- ▶ 確定する。

メモ

- フォーマット中は本機の電源を切らないでください。
- フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。フォーマットすると、マークのついた画像も削除されます。
- データの消失を防ぐため、撮影した画像を外付けハードディスクやコンピューターに定期的に保存してください。
- メモリーカード内のデータはカメラでフォーマットしてもディレクトリのみが削除されるだけで完全には削除されません。ディレクトリを削除するので既存ファイルに直接アクセスできなくなるだけです。適切なソフトウェアを使用すると特定の状況下でデータを再現することが可能になります。実際に削除されるのは、新しい画像が上書きされた画像のみです。
- フォーマットできない場合は、お買い上げの販売店またはライカ カスタマーケア (p.164) までご相談ください。

パソコンに画像を取り込む

Leica FOTOSを使用して、データをモバイル端末に簡単に転送することができます (p.138)。また、カードリーダーを使用して転送することもできます。

メモ

- 大きなサイズのファイルの転送には、カードリーダーを使用することをおすすめします。

DNG (RAW) について

本製品では、画質の劣化が少ないDNG (デジタルネガティブ) 形式でRAW画像を記録することができます。DNG形式で記録した画像は、現像・処理をするための専用ソフトウェア (「Adobe® Photoshop® Lightroom®」など) が必要になります。

ソフトウェアを使えば、デジタル画像のカラー処理に最適なアルゴリズムにより、ノイズを最小限に抑えた高精細画像に上げることができます。また、シャープネスの調整、ノイズ除去、階調補正などの画像処理を行い、高い水準の画質にすることができます。

本製品をご購入いただいたお客様は、Adobe Creative Cloudフォトプランの無料体験版 (期間限定) をご利用いただけます。Adobe Creative Cloudフォトプランの利用には、ウェブサイト (club.leica-camera.com) からの登録が必要です。

初期設定に戻す(すべての設定をリセットする)

メニュー項目の設定をすべてリセットして、基本設定(初期状態)に戻すことができます。ユーザープロファイル、ワイヤレスLAN設定、Bluetooth設定、画像番号に関しては、リセットする対象項目から除外することができます。

- ▶ メインメニューで**設定リセット**を選択する。
 - 「初期設定に戻しますか?」という、確認のメッセージが表示されます。
- ▶ 設定をリセットする場合は**Yes**、しない場合は**No**を選択する。
 - **いいえ**を選択すると、設定はリセットされずにメインメニューに戻ります。**はい**を選択すると確認メッセージが表示され、いくつかの項目をリセットから除外することができます。
- ▶ ユーザープロファイルをリセットする場合は**はい**、しない場合は**いいえ**を選択する。
- ▶ ワイヤレスLAN設定とBluetooth設定をリセットする場合は**はい**、しない場合は**いいえ**を選択する。
- ▶ 画像番号をリセットする場合は**はい**、しない場合は**いいえ**を選択する。
 - 「カメラを再起動してください」というメッセージが表示されます。
- ▶ カメラの電源を入れなおす。

メモ

- 初期設定に戻した後は、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。
- 画像番号のリセットは**画像番号リセット**の項目(p.133)からも操作できます。

ファームウェアをアップデートする

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることが可能です。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

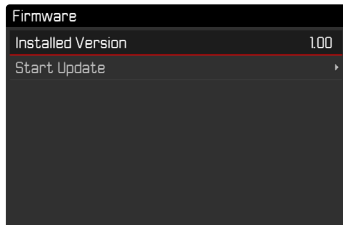
- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
 - 現在のファームウェアバージョンが表示されます。

ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、ライカカスタマーサイトからご覧いただけます。

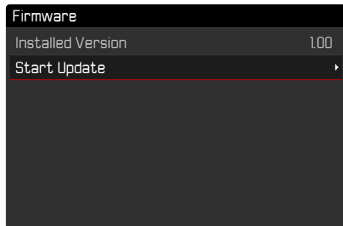
club.leica-camera.com

カメラのファームウェアをアップデートする

- ▶ 最新のファームウェアをダウンロードする。
- ▶ メモリーカードに保存する。
- ▶ メモリーカードをカメラに挿入する。
- ▶ カメラの電源を入れる。
- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
- ▶ **ファームウェア**を選択する。



- ▶ **アップデートを開始**を選択する。
 - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。



- ▶ バージョン情報を確認する。
- ▶ **はい**を選択する。
 - **プロフィール情報をSDカードに記録しますか?**というメッセージが表示されます。

- ▶ **Yes**または**No**を選択する。
 - アップデートが自動的に開始します。
 - 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- ▶ カメラの電源を入れなおす。

メモ

- アップデート中にカメラの電源を切らないでください。
- バッテリー残量が十分でない場合は、「**バッテリー残量が少ないためアップデートできません**」という警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- 再起動後には、日付、時刻、言語を再設定する必要があります。確認メッセージが表示されます。
- **カメラ情報**のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

LEICA FOTOS

スマートフォンやタブレットを使って、カメラをリモートコントロールすることができます。お使いのモバイル端末に「Leica FOTOS」をインストールする必要があります。

- ▶ 以下のQRコードをモバイル端末でスキャンする。



または

- ▶ Apple App Store™ / Google Play Store™でアプリをダウンロードしてください。

ペアリング

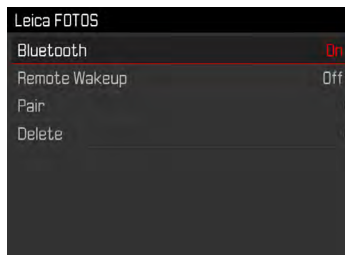
初めての端末に接続する場合

Bluetoothを通して接続できます。最初に接続する場合は、カメラとモバイル端末をペアリングする必要があります。

モバイル端末上で操作する

- ▶ Bluetoothをオンにする。
- ▶ Leica FOTOSを起動する。
- ▶ カメラ名を選択する。

カメラ上で操作する



- ▶ メインメニューで**Leica FOTOS**を選択する。
- ▶ **Bluetooth**を選択する。
- ▶ **オン**を選択する。
 - Bluetoothが起動します。
- ▶ **ペアリング**を選択する。
- ▶ Leica FOTOSに表示される指示に従って操作してください。
 - カメラが登録リストに追加されます。
 - 接続された場合、モニターに「Bluetooth」と「GPS」のアイコンが表示されます。

メモ

- ペアリングのプロセスには時間がかかることがあります。
- ペアリングは初回のみ必要で、毎回行う必要はありません。登録リストに端末が追加されていきます。
- 接続済みのLeica FOTOSで撮影する場合、GPSを通して位置情報が自動的にExifデータに書き込まれます。

登録済み端末に接続する場合

- ▶ メインメニューで**Leica FOTOS**を選択する。
- ▶ **Bluetooth**を選択する。
- ▶ **オン**を選択する。
 - Bluetoothが起動します。
 - カメラが自動的にモバイル端末に接続されます。

メモ

- 接続可能な範囲内にいくつかの登録済み端末がある場合、カメラは最初に応答があった端末に自動的に接続されます。優先して接続する端末を設定することはできません。
- 現在接続されている端末以外の端末に接続したい場合は、一旦接続を解除し、再接続してください。

接続を解除する

アプリ使用終了後はカメラのワイヤレスLANを終了し、接続を解除してください。

- ▶ メインメニューで**Leica FOTOS**を選択する。
- ▶ **Bluetooth**を選択する。
- ▶ **オフ**を選択する。

登録されている端末をリストから外す

希望する端末にすばやく接続するために、不要な端末をリスト上から削除することをおすすめします。

- ▶ メインメニューで**Leica FOTOS**を選択する。
- ▶ **消去**を選択する。
- ▶ 希望する端末を選択する。
 - ・ 確認メッセージがモニターに表示されます。
- ▶ **はい**を選択する。

メモ

- ・ リストから消去した端末に再び接続するには、再度ペアリングが必要です。

カメラをリモートコントロールする

リモートコントロールを使用して、必要な撮影設定やデータをモバイル端末に送信し、モバイル端末から写真やビデオを撮影することができます。その際に使用できる機能や操作方法に関して詳しくは、Leica FOTOSで確認できます。

リモートコントロールでカメラを起動する

この機能をカメラ内でオンに設定しておく、電源の入っていない、またはスタンバイモードのカメラをモバイル端末で起動することができます。その際、Bluetoothがオンになっている必要があります。

- ▶ メインメニューで**Leica FOTOS**を選択する。
- ▶ サブメニューで**アプリでリモート起動**を選択する。
- ▶ **オン**を選択する。
 - ・ カメラが登録済みのモバイル端末に、自動的に接続されます。

重要

- カメラの電源がメインスイッチでオフにされている場合にのみ、リモート操作でカメラを起動できます。
- ただし、誤作動によりカメラが起動されると不要な撮影や電池の消耗につながりますので、お気をつけください。
- 使用したいモバイル端末が接続されていない、またはBluetooth機能がモバイル端末上でオフになっている場合は、他のモバイル端末がカメラと接続されることがあります。不正アクセスにつながる可能性がありますので、お気をつけください。

これらを防ぐため、リモートコントロール使用時以外は常にこの機能をオフにし、使用する直前に起動してください。

お手入れ／保管

本製品を長期間使用しない場合は、次のことをおすすめします：

- カメラの電源を切ってください。
- メモリーカードを取り出す。
- バッテリーを取り出す（約2か月ほどで日付と時刻の設定が失われます）。

本体

- 汚れはカビや細菌などの繁殖の原因となりますので、本製品を清潔に保ってください。
- 本製品をお手入れする際は、乾いた柔らかい布をお使いください。ひどい汚れは、よく薄めたクリーナーなどを浸み込ませた布で拭いてから、乾いた布で拭き取ってください。
- 海水がかかった場合は、柔らかい布を水道水で湿らせ、よく絞ってからカメラ本体を拭いてください。その後、乾いた布でよく拭いてください。
- 指紋などの汚れは、柔らかい清潔な布で拭き取ってください。布で拭き取りにくい隅の部分がひどく汚れている場合は、小さなブラシで取り除いてください。その際絶対にシャッターブレードに触れないでください。
- 破損やほこりから保護するために、クッション入りのケースに保管することをおすすめします。
- 湿気が多い場所で使用した場合は、湿気をよく取り除いてから保管してください。
- 収納しているケースが湿気を吸収した場合は、湿気そのものや湿気によって染み出るなめし剤によって、本製品が故障するのを防ぐために、本製品をケースに収納しないでください。
- 機械的に動作するベアリングやスライド部には潤滑油を使用しています。長期間使用しない場合は、スムーズな動作を保つため、約3か月ごとに数回シャッターを切って動かしてください。また、その他の操作部もすべて定期的に動かすことをおすすめします。

- 高温・多湿の熱帯地域で使用するときは、カビが発生するのを防ぐために、できるだけ多く日光や風に当ててください。密封ケースなどに保管するときは、シリカゲルなどの乾燥剤を入れてください。また、レザー製のケースに長期間収納したままにしないでください。

レンズ

- レンズ表面についたホコリはまずブローアードで吹き飛ばし、それでも落ちない場合は柔らかいブラシを使って落としてください。汚れがひどい場合や指紋を取り除くには、クリーナーなど何も付けていない柔らかい清潔な布を使って、レンズの中央から外側に向かって円を描くようにして丁寧に拭き取ってください。使用する布には、ケースなどの保護容器に入っているマイクロファイバークロスをおすすめします（写真用品や光学機器の専門店で購入できます）。40°Cの温水で手洗いできるような布をおすすめします（ただし、柔軟剤の使用やアイロンがけは避けてください）。メガネ用クリーニング・ティッシュ等の化学成分を含んだ紙や布は、レンズ表面やコーティング層を傷める原因となりますので絶対に使用しないでください。
- 砂や海水がかかるおそれのある場所で撮影する場合は、透明のUVaフィルターを装着するとフロントレンズを保護できます。ただし、その他のフィルターと同様に、逆光での撮影やコントラストが高い被写体の撮影ではフレアが発生することがありますのでお気をつけください。
- レンズキャップを装着すると、不用意に指紋がついたり雨でぬれたりすることを防げます。
- 機械的に動作するベアリングやスライド部には潤滑油を使用しています。長期間使用しない場合は、動作が鈍くならないよう、フォーカスリングと絞りリングを定期的に動かしてください。

ファインダー／モニター

- 露付きが起った場合、電源を切り、常温の場所に約1時間置いてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

バッテリー

- ・ バッテリーを取り出して保管する場合は、容量がある程度残った状態で保管してください。バッテリー残量はモニターで確認できます。長期間保管する場合は、過放電を避けるために、半年に1回、15分ほど充電してください。

メモリーカード

- ・ メモリーカードを保管するときは、記録データを保護するために、帯電防止ケースに入れてください。
- ・ 高温の場所、直射日光の当たる場所、磁気や静電気が発生する場所で保管しないでください。カメラを長期間使用しない場合は、カメラからメモリーカードを取り出してください。
- ・ データ削除を繰り返すと断片化が生じて空き容量が少なくなり、それにより書き込み時間が長くなることで記録エラーが起きる場合がありますので、定期的にフォーマットすることをおすすめします。

問題	原因	対処方法
電池		
充電がすぐになくなる。	バッテリーが冷たすぎる。	バッテリーを体温などであたため、撮影の直前にカメラに挿入してください。
	バッテリーが熱すぎる。	バッテリーを冷ましてからカメラに挿入してください。
	モニターやEVFが明るすぎる。	輝度を下げてください。
	省エネモードがオンになっていない。	オートパワーオフをオンにしてください。
	AFモードが常にオンになっている。	他のモードを選択してください。
	常にワイヤレスLANに接続されている。	必要のないときはワイヤレスLANの接続を解除してください。
	常にモニターを使用している(ライブビューモードなど)。	EVFのみ使用する、またはライブビューをオフにしてください。
	バッテリーの限界充電回数を超えている。	バッテリーの寿命です。 新しいバッテリーに交換してください。
充電が開始されない。	充電のプレビュー機能(プレビュー)がオンになっている。	EVFのみ使用する、またはライブビューをオフにしてください。
	チャージャーに正しくセットされていない。	バッテリーの向きや、チャージャーの接点に正しく当たっているかを確認してください。
充電に時間がかかる。	バッテリーが冷たすぎる/熱すぎる。	バッテリーを常温で充電してください。
チャージャーのステータスLEDランプが点灯しているが、充電されていない。	バッテリーまたはチャージャーの接点が汚れている。	乾いた柔らかい布で、接点を丁寧に拭いてください。
	バッテリーの限界充電回数を超えている。	バッテリーの寿命です。 新しいバッテリーに交換してください。
カメラ		
カメラの電源が突然切れる。	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電する、または交換してください。
カメラの電源が入らない。	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電する、または交換してください。
	バッテリーが冷たすぎる。	バッテリーを体温などであたためてください。
カメラが発熱する。	高画質4K動画撮影時やDNG形式での連続撮影時にカメラが発熱する。	故障ではありません。熱くなりすぎるときは撮影を中断し、カメラが常温に戻るのを待ってから撮影を再開してください。
電源を入れてもすぐに切れてしまう。	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電する、または交換してください。
カメラがメモリーカードを読み込まない。	互換性がない、または故障しているメモリーカードが挿入されている。	新たなメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードが正しくフォーマットされていない。	カメラ内でメモリーカードをフォーマットしてください。

メニュー、表示		
EVFが暗い。	EVF輝度が低い。	EVF輝度を上げてください。
表示が日本語でない。	-	メインメニューで「Language」を選択し、「日本語」に設定してください。
モニターが暗すぎる／明るすぎる。	モニター輝度が正しく設定されていない。	モニター輝度を設定しなおしてください。
	視野角が狭い。	モニターをできるだけ正面から見てください。
	輝度センサーが覆われている。	輝度センサーが覆われないよう気を付けてください。
お気に入りメニューが表示されない。	お気に入りメニューに何も登録されていない。	お気に入りに、少なくとも1項目登録してください。
ライブビューが突然消える、または表示されない。	撮影環境の温度、ライブビューの長時間使用、長時間の動画撮影や連続撮影により、カメラが発熱する。	カメラが常温に戻るのをお待ちください。
ライブビューモード時のモニター輝度が画像に適していない。		必要であれば、輝度を調整してください。
	露出シミュレーションがオフになっている。	機能をオンにしてください。
撮影後、撮影可能枚数が減らない。	画像データが小さいため、メモリーカードの容量をとらない。	故障ではありません。撮影可能枚数はおよその数です。
撮影モード		
シャッターボタンを半押しすると、モニター／ファインダーにノイズが発生する。	撮影環境の明るさが十分でない、または絞りを絞り込んで撮影する場合、ISO値が自動で高く設定される(オートISO設定時)。	故障ではありません。撮影が続行されます。
モニター／ファインダーがすぐにオフになる。	省エネモードがオンになっている。	省エネモードの設定を変更してください。
撮影後にモニターの表示が消える／モニターが暗くなる。 フラッシュが発光しない。	フラッシュ撮影後、次の撮影に向けての発光準備中は、モニターがオフになる。	フラッシュの発光準備が完了するのを待ってください。
	現在の設定でフラッシュが使用できない。	フラッシュユニット使用時に設定できる各種機能をご確認ください。
	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電する、または交換してください。
	フラッシュ発光準備中にシャッターボタンを押す。 オートブラケットまたは連続撮影がオンになっている。	フラッシュの発光準備が完了するのを待ってください。 各種設定を調整してください。
フラッシュが被写体に正しく照射されない。	被写体がフラッシュ光の到達範囲内にない。	フラッシュ光の届く範囲内に被写体を置いてください。
	フラッシュ発光部位が遮られている。	発光部位が手やレンズでおおわれていないか確認してください。
オートでピントが合わない。	AFがオンになっていない。	AF補助光機能をオンにしてください。

シャッターが切れない／シャッターボタンが作動しない／撮影できない。	メモリーカードがいっぱい。	空き容量のあるメモリーカードに交換してください。	
	メモリーカードがフォーマットされていない。	メモリーカードをフォーマットしてください。ただし、すべてのデータが消去されるのでお気をつけください。	
	メモリーカードがロック(書き込み防止)されている。	メモリーカードのロックを解除してください。(カード側面にスイッチがあります。)	
	メモリーカードの端子部が汚れている。	端子部を綿やリネンの布で丁寧に拭いてください。	
	メモリーカードが故障している。	メモリーカードを交換してください。	
	センサーがオーバーヒートしている。	カメラが常温に戻るのをお待ちください。	
	カメラの電源が自動的に切れる(オートパワーオフ)。	カメラの電源を再度入れ、オートパワーオフをオフにしてください。	
	画像データをメモリーカードに記録中で、バッファメモリーがいっぱいです。	撮影準備が終了するまで待つてください。	
	ノイズリダクション処理中(夜間の長時間露光撮影後など)。	処理が終了してから、ノイズリダクションをオフにしてください。	
	バッテリー残量がない。	バッテリーを充電する、または交換してください。	
顔が認識されない。	撮影準備中	撮影準備が終了するまで待つてください。	
	画像番号がいっぱいです。	「データ管理」の項目をご覧ください。	
	サングラス、帽子、髪の毛などで顔や顔のパーツが隠れている。	顔がはっきり見えるようにしてください。	
	画面の中で顔の占める部分が小さすぎる。	構図を変更してください。	
	顔が傾いている／正面を向いていない。	顔をまっすぐカメラのほうに向けてください。	
	カメラが傾いている。	カメラをまっすぐにして撮影してください。	
	撮影に十分な光が顔に当たっていない。	フラッシュを使用し、十分な光量で撮影してください。	
	カメラが主要被写体を正しく認識していない。	主要被写体の近くに他の被写体がある。	構図を変え、AFロックまたはAFsモードを使用して、ピントを固定してください。
		顔が主要被写体として認識されている。	顔認識機能をオフにしてください。
	連続して撮影ができない。	カメラがオーバーヒートしているため、各種機能が一時的に無効になっている。	カメラが常温に戻るのをお待ちください。
モニター画像にノイズが発生する。	暗い場所でのモニターの輝度調整機能による。	故障ではありません。撮影が続行されます。	
画像の保存に時間がかかる。	ノイズリダクション処理中(夜間の長時間露光撮影後など)	EVFのみ使用する、またはライブビューをオフにしてください。	
	処理速度の遅いメモリーカードを使用している。	適したメモリーカードを使用してください。	
EVFが暗い。	EVFとLCDの切り替え設定が間違っている。	最適な設定を選択する。	

ピントが合わない。	被写体までの距離が近すぎる。	マクロモードに切り替えてください。
	被写体までの距離が遠すぎる。	マクロモードを解除してください。
	AFモードでピントが合わない。	マニュアルフォーカスで撮影してください。
ファインダー内の画像のピントが合っていない。		ファインダーの視度を調整してください。
AFモード時にAFフレームが赤色から緑色に変わらない。	ピントが合っていない。	再度ピントを合わせてください。
AFフレームを選択できない。	フォーカスリングがAFポジションに設定されていない。	フォーカスリングをAFポジションに設定する。
	シーンプログラム内でオート／人物撮影に設定されている、またはAFモードの顔認識機能が選択されている	これらの設定を解除し、他のモードに設定してください。
	再生モード中	撮影モードに切り替えてください。
	スタンバイモード中	シャッターボタンを半押ししてスタンバイモードを解除してください。
AF補助光が発光しない	AFcモードに設定されている	他のモードに設定してください。
	動画撮影モードまたはライブビューモードに設定されている	他のモードに設定してください。
	AF補助光機能がオンになっていない。	AF補助光機能をオンにしてください。
動画撮影		
動画が撮影できない。	カメラがオーバーヒートしているため、各種機能が一時的に無効になっている。	カメラが常温に戻るのをお待ちください。
動画撮影が自動的に中断された。	最大録画時間を超えた。	
	設定した動画の記録画素数に対し、メモリーカードの書き込み速度が遅すぎる。	他のメモリーカードに交換する、または動画の記録画素数を変更してください。
再生モード／画像の管理		
選択した複数の画像を削除できない。	書き込み防止された画像が選択されている。	書き込み防止を解除してください。
ファイル名が0001から始まらない。	メモリーカード内に画像番号が0001の画像がある。	「データ管理」の項目をご覧ください。
時刻／日付設定が間違っているか、設定されていない。	バッテリーを取り出したまま、カメラを長期間使用していない。	充電したバッテリーを挿入し、設定を行ってください。
画像上に表示された日付／時刻が間違っている。	日付／時刻が正しく設定されていない。	日付／時刻を正しく設定してください。 放電してしまったバッテリーを挿入したままカメラを長期間使用しないと、日付と時刻の設定が失われます。
画像上に日付／時刻を表示したくない。	設定が正しくされていない。	あとから削除することはできません。 機能をオフにしてください。

画像が破損している、または保存されていない。	メモリーカードへの画像の書き込み中(LED点滅中)にメモリーカードが取り出された。	メモリーカードへの画像の書き込み中(LED点滅中)は、メモリーカードを取り出さないでください。バッテリーを充電してください。
	メモリーカードが正しくフォーマットされていない、または破損している。	メモリーカードをフォーマットしてください。 (注意:すべてのデータが消去されるのでお気をつけください。)
撮影直後の画像が表示されない。	オートレビュー機能がオフになっている。	レビュー をオンにする。
静止画画質		
画像が明るすぎる。	撮影時に露出センサーが遮られていた。	センサーがおおわれていないことを確認してから撮影してください。
ノイズが発生する。	露光時間が長い(1秒以上)。 ISO感度が高すぎる。	ノイズリダクション機能をオンにしてください。 低めのISO感度に設定してください。
画像上に白い斑点が写っている。	暗い場所でフラッシュ撮影を行った場合:ほこりなどの大気中の粒子にフラッシュ光が反射した。	フラッシュを使用せずに撮影してください。
ピントが合っていない。	レンズが汚れている。	レンズをクリーニングしてください。
	レンズの前に障害物などがある。	障害物をどけて撮影をしてください。
	撮影中にカメラが動いた。	フラッシュを使用してください。 カメラを三脚に固定して撮影してください。 シャッタースピードを速く設定してください。
	マクロ機能	マクロ機能をオン(被写体までの距離が近すぎる)にする、またはマクロ機能をオフ(被写体までの距離が遠い)にしてください。
露出オーバー	明るい撮影環境下でフラッシュがオンになっている。	フラッシュモードを変更する、またはオフにしてください。
	画像内に明るい光源が写っている。	明るい光源が写りこまないように撮影して下さい。
	逆光での撮影	レンズフードを使用するか、構図を変えてください。
	露光時間が長い。	露光時間を短く設定するまたはシャッタースピードダイヤルを A に設定してください。
画像がブレている。	暗い撮影環境下でフラッシュを使用していない。	三脚にカメラを固定し、フラッシュを使用して撮影してください。
画質が荒く、ノイズが発生している。	ISO感度が高すぎる	低めのISO感度に設定してください。
横縞のノイズが発生する。	光源が蛍光灯やLEDランプの際の、電子シャッターを使用した撮影。	シャッタースピードを速くしてください。
画像が表示されない。	メモリーカードが挿入されていない。	メモリーカードを入れてください。
	違うカメラで撮影された画像。	パソコンなど他のデバイスに移して再生してください。
画像が表示されない。	パソコン上で画像のファイル名が変更された。	パソコンへのデータ転送に適したソフトウェアを使用してください。

動画画質		
動画中にフリッカー（ちらつき）やノイズが見られる。	人工光源による干渉。	動画画質で異なるフレームレートを選択してください。
動画に雑音が入っている。	動画撮影中のダイヤルやボタン操作による。	動画撮影中は、ダイヤル／ボタン操作をなるべく使用しないようにしてください。
動画再生時に音声がでない。	再生音量が低すぎる。	再生音量を上げてください。
	撮影時にマイクが遮られていた。	動画撮影時にマイクが隠れないように、お気をつけください。
	スピーカーが遮られている。	再生時にスピーカーが隠れないように、お気をつけください。
	動画撮影時にマイクがオフになっていた。	マイクをオンにして、感度を設定してください。
動画中にフリッカー（ちらつき）が見られる。	LEDランプや蛍光管などの人工光源による干渉。	短いシャッタースピード（1/100秒以下）に設定してください。
スマートフォン／ワイヤレスLAN		
ワイヤレスLAN接続が中断された。	カメラがオーバーヒートした。	カメラが常温に戻るのを待ってください。
接続したいモバイル端末とペアリングできない。	他のカメラとペアリングされた。	モバイル端末上のBluetooth設定に登録されているカメラのリストから削除し、ペアリングしなおしてください。
モバイル端末と接続できない／画像を転送できない。	モバイル端末からカメラまでの距離が遠すぎる。	モバイル端末とカメラを近づけてください。
	磁気、静電気、電波障害が発生する機器が近くにある。	障害を起こす可能性のある電子機器の近くで使用しないでください。
	近くに他のモバイル端末がある。	接続しなおす、またはペアリングしないモバイル端末を遠ざけてください。
	モバイル端末が他の機器と接続されている。	接続状況を確認してください。
ワイヤレスLAN設定画面に、接続したいカメラ名が表示されない。	モバイル端末がカメラを検出していない。	モバイル端末のワイヤレスLANを接続しなおしてください。

メニュー項目一覧

ダイナミックショートカット

設定可能な項目
初期設定

●
●

	お気に入りメニュー	FNボタン	サムホイールボタン	ページ
ドライブモード	● ●	● ●	● ●	68
インターバル撮影	●	●	●	89
オートブラケット	●	●	● ●	91
セルフタイマー	●	● ●	● ●	92
フォーカス	● ●	●	●	69—75
フォーカスモード	●	●	●	69
AFモード	●	●	●	70
フォーカスエイド	●			74, 75
自動拡大		●	●	75
フォーカスピーキング		●	●	74
測光方式	● ●	● ●	● ●	78
露出補正	●	● ●	●	87, 91
ISO	●	●	● ●	76, 77
オートISO設定	●	●	●	77
静止画記録形式	●	● ●	● ●	62
JPG設定	●			63, 64
JPG記録画素数	●	●	●	63
トーンニング 静止画	●	● ●	● ●	64
デジタルズーム	●	●	●	93
光学式手ブレ補正	●	●	●	65
電子シャッター	●	●	●	60
フラッシュ設定	●	●	●	100—102
露出プレビュー	●	●	●	84
ユーザープロファイル	● ●	● ●	● ●	130—131
動画画質	●	●	●	66

	お気に入りメニュー	FNボタン	サムホィールボタン	ページ
動画撮影設定	●			66
マイク感度		●	●	66
動画モード設定		●	●	67
トーンング 動画	● ●	●	●	67
撮影アシスト				95—97
モニター設定	●			56—58
EVF-LCD	●	●	●	56
LCD輝度	●			57
EVF輝度	●			57
EVFフレームレート	●			58
プレビュー				123
ショートカット設定	●			50—53, 86—87
お気に入り編集	●			50
ダイヤルの機能設定	●	●	●	52, 87
ズーム/ロックボタン	●	●	●	52, 86
Leica FOTOS	● ●	● ●	●	138
ファイル名変更				133
画像番号リセット				133
省エネ				55
電子音				59
再生モード設定				112, 122
メモリーカードをフォーマット	●	●	●	134
拡大*		●	●	72

*拡大メニューはショートカット機能のみで使用可能です。メインメニューから設定はできません。

ショートカット	メイン画面	ズーム/ロックボタン	サムホイール	ページ
露出補正			● ●	87, 91
デジタルズーム		● ●		93
AE/AFロック (AF-L + AE-L、AE-L、AF-L)		●		86
フォーカスモード	●			69
AFモード	●			70
ドライブモード	●			68
セルフタイマー	●			92
ユーザープロファイル	●			130—131
測光方式	●			78
トーンング	●			64, 67
記録形式	●			62, 66
Leica FOTOS	●			138

索引

4K	66
AE/AFロック	52, 84
AE-L	84, 85
AFc	69
AF-L	85
AF/MF、切り換え	69
AFs	69
AFモード	69
AF確定音	59
AF補助光	73
A (絞り優先AE)	80
DNG	62
FAQ	144
FNボタン	38, 51
Full HD	66
HDR	91
ISOオート	77
ISO、最大	77
ISO感度	76
JPG	62, 63
JPG設定	63
Language	54
Leica FOTOS	5, 138
MENUボタン	38
MF	74
MFアシスト	74
M (マニュアル露出設定)	82
PLAYボタン	38
P (プログラムAE)	79
RAWデータ	135
S (シャッター優先AE)	81
TTL測光	98, 99
あ行	
アイセンサー	57
明るさ、EVF	57
明るさ、モニター	57
アクセサリ	3
アシスト機能、MF	74
アップデート、ファームウェア	14, 136
アプリ	138
色再現、EVF	58
色再現、モニター	58
インターバル撮影	89
オートパワーオフ	55, 58
オートパワーオフ、モニター	58
オートフォーカス	69, 70
オートブラケット	91
オートブラケット、オート	79
オートレビュー	112, 123
お手入れ	142
お気に入り、メニュー	45, 50
音声	127
音量	59
音量、動画	127
か行	
解像度	63

顔認識.....	71
拡大表示、再生モード.....	115
拡大表示、撮影モード.....	72
各部名称.....	20
カスタマイズ.....	51
カスタマイズ(ボタン).....	51
カスタマイズ機能.....	50
画像、削除.....	118
画像、取り込み.....	135
画像、マーク.....	118
画像のプロパティ.....	64
画像番号.....	132
画像番号リセット.....	133
カメラ情報.....	5, 136
カラー設定、EVF.....	58
カラー設定、モニター.....	58
感度、ISO.....	76
感度、アイセンサー.....	57
キーパッド.....	47
機能、カスタマイズ.....	50
基本設定、カメラ.....	54
キャリングストラップ.....	10, 28
切替、モード.....	109
記録画素数、動画.....	66
記録形式.....	62
記録形式、動画.....	66
グリッド.....	97
クリッピング.....	95, 111
警告音.....	59
光学式手ブレ補正.....	65
構造、フォルダー.....	132
コントラスト、画像のプロパティ.....	64, 67

さ行

再生、オート.....	123
再生モード.....	108
再生、動画.....	124
削除、画像.....	118
撮影.....	35
撮影、インターバル.....	89
撮影の基本設定.....	62
撮影モード.....	68, 106
撮影補助機能、AF.....	72
撮影補助表示.....	95
撮影、連続.....	88
撮影、電子音なし.....	59
サブメニュー.....	45
サムホイール.....	36, 52
サムホイールボタン.....	37, 51
時刻.....	49, 54
視度調整.....	33
絞り.....	79
絞り優先AEモード.....	80
シャープネス、画像のプロパティ.....	64, 67
シャッタースピード.....	52, 79
シャッタースピードダイヤル.....	36
シャッタースピードを設定する.....	82
シャッタースピード/絞り、組み合わせ.....	79
シャッターボタン.....	35
シャッター優先AE.....	81
シャッター、電子式.....	59, 60
省エネモード.....	55
ショートカット.....	50, 51
初期設定.....	136
シンクロ、フラッシュ.....	101

ズーム.....	93	注意事項.....	8
ズーム/ロックボタン.....	38, 52	中央重点測光.....	78
水準器.....	96	長時間露光.....	83
水平線.....	96	著作権と商標について.....	4
スケール.....	49	データ名.....	132, 133
スタンバイモード.....	55	データ管理.....	132
スベアアクセサリ.....	3	テクニカルデータ.....	160
スポット測光.....	78	デジタルズーム.....	52, 93
スポット測距.....	70	手ブレ補正、動画.....	66
スマートフォン.....	138	手ブレ補正、静止画.....	65
スライドショー.....	123	テンキー.....	47
接続、モバイル端末.....	138	電源オフ、カメラ.....	34
設定、動画.....	66	電源オン、カメラ.....	34
設定、保存.....	130	電子音.....	59
セルフタイマー.....	92	電子シャッター.....	59, 60
セレクターボタン.....	37	電子シャッター音.....	59
センターボタン.....	37	電子ビューファインダー (EVF).....	58
操作、メニュー.....	42, 46	転送、データ.....	135
測距、方式.....	70	動画.....	124
測距方式、AF.....	70	同調タイミング.....	101
測光、方式.....	78	トローニング、画面のプロパティ.....	64, 67
測光方式、フラッシュ.....	99	ドライブモード.....	68, 88, 89
測光方式、露出.....	78	トラブルシューティング.....	144
焦点合わせ.....	69	トリミング、動画.....	127
た行		な行	
タイムゾーン.....	55	ノイズリダクション.....	80, 83
タイムラプス.....	89, 114	は行	
ダイヤル上に示されたISO感度.....	76	廃棄.....	6
タッチAF.....	71	倍率、MFアシスト機能.....	75
タッチ操作.....	39, 71		
多点測距、ピント合わせ.....	70		

バッテリーチャージャー	9, 28	フラッシュユニット、互換性	98
バッテリー、メモ	9, 12, 143	フラッシュ、到達距離	102
バッテリー、充電する	29	フラッシュ、制御	101
バッテリー、入れる/取り出す	30	フラッシュ、同調	101
バッテリー、容量	26	フラッシュ、測光方式	99
バッテリー残量(チャージャー)	29	フラッシュ、発光タイミング	101
バッテリー残量、モニター	26	フラッシュ発光部	98
ヒストグラム	97	フラッシュ、発光量調整	102
日付	49, 54	フラッシュ、設定	99, 100
表示	22, 24	フレーム測光、露出	78
表示オプション	94	フレーム測距	70
表示言語	54	レビュー	123
ピントを合わせる、オート	69	プログラムAE	79
ピント合わせ	69	プログラムシフト	52, 80
ピント合わせ、オート	69	プロファイル、ユーザー	130
ピント合わせ、マニュアル	74	法律に関する事項	4
ファームウェア	14, 136	保管	142
ファイル名	133	保証	15
風切音低減	66	本製品の取り扱いについて	12
フォーカス、オート	69		
フォーカスピーキング	74	ま行	
フォーカス、マニュアル	74	マーク、撮影	118
フォーカスモード	69	マーク、画像	118
フォーカス設定	69	マイク	66
フォーマット、メモリーカード	134	マクロ	76
フォーマット(画像形式)	62	マニュアルフォーカス	74
フォルダー	132	マニュアル露出設定	82
フォルダー名	132	名称	20
フォルダー、新規作成	133	メインスイッチ	34
フォルダー、構造	132	メインメニュー	45
付属品	2	メイン画面	22, 24, 43
フラッシュ、モード	100	メニューバー	48

メニュー内の移動	42, 46
メニュー操作	40
メニュー画面	40
メモリーカード	10, 13, 134, 31
モード、フラッシュ	100
モード、露出	79
モニター	56
モニター、スタンバイ	58
モニター、設定	56
問題	144

や行

ユーザープロファイル	130
ユーザープロファイル、消去	131

ら行

リセット、カメラ	136
リセット、画像番号	133
リセット、設定	136
リモートコントロール	140
ルーペ	75
レンズ	8, 142
レンズフード	32
連続撮影	88, 89, 91
露光時間、マニュアル	83
露光時間、最大	83
露出	78
露出シミュレーション	84
露出プレビュー	84
露出、マニュアル	82

露出、モード	79
露出補正	52, 87
露出補正、フラッシュ	102
露出、長時間	83

わ行

ワイヤレスLAN/Wi-Fi	5
----------------------	---

テクニカルデータ

カメラ

名称

ライカ Q2 Monochrom

形式

35 mmフルサイズ コンパクトデジタルカメラ

型番

4889

商品コード

19055 EU/JP/US, 19056 ROW (ブラック)

バッファメモリー

DNG™: 14枚

JPG: 25枚

記録媒体

UHS-II (推奨)、UHS-I、SDカード (2 GB以下)、SDHCカード (32 GB以下)、SDXCカード (512 GB以下)

材質

金属製: マグネシウムダイカスト、レザー外装

動作環境

0° C~+40° C

インターフェース

ライカフラッシュユニット用の追加制御接点を装備したISOアクセサリースュー

三脚用ねじ穴

A 1/4 (1/4インチ、DIN4503に準拠)、合金製

寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)

130 mm x 80 mm x 87 mm

質量

約637g (バッテリー含まず) / 約718g (バッテリー含む)

撮像素子

センサーサイズ

CMOSイメージセンサー

5040万画素 / 4730万画素 (総画素数 / 有効画素数)

プロセッサー

ライカ マエストロ シリーズ (Maestro III)

記録形式

静止画: DNG™ (RAWデータ)、DNG+JPG、JPG

動画: MP4 (AAC録音形式)

記録画素数

DNG™: 8368×5584画素 (4670万画素)

JPG: 8368×5584画素 (4670万画素)

6000×4000画素 (2400万画素)

4272×2848画素 (1200万画素)

ファイルサイズ

DNG™: 84.4 MB

JPG: 記録画素数や被写体により異なる

色深度

DNG™: 14 bit

JPG: 8 bit

色空間

sRGB

動画の記録画素数 / フレームレート

C4K(4096x2160画素): 24 fps

4K(3840x2160画素): 24 fps、30 fps

Full HD(1920x1080画素): 24 fps、30 fps、60 fps、120 fps

レンズ

名称

ライカズミルックス 28 f/1.7 ASPH.、9群11枚、非球面レンズ3枚

レンズフィルター取り付け溝

E49

デジタルズーム

約1.25倍 (35 mm相当)、約1.8倍 (50 mm相当)、2.7倍 (75 mm相当)

手ブレ補正

光学補正 (静止画、動画)

絞り値

F1.7~16 (1/3 EVステップ)

ファインダー／モニター

電子ビューファインダー

解像度：368万画素、120 fps、倍率：0.76倍、アスペクト比：4:3、射出瞳：20 mm、視度補正レンズ：-4 dpt~+3 dptの範囲内で調整可能、ビューファインダーと液晶画面を自動的に切り換えるアイセンサー付

モニター

3.0型 TFT 液晶モニター (タッチパネル)、画素数：1,036,800ドット

シャッター

シャッター方式

電子シャッターまたはメカニカルシャッター

シャッタースピード

メカニカルシャッター：120秒~1/2000秒

電子シャッター：1/2500秒~1/40000秒

フラッシュ同調速度：~1/2000秒

シャッターボタン

2段式

1段目：カメラ起動、測光／AE/AFロックオン (絞り優先AEモード時)

2段目：リリース

セルフタイマー

カウントダウン：2秒または12秒

ドライブモード

1コマ

コンティニューアス - 低速 約2 fps

コンティニューアス - 中速 約6 fps

コンティニューアス - 高速 約10 fps

コンティニューアス - 超高速 約20 fps

インターバル撮影

オートブラケット

ピントを合わせる

合焦範囲

30cm~∞

マクロ設定時：17cm~

フォーカスモード

オート (オートフォーカス) またはマニュアル
マニュアルフォーカス使用時アシスト機能として、ルーペ機能

(自動拡大)、エッジマーキング (フォーカスピーキング) が使用可能

オートフォーカス

コントラストによる検出

AFモード

AFs (ピントが合った時のみリリース可)、AFc (常にリリース可)、

AFモードの保存可

測距方式 (オートフォーカス)

スポット(スポットの移動可)、**フレーム**(フレームの移動可)、**多点**、**顔認識**

露出**測光**

TTL測光 (レンズの実絞りによる測光)

測光方式

スポット測距、**中央重点**、**多点**

露出補正

±3 EV (1/3 EV ステップ)

オートブラケット

3枚または5枚撮影、±3 EV (1/3 EV ステップ)

シフト機能：±9 EV

ISO感度

オートISO：ISO 200～ISO 100000

マニュアル：ISO 100～ISO 100000

フラッシュ発光制御**フラッシュユニットの接続**

制御接点と中央接点を備えたホットシューに接続

フラッシュ同調速度

☞：1/2000秒、遅いシャッタースピード使用可、同調速度低下：HSS
対応ライカフラッシュユニット使用時TTLリニアフラッシュモードに
自動切り換え

測光方式

中央重点TTLプリ発光による測光 (ライカフラッシュユニット (SF 26
、SF 40、SF 60) またはコマンダー-SF C1使用時)

フラッシュ発光量調整

SF 40：±2 EV (1/2 EV ステップ)

SF 60：±2 EV (1/3 EV ステップ)

その他**マイク**

ステレオ

スピーカー

Mono

ワイヤレスLAN

専用アプリ「Leica FOTOS」接続用。Google Play Store™または、Apple App Store™でダウンロードできます。Wi-Fi IEEE802.11b/g/n, 2.4 GHz、チャンネル1-11 (2412-2462 MHz)、Wi-Fi IEEE802.11ac, 2.4 GHz/5 GHz、チャンネル39-48 (5180-5240 MHz)、チャンネル52-64 (5260-5320 MHz)、チャンネル100-140 (5500-5700 MHz) (標準ワイヤレスプロトコル) に準拠、暗号化方式：ワイヤレスLAN互換性 WPA™ / WPA2™

GPS

Leica FOTOS使用時、使用可能 (各国の法律に基づき利用可能地域は限定されます。) データは、画像ファイルのExifヘッダーに書き込まれます。

Bluetooth

Bluetooth v4.2 (Bluetooth Low Energy (BLE))、2402～2480 MHz

表示言語

英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、日本語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語

電源**バッテリー (ライカ BP-SCL4)**

充電式リチウムイオンバッテリー、定格電圧：7.2 V (DC)、容量：1860 mAh (最小)、撮影可能枚数：約340/300枚 (LCD/EVF使用時、CIPA規格による)、充電時間：約140分 (完全放電状態から)、製造：Panasonic Energy (Wuxi) Co. Ltd.、中国製

バッテリーチャージャー (ライカ BC-SCL4)

入力：AC 100-240 V、50/60 Hz、0.25 A、自動切換、出力：DC 8.4 V、0.85 A、製造：Salom Electric (Xiamen) Co., Ltd.、中国製

ライカのホームページ

ライカのホームページでは、各種製品、イベント、ライカについての最新情報をご覧ください。

<http://www.leica-camera.co.jp>

ライカ デジタルサポートセンター

<使用方法等技術的なお問い合わせ窓口>

Tel.: 0120-03-5508

受付時間: 月曜日 - 金曜日 9:30 - 18:00

祝祭日は受け付けておりません。

ライカ アカデミー

ライカアカデミーでは写真撮影に役立つ各種セミナーやワークショップを開催しています。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

<http://jp.leica-camera.com/Leica-Akademie/Leica-Akademie/ライカアカデミーについて>

ライカ カスタマーケア

お手持ちの製品のメンテナンスや修理が必要な場合は、下記のカスタマーケア、またはお近くのライカ正規販売店までご相談ください。

ライカカメラジャパン株式会社
カスタマーケア

東京都中央区銀座6-4-1 ライカ銀座店内

Tel.: 03-6215-7072

Fax: 03-6215-7073

E-mail: info@leica-camera.co.jp